

令和4年度札幌エルプラザ公共4施設管理業務報告書

I. 業務実施状況報告

- 1 施設利用状況
 - (1) 施設利用状況
 - (2) 活動支援施設利用状況

- 2 事業実施状況
 - (1) 札幌市男女共同参画センター
 - (2) 札幌市市民活動サポートセンター
 - (3) 札幌市環境プラザ
 - (4) 情報センター
 - (5) 公共4施設共通事業

- 3 情報センター図書等管理状況・利用状況
 - (1) 図書等管理状況
 - (2) 利用状況

- 4 利用者からの意見概要
 - (1) ご意見箱から
 - (2) 貸室利用票から①②

- 5 施設維持管理状況
 - (1) 修繕記録
 - (2) 消防訓練実施状況①②

- 6 環境配慮への取り組み
 - (1) エネルギー等使用実績集計・管理票

- 7 自主事業報告
 - (1) 自動販売機・4F コピー機・1F 公衆電話等

II. 収支決算報告

- 1 札幌エルプラザ公共4施設収支報告書

III. 令和4年度目標達成度・次年度以降の改善策

- 1 目標達成度、改善策

IV. 団体の経営状況報告

- 1 令和4年度決算に関するもの
 - (1) 事業報告書
 - (2) 貸借対照表
 - (3) 正味財産増減計算書
 - (4) 財産目録

I 業務実施状況報告

1 施設利用状況

(1) 施設利用状況

【自己評価】

当該年度は、休館等の利用制限もなく通年で開館できたことにより、前年度比146.2%の270,018人まで施設利用人数を伸ばすことができた。
 4施設いずれにおいても、利用人数は同比で140%を上回っており、コロナ禍においても安心して利用できる施設として札幌エルプラザ公共4施設を選んでいただけたと評価できる。
 一方で、施設外事業については、男女共同参画センターでは計画のとおりであるが、環境プラザではパネル展示(1件33,519人)を除くと、件数・人数ともに昨年度を大きく下回ることから、1人でも多くの市民が環境行動を起こすためのきっかけづくりとしては、以降の事業展開に改善の余地が残る結果となった。
 今後も、社会情勢と市民のニーズを察知し事業の幅を広げるとともに、札幌エルプラザ公共4施設のさらなる認知度向上を目指すことで、施設総利用者数の増加を目指していきたい。

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	令和3年度 累計	前年度比 (%)	
セ男女 ンタ ー 共 同 参 画	施設利用	件数	2,320	2,425	2,445	2,626	2,281	2,483	2,458	2,302	2,112	2,208	2,287	2,048	27,995	18,672	149.9	
		人数	16,360	17,011	17,356	22,324	19,056	15,182	17,278	18,638	15,354	14,740	14,418	14,659	202,376	143,682	140.8	
	相談事業 視察・見学	件数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2	2	100.0
		人数	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	10	0	0	13	10	130.0
	施設外事業	件数	0	2	4	1	4	0	4	2	2	2	5	3	5	32	50	64.0
		人数	0	109	410	18	66	0	194	162	331	214	72	122	122	1,698	5,762	29.5
	計	件数	2,320	2,427	2,449	2,627	2,285	2,483	2,463	2,304	2,114	2,214	2,290	2,053	28,029	18,724	149.7	
人数		16,377	17,133	17,779	22,352	19,134	15,195	17,488	18,814	15,696	14,976	14,500	14,795	204,239	149,690	136.4		
セ消 ン 者 ー ※	施設利用	件数	202	214	243	216	231	210	299	267	205	220	204	305	2,816	1,860	151.4	
		人数	1,186	1,127	1,661	1,520	1,212	1,246	2,225	2,727	1,429	1,505	1,187	1,983	19,008	9,377	202.7	
	相談事業 視察・見学	件数	712	703	855	787	914	802	833	801	797	773	798	878	9,653	9,342	103.3	
		人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	計	件数	202	214	243	216	231	210	299	267	205	220	204	305	2,816	1,860	151.4	
		人数	1,898	1,830	2,516	2,307	2,126	2,048	3,058	3,528	2,226	2,278	1,985	2,861	28,661	18,719	153.1	
	セサ 市 民 タ ー 活 動	施設利用	件数	870	913	893	954	757	814	842	738	641	693	679	799	9,593	7,660	125.2
人数			2,947	2,962	2,882	3,606	2,149	2,486	2,876	2,428	2,180	2,312	2,333	2,814	31,975	21,920	145.9	
相談事業 視察・見学		件数	92	53	38	32	21	36	46	70	25	69	69	61	612	542	112.9	
		人数	0	1	2	0	1	0	0	1	0	0	0	0	5	2	250.0	
施設外事業		件数	0	3	72	0	3	0	0	8	0	0	0	0	86	13	661.5	
		人数	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	16.7	
計		件数	870	914	895	955	758	814	842	739	641	693	679	799	9,599	7,668	125.2	
	人数	3,039	3,018	2,992	3,783	2,173	2,522	2,922	2,506	2,205	2,381	2,402	2,875	32,818	22,570	145.4		
環 境 プ ラ ザ	施設利用	件数	146	129	217	184	120	151	157	156	112	118	132	138	1,760	1,032	170.5	
		人数	1,523	1,290	1,707	1,791	870	1,363	1,542	1,596	1,016	1,327	1,263	1,371	16,659	9,659	172.5	
	相談事業 視察・見学	件数	6	2	5	6	6	3	11	4	5	3	3	2	56	27	207.4	
		人数	0	1	0	2	4	2	2	5	0	4	1	4	25	9	277.8	
	展示コーナー 総合学習	件数	0	18	0	17	106	15	23	83	0	104	13	38	417	167	249.7	
		人数	1,441	1,653	1,502	3,059	2,618	1,834	2,156	1,917	1,477	1,290	1,187	1,453	21,587	9,171	235.4	
	施設外事業	件数	0	6	93	41	0	0	230	208	13	0	0	0	591	47	1,257.4	
人数		0	0	0	1	1	0	2	1	1	2	4	1	13	20	65.0		
計	件数	146	130	217	187	125	153	161	162	113	124	137	143	1,798	9,840	354.9		
	人数	2,970	2,969	3,307	5,436	37,119	3,215	3,998	4,019	2,655	3,110	2,561	2,871	74,230	28,911	256.8		
公 共 4 施 設 計	施設利用	件数	3,538	3,681	3,798	3,980	3,389	3,658	3,756	3,463	3,070	3,239	3,302	3,290	42,164	29,224	144.3	
		人数	22,016	22,390	23,606	29,241	23,287	20,277	23,921	25,389	19,979	19,884	19,201	20,827	270,018	184,638	146.2	
	相談事業 視察・見学	件数	827	771	911	835	953	854	903	889	838	857	880	955	10,473	10,147	103.2	
		人数	0	2	2	2	5	2	3	6	0	5	1	4	32	13	246.2	
	展示コーナー 総合学習	件数	0	21	72	17	109	15	26	91	0	114	13	38	516	190	271.6	
		人数	1,441	1,653	1,502	3,059	2,618	1,834	2,156	1,917	1,477	1,290	1,187	1,453	21,587	9,171	235.4	
	施設外事業	件数	0	6	93	41	0	0	230	208	13	0	0	0	591	47	1,257.4	
人数		0	2	4	3	5	0	6	3	3	7	7	6	46	76	60.5		
計	件数	3,538	3,685	3,804	3,985	3,399	3,660	3,765	3,472	3,073	3,251	3,310	3,300	42,242	29,313	144.1		
	人数	24,284	24,950	26,594	33,878	60,552	22,980	27,466	28,867	22,782	22,745	21,448	23,402	339,948	219,890	154.6		
※消費者センター施設利用、相談事業件数に関しては消費者協会分を含む																		
情報センター			人数	4,761	6,156	6,282	7,438	8,613	8,604	8,947	10,134	8,093	9,393	8,498	8,565	95,484	37,068	257.6
令和4年度札幌エルプラザ 公共4施設総利用者数				29,045	31,106	32,876	41,316	69,165	31,584	36,413	39,001	30,875	32,138	29,946	31,967	435,432	256,958	169.5

(2)活動支援施設利用状況

施設名	室名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	令和3年度 累計	前年度比 (%)	
男女共同参画 センター	男女共同参画 研究室	件数	204	204	194	196	157	202	209	171	167	188	199	239	2,330	1,315	177.2%	
		人数	1,209	1,155	1,138	1,137	1,008	1,106	1,239	999	919	919	1,083	1,221	1,532	13,746	7,378	186.3%
		区分	336	372	348	372	360	360	348	360	360	324	324	324	372	4,200	4,200	
		利用率	60.7%	54.8%	55.7%	52.7%	43.6%	56.1%	60.1%	47.5%	51.5%	58.0%	61.4%	64.2%	55.5%	31.3%	31.3%	
消費者センター (※)	消費者サロン 食材研究室	件数	108	136	140	122	108	124	154	141	112	111	120	152	1,528	913	167.4%	
		人数	693	843	961	908	701	830	1,145	1,017	787	743	788	1,079	10,495	5,627	186.5%	
		区分	252	279	261	279	270	270	261	270	243	243	243	279	3,150	3,150		
		利用率	42.9%	48.7%	53.6%	43.7%	40.0%	45.9%	59.0%	52.2%	46.1%	45.7%	49.4%	54.5%	48.5%	29.0%	29.0%	
市民活動 サポートセンター	会議コーナー	件数	124	132	133	129	114	127	146	121	115	113	124	136	1,514	946	160.0%	
		人数	844	888	823	855	649	828	898	739	704	687	822	856	9,593	5,231	183.4%	
		区分	168	186	174	186	180	180	174	180	161	160	162	186	2,097	2,094		
		利用率	73.8%	71.0%	76.4%	69.4%	63.3%	70.6%	83.9%	67.2%	71.4%	70.6%	76.5%	73.1%	72.2%	45.2%	45.2%	
環境プラザ	ミーティング ルーム	件数	34	34	43	48	33	50	44	40	29	35	38	47	475	294	161.6%	
		人数	138	128	171	193	109	187	174	156	141	137	124	186	1,844	1,108	166.4%	
		区分	84	93	87	93	90	90	87	90	81	81	81	93	1,050	1,046		
		利用率	40.5%	36.6%	49.4%	51.6%	36.7%	55.6%	50.6%	44.4%	35.8%	43.2%	46.9%	50.5%	45.2%	28.1%	28.1%	
合計		件数	470	506	510	495	412	503	553	473	423	447	481	574	5,847	3,468	168.6%	
		人数	2,884	3,014	3,093	3,093	2,467	2,951	3,456	2,911	2,551	2,650	2,955	3,653	35,678	19,344	184.4%	
		区分	840	930	870	930	900	900	870	900	809	808	810	930	10,497	10,490		
		利用率	56.0%	54.4%	58.6%	53.2%	45.8%	55.9%	63.6%	52.6%	52.3%	55.3%	59.4%	61.7%	55.7%	33.1%	33.1%	

(※) 消費者センター施設利用に関しては消費者協会分を含む

■利用率は午前・午後・夜間の3区分で100%とする。なお、当初より予定していた休館日以外の臨時休館等の制限期間は全て区分数に数えるものとする。

■パーセンテージは、小数点以下第1位を四捨五入

2 事業実施状況

(1) 札幌市男女共同参画センター

【自己評価】

新型コロナウイルス感染症の状況が落ち着いてきた中で、オンラインに加えて集合型事業も再開し、オンラインとは違った学びの機会を提供できた。また、集合型での事業開催は、オンライン型よりも強く参加者同士のつながりの場とすることができたと考える。

さらに、出張講座では昨年度同様、多くの依頼をいただき、学校、企業、市民活動団体など、それぞれの現場のニーズに合わせた学びの場を提供することができたとともに、ワークショップなどの実施をとおして、多様な市民の声を聴く機会となった。

今後も、社会情勢の変化を踏まえながら課題解決に必要な事業を迅速に実施していくとともに、男女共同参画社会実現のための新たな課題を発掘し、広く地域社会に提起していくことが求められる。

【事業概要一覧】

ア 学習機会の提供、学習成果の発表および指導者等の人材育成に関する業務

事業名	子ども若者エンパワメント事業 「Waffle Camp ホームタウン in 札幌」
目的・内容	女性生徒の IT・STEM 系への進出を促し、理系分野への女性の社会進出を推進することで、ジェンダー格差を解消することを目的に実施した。 また、貧困や暴力など様々な困難を抱える女性を中心にサポート枠として参加を募集することで技術の習得による経済問題の解決を図った。
日時	令和4年8月8日(月)13:00~18:00
対象	札幌市内に在住・通学する女子中高生、およびこれに相当する年齢の女性 ・女性・ノンバイナリー・gender nonconforming
受講料	無料
定員	20人(一般募集枠17人、サポート枠3人)
参加人数	6人(一般募集枠6人)

事業名	子ども若者エンパワメント事業 北海学園大学「生涯学習概論Ⅱ」
目的・内容	学生が社会教育施設の現場の見学や事業体験を通じて、男女共同参画センターの役割や機能について知ることを目的に実施した。
日時	令和4年12月9日(金)18:00~20:30
対象	生涯学習概論Ⅱ受講生
受講料	無料
定員	13人
参加人数	13人

事業名	ジェンダーイシューに関わる事業 学習会「都道府県版ジェンダーギャップ指数を読む会」
目的・内容	2021年3月に公表された男女平等の指標「ジェンダーギャップ指数」をもとに、改めて自分が生活する地域のジェンダー平等の状況を知るとともに、課題の解決に向けたアクションを考えることを目的に実施した。
日時	令和4年6月29日(水)19:00~21:00
対象	札幌市内または近郊に居住、通勤・通学する方
受講料	無料
定員	20人
回答数	20人

事業名	ジェンダーイシューにかかわる事業 「北海道メジャーグループ・プロジェクト 2022 女性グループミーティング」
目的・内容	対話や発信をとおして現状に気づき、「持続可能な社会」とのギャップについて考えることで、参加者自身が17のゴールと照らし合わせながら、持続可能な開発目標の実現に向けた主体的な行動変容を行うことを目的に実施した。
日時	①令和4年11月5日(土)14:00～16:30 ②令和4年12月6日(火)19:00～21:00 ③令和5年1月19日(木)19:00～21:00 ④令和5年2月18日(土)14:00～16:00 ⑤令和5年3月11日(土)13:30～15:45 (全体ミーティング)
対象	①道内在住の10代～20代の女性 ②道内在住の30代以上の女性 ③道内在住の20代・40代の女性 ④道内在住の女性 ⑤グループミーティングに参加した方、自分の社会における属性や自分とは違う立場のことについて考えたい方、多様性について考えを深めたい方
受講料	無料
定員	①～④20人 ⑤なし
参加人数	延べ50人 ①3人 ②3人 ③4人 ④3人 ⑤37人

事業名	ジェンダーイシューにかかわる事業 「フェムテックって何？～生理をもっと楽しよう」
目的・内容	参加者がSRHRや自身の体や体の自己決定権について学び、権利の行使について考えるきっかけの提供を目的に実施した。
日時	令和5年3月25日(土)14:00～17:00
対象	札幌市内または近郊に居住、通学・通勤する方
受講料	無料
定員	50人
参加人数	10人

事業名	男女共同参画ワークショップ事業
目的・内容	男女共同参画の気づきを提供するために、アンコンシャスバイアスや身近なジェンダー課題を見つめることができる男女共同参画ワークショップを実施した。また、企業や施設に出向くなど、施設外においても積極的に啓発を行うことで、気づきを拡げることができた。 ①北海道武蔵女子短期大学「キャリア論」 男女共同参画や女性活躍推進といった社会課題について知り、女子学生が性別にとらわれず職業選択をするための意識づけを行うことを目的に実施した。 ②札幌市立柏丘中学校 校外学習「ジェンダー平等を実現しよう」 札幌市男女共同参画センターが行っているSDGsの取り組みに関する講話をとおして、SDGsについて自分ごととして捉える視点を育むことを目的として実施した。 ③2022年度 女性部長・女性担当者会議 職場に労働条件を確立し、真の男女平等を実現させるための取り組みを推進し、女性運動の課題を議論することを目的として実施した。 ④探究の時間:2年生ジェンダーゼミ(龍谷高校) ジェンダー問題を自分ごとにしようと考えゼミを選択している生徒たちに、専門家への質問のチャンスを提供するとともに、課題の理解度を高めることを目的として実施した。

<p>目的・内容</p>	<p>⑤令和4年度男女共同参画月間セミナー（千歳市） 男女共同参画社会の実現に向け、市民の意識改革を促進することを目的に実施した。</p> <p>⑥市立札幌開成中等教育学校 Future Job Session 講義 キャリアを学ぶことにより、2年生はVUCA時代に札幌で働いている社会人の実体験などを通し、チャレンジングな環境の中で自分らしく生きる力を身につけることを目指し、3年生は企業と社会、企業と未来の界面を考察する力を習得することを目的に実施した。</p> <p>⑦2022年度性暴力被害者診療支援看護職養成講座 性暴力被害者の支援者を養成することを目的に実施した。</p> <p>⑧講座「異文化研究」（市立札幌大通高等学校） 異文化研究講座をとおしてジェンダーについて学ぶことを目的に実施した。</p> <p>⑨北海道IT推進協会主催セミナー「ジェンダーについて一緒に学んでみませんか？」 ダイバーシティが問われる昨今、女性に限定せず、働き方に関するマインドシフトが必要であり、その一環として、北海道のIT業界におけるジェンダー平等意識向上を図ることを目的にセミナーを実施した。</p> <p>⑩男女共同参画ワークショップ「みんなでつくる石狩市の男女共同参画」 女性と男性双方が希望する「仕事と家庭生活をともに優先」するライフスタイルの実現のためには、ワーク・ライフ・バランスの推進など、女性に偏りがちな家事・育児などの負担を軽減するほか、男性の家事・子育て・介護等への参加や、家族ぐるみの取り組みの必要性が考えられることから、参加者の意識が変わり、行動するきっかけづくりを学ぶ契機にすることを目的とし実施した。</p> <p>⑪SATO グループ幹部研修 SATO グループの職員がジェンダーハラスメントについて学ぶことを目的に実施した。</p> <p>⑫出張講座 SDGs「私たちの声を、地域に」 地域の中で取り残されている人や課題を見つめ、その克服のために必要な政策は何か、当事者からの声を聴くことでどのように取り組むべきか考える機会を提供することを目的に実施した。</p> <p>⑬札幌大学「キャリアデザインⅧ」 卒業を目前に控え、まもなく社会に参画する大学4年生を対象に、社会課題について学ぶ機会を提供目的に実施した。特に多様な方々と共に働く上で必要なダイバーシティとジェンダーに関する知識や意識について学ぶことを目的に実施した。</p> <p>⑭2022年度 第1回男女平等参画推進委員会 「ジェンダー平等」について学ぶことを目的に実施した。</p> <p>⑮北海道コカ・コーラボトリング株式会社「管理職マネジメント基礎研修」 北海道コカ・コーラボトリング株式会社の管理職がDE&Iについて学ぶことを目的に実施した。</p>
--------------	--

<p>目的・内容</p>	<p>⑩『イクボス』のススメ」 男性の家庭生活への参画促進に向け、男性の育児休業取得やワーク・ライフバランスの実現ができる職場環境を整備するために、管理職の意識改革を図るとともに男女問わずすべての職員がワーク・ライフバランスを実現できる職場環境整備を目的に実施した。</p> <p>⑪北海道教育大学札幌校 大学講義「倫理・人権」 男女共同参画社会の実現に向けて、とりわけ若い世代にどのようなことが求められているのかなど、今後の課題などについて受講者が学ぶ契機にすることを目的に実施した。</p> <p>⑫北海学園大学「生涯学習概論Ⅱ」 (再掲)</p> <p>⑬市立札幌清田高等学校「SDGs×探求人インタビュー」 社会で活躍している探究人の取り組み内容から、世界や地域の様々な課題とその解決方法について理解し、探究人の取り組みにかける熱い想いに触れることを目的に実施した。</p> <p>⑭株式会社パソナ「だれでも活躍できる職場づくりのヒント！ダイバーシティ&インクルージョンとは？」 人手不足が深刻化している中小企業に女性活躍の重要性を示し、ダイバーシティ&インクルージョンを取り入れた働き方改革につなげることを目的に実施した。</p> <p>⑮市立札幌藻岩高等学校1年次「総合的な探究の時間」 SDGsを学ぶことにより、「課題発見・魅力転換・サステナブル・リジェネレーション」の方法や視点を習得した上で、ジェンダー平等についての見識を高めることを目的に実施した。</p> <p>⑯北海道内合同SDコン 様々な企業や団体が持続可能な社会に向けて取り組んでいる内容を高校生が学び、自分ゴトとして考えることで、社会において「自立して生きる力」を身につけることを目的に実施した。</p> <p>⑰シンポジウム「これってNG?～メディア表現から考えるジェンダー平等」 新聞やテレビなどメディアで日々、報道されるジェンダーにまつわる偏った表現や価値観、バイアスが社会に及ぼす影響を考える機会とし、ジェンダー差別の課題解決を目指す趣旨で実施した。</p> <p>⑱北星学園女子中学校職業講演会 中学生に職業について伝え、将来について考える機会を持つことを目的に実施した。</p> <p>⑲令和4年度「男女共同参画ワークショップ事業」出張講座 JP 労組北海道第2回支部長会議「ジェンダー平等の推進に向けた講演」 ジェンダー平等の推進を目的として実施した。</p>
<p>日時</p>	<p>①令和4年5月18日(水)14:40～16:10 ②令和4年5月20日(金)9:30～10:30 ③令和4年5月28日(土)14:00～16:00 ④令和4年6月17日(金)13:05～13:50 ⑤令和4年6月26日(日)13:30～15:30 ⑥・3年生 令和4年6月10日(金)15:00～15:50</p>

日 時	<ul style="list-style-type: none"> ・2年生 令和4年6月28日(火)14:00～14:50 ⑦令和4年7月9日(土)13:40～16:50 ⑧令和4年7月20日(水)8:35～10:05、15:20～16:50 ⑨令和4年8月23日(火)13:30～15:00 ⑩令和4年10月18日(火)13:30～16:00 ⑪令和4年10月18日(火)17:00～18:30 ⑫令和4年10月25日(火)19:00～21:00 ⑬令和4年10月28日(金)9:00～12:10 ⑭令和4年11月22日(火)14:00～14:45 ⑮令和4年11月29日(火)13:00～14:30 ⑯令和4年12月7日(水)14:00～16:00 ⑰令和4年12月9日(金)13:00～14:30 ⑱令和4年12月9日(金)18:00～20:30 ⑲令和5年1月18日(水)13:45～16:15 ⑳令和5年1月19日(木)13:30～14:30 ㉑令和5年1月20日(金)12:50～15:30 ㉒令和5年1月27日(金)13:20～15:10 ㉓令和5年1月29日(日)13:30～15:30 ㉔令和5年2月9日(木)14:25～16:15 ㉕令和5年3月25日(土)9:30～10:15
対 象	<ul style="list-style-type: none"> ①北海道武蔵女子短期大学経済学科2年生 ②札幌市立柏丘中学校1年生 ③全国自治労職員 ④札幌龍谷学園高等学校2年生 ゼミ選択生徒 ⑤千歳市民 ⑥市立開成中等教育学校2年生および3年生 ⑦性暴力被害者の診療支援に関わる看護師など ⑧大通高校2～4年次生徒 ⑨IT推進協会会員社員 ⑩一般市民 ⑪SATOグループ幹部職員 ⑫一般市民、北海道メジャーグループプロジェクト参加者 ⑬札幌大学4年生 ⑭連合北海道男女平等参画推進委員会のメンバー ⑮北海道コカ・コーラボトリング株式会社グループの管理職 ⑯小樽・旭川・帯広等道内開発建設部の幹部および課長級・課長補佐 ⑰一般市民 ⑱生涯学習概論Ⅱ受講生 ⑲講義を希望する1年生 ⑳札幌市内の中小企業中小企業 ダイバーシティ推進担当者 ㉑市立札幌藻岩高等学校1年次生 ㉒市立札幌藻岩高校、札幌新陽高校、札幌龍谷学園高校、北海道静内高校の生徒50人程度 ㉓市民 ㉔中学1・2年生の生徒 ㉕労働組合のリーダー(支部長)
受講料	無料
定 員	①なし ②20人 ③100人 ④25人 ⑤なし ⑥なし ⑦30人 ⑧40人 ⑨100人 ⑩20人 ⑪なし ⑫なし ⑬なし ⑭なし ⑮なし ⑯なし ⑰なし ⑱なし ⑲13人 ⑳なし ㉑なし ㉒なし ㉓50人 ㉔30人 ㉕なし ㉖48人
参加人数	1,557人 ①29人 ②19人 ③80人 ④25人 ⑤27人 ⑥318人 ⑦28人 ⑧18人

参加人数	⑨31人 ⑩16人 ⑪150人 ⑫15人 ⑬13人 ⑭12人 ⑮150人 ⑯33人 ⑰298人 ⑱13人 ⑲42人 ⑳13人 ㉑50人 ㉒44人 ㉓65人 ㉔20人 ㉕48人
------	---

事業名	子育てや介護の環境整備事業 託児事業
目的・内容	子育てや介護などの負担を担っている市民が学習できる環境を整えることを目的に実施した。
日時	令和4年4月1日(金)～令和5年3月31日(金)
対象	札幌市男女共同参画センター主催事業受講者の養育する乳幼児(5ヵ月以上未就学児)
受講料	無料
定員	なし
参加人数	なし

イ 相談業務

事業名	女性のための法律相談
目的・内容	女性の経済的・社会的自立の促進や女性が抱える悩みの解決を目的に相談窓口を設置した。 ・相談員および体制:各相談日相談員1人/弁護士(女性) ・相談内容:女性が抱える悩みのうち法律的な分野(離婚、親権、相続など)について相談に応じた。
日時	令和4年4月1日(金)～令和5年3月31日(金) 第1・3金曜日 18:00～20:00
対象	札幌市内、札幌市近郊に居住または通勤する女性
受講料	無料
定員	なし
参加人数	延べ74人

事業名	女性のための総合相談
目的・内容	女性の経済的・社会的自立の促進や女性が抱える悩みの解決を目的に相談窓口を設置した。 ・相談員および体制:各相談日相談員1人(女性) ・相談内容:家庭での悩み、人間関係、教育問題、女性の悩みごとについて相談に応じた。
日時	令和4年4月1日(金)～令和5年3月31日(金) 第1・3水曜日 10:00～12:00 第2・4水曜日 18:00～20:00
対象	札幌市内、札幌市近郊に居住または通勤する女性
受講料	無料
定員	なし
参加人数	延べ79人

事業名	若年層のための相談「ガールズトークルーム」
目的・内容	対面式でガールズたちが立ち寄って、話すことのできる居場所を提供した。また、相談をとおして、自身が抱える悩みやモヤモヤの原因に気づいてもらうことや課題を抱えた際に自分から行動に移せるようになることなど、必要な情報を提供することを目的に実施した。
日時	(1) 事前研修会:令和4年11月25日(金)18:00～19:00 (2) 開催日程: ①令和4年10月29日(土)13:00～16:00 ②令和4年11月19日(土)16:30～19:30 ③令和4年11月29日(火)16:30～19:30

日 時	④令和4年12月10日(土)13:00～16:00 ⑤令和4年12月27日(火)16:30～19:30 ⑥令和5年1月7日(土)13:00～16:00 ⑦令和5年1月20日(金)16:30～19:30 ⑧令和5年2月12日(日)13:00～16:00 ⑨令和5年2月24日(金)16:30～19:30 ⑩令和5年3月12日(日)13:00～16:00 ⑪令和5年3月24日(金)16:30～19:30 (3) 振り返り会:令和5年3月20日(月)18:00～19:30
対 象	(1) (3) ガールズトークルーム協力者 (2) 中学生、高校生、大学生またはこれに相当する年齢の女性
受講料	無料
定 員	(1) (3) なし (2) 各回15人
参加人数	(1) 3人 (2) 延べ18人 ①2人 ②1人 ③1人 ④1人 ⑤3人 ⑥2人 ⑦3人 ⑧1人 ⑨0人 ⑩1人 ⑪3人 (3) 6人

事業名	相談検討会議
目的・内容	女性のための総合相談の相談員と男女共同参画センター職員が、女性を取り巻く課題と市内にある女性のための社会資源について学び、今後の相談対応について活かすことを目的に実施した。
日 時	令和5年3月20日(月)10:00～11:30
対 象	女性のための総合相談 相談員、札幌市男女共同参画センター 相談担当職員
受講料	無料
定 員	なし
参加人数	6人(相談員3人、センター職員:3人)

事業名	男性のためのワーク・ライフ相談事業 「オンラインセミナー「男性の悩みや不安をジェンダー視点で考える～男性相談の現場から～」
目的・内容	男性の抱える不安や悩みの傾向、男性相談から見えてくる男性特有の課題についてジェンダーの視点から分析し、男性の孤独・孤立防止に向けた理解を深めることを目的に実施した。
日 時	令和5年3月27日(月) 13時～15時
対 象	男性相談や男性対象の支援に関心のある方
受講料	無料
定 員	30人
参加人数	6人

ウ 健康支援業務

事業名	健康支援事業 「フェムテックって何?～生理をもっと楽しよう」 ※ジェンダーイシューにかかわる事業(同一事業名)と同内容は再掲
目的・内容	(再掲)
日 時	(再掲)
対 象	(再掲)
受講料	(再掲)
定 員	(再掲)
参加人数	(再掲)

エ 交流の広場業務 「1 施設利用状況」のとおり

オ 就労・起業支援業務

事業名	ワーク・ライフ支援事業 「女性のための起業相談」
目的・内容	起業準備中の女性、すでに起業している女性を対象に、個別の課題解決を目指した相談窓口を設置した。
日時	令和3年4月1日(木)～令和4年3月31日(木)
対象	札幌市内、札幌市近郊に居住・勤務する起業を目指す女性または起業後間もない女性
受講料	無料
定員	30人程度
参加人数	延べ22人

事業名	ワーク・ライフ支援事業 「SDGs 講演会」
目的・内容	企業や経済団体などに対して、SDGs、特にジェンダー平等の取り組みの重要性を理解し、さらに先進事例などから具体的な取り組みについて考える機会とすることを目的に実施した。
日時	令和4年7月15日(金)19:00～21:00
対象	札幌に居住または通勤する方
受講料	無料
定員	50人
参加人数	44人

事業名	ワーク・ライフ支援事業 女性リーダー養成研修フォローアップ研修
目的・内容	これまでの研修で得たものを、現場での実践に活かすための学びの場、一人ひとりの現状の振り返りの場、ギブすることの効果について理解を深める機会や参加者同士の意見交換および交流の機会を提供することを目的に実施した。 講師:小安美和さん ((株)Will Lab 代表取締役)
日時	令和4年8月1日(月)14:30～17:00
対象	平成29年度～令和3年度までの女性リーダー養成研修の参加者
受講料	無料
定員	なし
参加人数	13人

事業名	ワーク・ライフ支援事業/環境整備事業 アンコンシャスバイアスセミナー
目的・内容	アンコンシャスバイアスとは誰もが持っている無意識の偏見である。それがどんな場面でどのように影響しているのかを考え、アンコンシャスバイアスを意識し、自者や他者の可能性を拡充することを目的に実施した。
日時	令和4年8月1日(月)19:00～21:00
対象	札幌に居住または通勤する方
受講料	無料
定員	20人
参加人数	16人

事業名	ワーク・ライフ支援事業/人材育成事業 女性リーダー養成研修
目的・内容	女性リーダーの必要性や社会的役割の理解、自身の強み理解・発揮、問題解決に向かう思考の習慣化、明確な目標設定・現場での実践を目指すことを目的に実施した。(全5回)

目的・内容	①開講講演「女性リーダーの必要性について」 講師:矢島 洋子さん(三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社執行役員) ②研修「自分の強みと他者の強みを生かしたチームづくり」 講師:長尾 彰さん(株式会社ナガオ考務店 代表取締役) ③研修「キャリアビジョンをみつめ、自分らしい働き方を見つける」 講師:小安 美和さん(株式会社Will Lab 代表取締役) ④研修「リーダーシップを磨くためのアクションを考える」 講師:塚原 月子さん(株式会社カレイディスト 代表取締役) ⑤クロージング「修了生による成果発表」
日時	①令和4年10月21日(金)13:00~17:00 ②令和4年11月17日(木)9:30~16:30 ③令和4年12月16日(金)9:30~16:30 ④令和5年1月17日(火)9:30~16:30 ⑤令和5年2月20日(月)13:30~16:50
対象	女性活躍を進めたいと考える企業の女性社員
受講料	1人30,000円(同企業から複数人参加の場合は2人目以降1人15,000円)
定員	①60人 ②~④30人 ⑤60人
参加人数	延べ126人 ①27人 ②③④19人 ⑤42人

事業名	ワーク・ライフ支援事業/環境整備事業 DE&Iセミナー
目的・内容	市民や企業に向けて、DE&Iの昨今の流れや必要性、そして家庭や地域、職場などで実践するためのヒントについて考える機会として実施した。 ①・講義「もう1歩先のダイバーシティ&インクルージョンセミナー~今こそモヤモヤを解消しませんか?」 ・ワークショップ ②・講義「人を育て生かす企業のダイバーシティ&インクルージョンとは?」 ・質疑応答 講師:菅原 亜都子(札幌市男女共同参画センター事業係長)
日時	①令和5年2月13日(月)19:00~21:00 ②令和5年2月22日(水)13:30~15:30
対象	①札幌および近郊に居住または通勤、通学する方 ②札幌および近郊の企業、組織の経営者、従業員の方
受講料	1,000円/各回
定員	各回20人
参加人数	延べ25人 ①18人 ②7人

カ 普及・啓発、情報収集・提供業務

事業名	情報誌「りぷるさっぽろ」の発行
目的・内容	市民に向け、男女共同参画の意識の浸透と男女共同参画センターの機能の周知を図るために情報誌を発行した。 ①56号「二択じゃない社会へ~選べるって素晴らしい」 (令和4年11月発行) ※発行部数5,000部 ※主な配布先(市内女性団体、札幌市関係、道内外関係機関など)
対象	札幌市内、札幌市近郊に居住または通勤する人
受講料	無料
定員	なし
参加人数	なし

キ ネットワーク支援事業

事業名	男女共同参画団体支援事業 クラウディキャンパス
目的・内容	①クラウディのネットワークに関わる団体とその関係者がともに学ぶ機会を創出することで、ネットワーク強化を目指し実施。今回は若年女性支援を行う上で必要な情報のインプットや、考え方、スキルを学ぶことを目的に実施した。 ②継続可能で質の高い支援を行うために必要な支援者のセルフケアを学ぶことを目的に実施した。
日時	①令和5年3月7日(火)19:00～21:00 ②令和5年3月28日(火)12:30～14:30
対象	①②クラウディに参画する市民活動団体のメンバー
受講料	無料
定員	20人
参加人数	延べ16人 ①11人 ②5人

ク 国際交流支援事業

事業名	国際交流事業/共催事業 難民映画祭パートナーズ札幌市「マイスマールランド」上映会
目的・内容	難民・国内避難民の状況、特に女性や家族に対する支援の必要性について、理解と共感を深める事を目的に実施した。
日時	令和4年11月23日(水) ①9:30～12:00 ②13:30～16:00
対象	一般市民
受講料	無料
定員	70人
参加人数	52人

ケ 運営協議会

事業名	男女共同参画センター運営協議会
目的・内容	札幌エルプラザ公共4施設の施設管理と札幌市男女共同参画センターの事業について、モニタリングの一環として指定管理者から管理運営について報告し、要求水準の達成又は改善に向けた協議をすることを目的に実施した。
日時	①令和4年8月3日(水)15:00～17:00 ②令和5年3月7日(火)15:00～17:00
出席者	①②運営協議会委員、札幌市、(公財)さっぽろ青少年女性活動協会
参加人数	延べ14人 ①7人 ②7人

(2) 札幌市市民活動サポートセンター

【自己評価】

停滞を余儀なくされていた市民活動において、徐々に活動再開に向けた動きが見え始めてきた。こうした社会状況の中において、利用者同士が交流を行うことのできる成果発表の場『しみさぼマルシェ』事業などを実施し、つながりや対面といった、今後改めて重視されるアナログな部分にフォーカスした事業は参加者からも非常に好評であった。

また、課題となっていた若年代対象の事業として、同年代を対象とした講演会を展開した結果、それぞれのゲストが持つつながりを基軸とした参加者も集まり、市民活動サポートセンター単独ではアプローチの難しかった新たなつながりを構築することができた。こうした新たな利用者が当センターを認知してくれる機会になったことは大きな成果といえる。今後も利用者層の幅を意識的に広げることで、当センターのさらなる認知度向上を目指していきたい。

【事業概要一覧】

ア 情報収集提供・相談に関する業務

事業名	利用登録業務
目的・内容	札幌市市民活動サポートセンター利用を希望する団体の登録を受け付け、登録期間満了が近づいた団体に対して更新手続きを行うことにより、市民活動団体の正確な把握と適正な施設の利用促進を図った。
日時	令和4年4月1日(金)～令和5年3月31日(金)
対象	① 札幌市内に事務所を有するか、札幌市内で活動をする「市民活動」団体 ② 「市民活動」を行っている、または、これから行おうとしており、札幌市内に住所があるか、札幌市内に事務所、勤務先、学校のある個人
登録料	無料
定員	なし
登録数	令和4年度末登録団体数 1,329 団体(うち新規 124 団体)

事業名	ホームページの管理運営
目的・内容	市民活動の周知や参加促進のために市民活動団体や市民に有益となる情報提供を行った。
日時	令和4年4月1日(金)～令和5年3月31日(金)
対象	市民活動団体や一般市民
アクセス数	17,227 件

事業名	プッシュ型広報の促進
目的・内容	フェイスブックページの運営やメールマガジンの発行により、市民活動に関するタイムリーな情報を広く提供することを目的に実施した。 ①市民活動メールマガジンの発行 ②市民活動サポートセンターフェイスブックページの運営
日時	①令和4年4月1日(金)～令和5年3月31日(金)のうち 毎月第2・第4金曜日(全24回)、他臨時号1回 合計25回発行 ②令和4年4月1日(金)～令和5年3月31日(金)随時
対象	①メールマガジン購読申込者 ②市民活動団体や一般市民
登録件数等	①購読登録者 延べ229人(うち新規登録11件) ②SNS フォロワー数：facebook 695人、YouTube 50人、Instagram 64人

事業名	掲示コーナーの整備
目的・内容	市民ニーズと合致するまたは市民活動に有益な情報を提供することを目的に、市民活動団体の事業や団体の活動目的および履歴、ボランティアなどの人材募集など、活動に有益かつ参画促進に繋がる情報を積極的に収集、提供した。
日時	令和4年4月1日(金)～令和5年3月31日(金)
対象	市民活動サポートセンター登録団体や行政機関、企業等
事業名	掲示コーナーの整備

事業名	市民活動情報誌の発行
目的・内容	市民活動や札幌市市民活動サポートセンターの周知啓発、市民活動に有益な情報提供を紙媒体で行うことにより、市民活動の発展や促進を図った。 発行日・テーマ 【第62号】令和4年8月「#市民活動×ニューノーマル」 【第63号】令和4年11月「#市民活動×食」 【第64号】令和5年2月「#市民活動×福祉」
日時	令和4年4月1日(金)～令和5年3月31日(金)
配布先	市民活動団体、札幌市関係機関、道内外関係機関、個人等(事業講師、編集協力者)ほか
発行部数	各号5,000部

事業名	市民活動相談①
目的・内容	市民活動サポートセンター職員が市民活動全般やNPO法人設立認証などに係る簡易な相談に対応することにより、市民の持つ社会的課題の解決につなげることを目的に実施した。専門的な相談については、市民活動相談員など内容に応じて適切な相談機関につないだ。
日時	令和4年4月1日(金)～令和5年3月31日(金)
対象	市民活動団体や一般市民
相談料	無料
定員	なし
相談件数	463件

事業名	市民活動相談②
目的・内容	市民活動などの豊富な経験を持つ相談員が、市民活動サポートセンターのスタッフとともに、市民活動に関する一般相談や広範囲な活動に係る相談に応じ、市民活動の促進を図ることを目的に実施した。 協働団体：さっぽろパブリックサポートネットワーク
日時	令和4年4月1日(金)～令和5年3月31日(金)のうち 毎週火・水・金曜日(年末年始、臨時休館日を除く)15:00～17:00 第1・2木曜日16:45～19:00
対象	市民活動団体・一般市民
相談料	無料
定員	なし
相談件数	126件

事業名	NPO 専門相談①(税務・会計)
目的・内容	税理士を相談員とし、実践的、即時的に市民が持つ疑問の解消や市民活動団体の抱える課題の解決を図ることを目的に実施した。市民活動団体の税務・会計について、専門的な相談に対応することができた。 協働団体：北海道税理士会
日時	令和4年4月1日(金)～令和5年3月31日(金) 全12回 第4木曜日(※7・9月は第5木曜日)15:00～17:00
対象	市民活動団体・一般市民
相談料	無料
定員	1日につき2団体(人)まで
相談件数	16件

事業名	NPO 専門相談②(法律)
目的・内容	弁護士を相談員とし、実践的、専門的な相談対応を行うことを目的に実施した。市民活動団体のコンプライアンス意識の向上やガバナンスの強化を支援することができた。 協働団体：NPOのための弁護士ネットワーク
日時	令和4年4月1日(金)～令和5年3月31日(金) 全12回 第3木曜日 4月～9月 15:00～17:00、10月～3月 10:00～12:00
対象	市民活動団体・一般市民
相談料	無料
定員	1日につき2団体(人)まで
相談件数	7件

事業名	市民活動のための法律相談強化週間
目的・内容	実践的、即時的に市民が持つ疑問の解消や市民活動団体の抱える法律的課題の解決を図ることを目的に実施した。 市民活動相談に寄せられる相談の複雑化、専門化に対応するため「法律」に係る専門相談員(弁護士)による相談を受け付ける相談窓口を設置した。 協働団体：札幌弁護士会
日時	① 令和5年2月13日(月)18:00～19:00 ② 令和5年2月14日(火)18:00～19:00 ③ 令和5年2月16日(木)18:00～19:00 ④ 令和5年2月17日(金)18:00～19:00 ⑤ 令和5年2月18日(土)13:30～14:30 ⑥ 令和5年2月19日(日)13:30～14:30
対象	札幌市内で市民活動を行っている方
相談料	無料
定員	なし
相談件数	1件(②のみ)

事業名	市民活動相談「相談員研修」
目的・内容	的確な相談対応を実施するため、事例研究や学習をとおして相談員と職員間の共通認識や情報の共有化を図り、相談技能の向上と相談件数の増加につなげることを目的に実施した。 ①令和4年10月より施行される労働者協同組合法についての講習、講師と相談員での意見交換を行った。 ②相談員との意見交換、前回の情報交換会の振り返り、今年度の相談対応で感じたことの情報共有などを行い、相互理解を深めた上で次年度の市民活動相談について検討した。
日時	①令和4年7月25日(月)13:30～15:00 ②令和5年1月23日(月)18:00～19:30
対象	市民活動相談員・さっぽろパブリックサポートネットワーク会員
受講料	無料
定員	なし
参加人数	延べ10人 ①5人 ②5人

事業名	利用者アンケート調査
目的・内容	札幌市市民活動サポートセンターの利用者にアンケートを実施することで、運営やWEBメディアなどの改善案の判断材料とする。
日時	アンケート実施期間 令和5年3月1日(水)～令和5年3月31日(金)
対象	札幌市市民活動サポートセンター利用者
回答数	26件

イ 研修学習に関する業務

事業名	スタートアップ支援事業 次世代層向け市民活動サポート 出張講座
目的・内容	次世代層に対して市民活動に興味・関心を持つ機会を創出することにより、市民活動および市民活動団体の持続・発展に寄与するとともに、活動への参加促進や働くことの大切さ・意義を学ぶ機会にすることを目的に、市民活動サポートセンターの役割や市民活動についての出張講座を2校で実施した。 ①酪農学園大学 ②市立開成中等教育学校
日時	①令和4年7月1日(金)13:00～14:30 ②令和4年7月8日(金)16:50～17:35
対象	① ボランティア活動・NPO・NGO 論(基礎講座)履修学生 ②DP生
受講料	無料
定員	なし
参加人数	延べ145人 ①135人 ②10人

事業名	NPOフォローアップ講座 「NPOにも関係あるの？インボイス制度について知ろう！」
目的・内容	団体運営にかかわる知識としてインボイス制度や改正電子帳簿保存法についての情報を提供することで団体活動を支援することを目的とした。 令和5年10月から導入される消費税のインボイス制度や電磁的記録で提供が行われる際の電子帳簿保存法について、札幌国税局の職員に来てもらい説明をしていただくとともに質疑応答に対応する。 協働：札幌国税局
日時	令和5年1月25日(水)15:00～17:00
対象	・札幌市内、札幌市近郊に居住または通勤・通学する市民 ・インボイス制度に関して関心のある団体や個人
受講料	無料
定員	30人
参加人数	15人

事業名	スタートアップ支援事業 次世代層向け市民活動サポート 職場体験学習
目的・内容	次世代の活動を担う若者に対し、市民活動団体の活動に触れる機会を提供することで、当センターの認知度を高めるとともに、市民活動の啓発を目的として、当センターの業務を体験してもらった。
日時	令和4年8月30日(火)8:45～15:00
対象	札幌市立真駒内中学校 職場体験学習対象者
受講料	無料
定員	なし
参加人数	7人(生徒6人/教員1人)

事業名	スタートアップ支援事業 次世代層向け市民活動サポート NPO インターンシップ オリエンテーション
目的・内容	市民活動に係る新たな担い手の発掘および育成、市民活動団体への参加促進を図るとともに「社会的課題と自分の関わり」「生き方」「働き方」について考え、経験を積む機会を提供することを目的に「NPO インターンシップ」を実施した。 インターンシップへの意欲を高めるため、受け入れ団体より直接お話をいただく団体説明会と情報交換会を行った。
日時	令和4年8月17日(水)13:00～16:00
対象	NPO インターンシップ参加者および受け入れ団体代表者
受講料	無料
定員	20人
参加人数	20人

事業名	スタートアップ支援事業 次世代層向け市民活動サポート NPO インターンシップ
目的・内容	市民活動に係る新たな担い手の発掘および育成、市民活動団体への参加促進を図ること、および「社会的課題と自分の関わり」「生き方」「働き方」について考える機会を提供することを目的に実施した。 ①インターンシップ ②活動体験セッション(中間報告会)
日時	①令和4年8月29日(月)～令和4年12月28日(水)まで各受け入れ団体での活動期間 ②令和4年10月15日(土)9:45～11:45
対象	NPO 活動に関心のある概ね30歳までの若者
受講料	無料
定員	20人
参加人数	延べ14人 ①9人 ②5人

事業名	スタートアップ支援事業 次世代層向け市民活動サポート NPO インターンシップ まとめ会
目的・内容	全行程をとおして学んだことを共有し、これまでの経験を整理する機会とすること、本事業をきっかけとして、今後も「社会課題の解決を目指す」ということにどうかかわり続けていけるかを考える機会とすることを目的に実施した。 プレゼン形式で発表後、新たに感じた疑問などを対話形式でコーディネーターやゲストと話すことで交流を深めた。最後にコーディネーターからの総評をいただき参加者との振り返りを行った。
日時	令和5年1月7日(土)9:45~13:00
対象	NPO インターンシップ参加者(高校生・大学生)および受入れ団6団体
受講料	無料
定員	20人
参加人数	14人

事業名	人材養成事業 「非営利団体のためのおカネの集め方 やさしい言葉で解説します」
目的・内容	市民活動団体における資金調達を学ぶことで、運営に不可欠なリテラシーを身につけることを目的に実施した。 講師を招き、市民活動団体の組織運営に着目し、ファンドレイザーによるトークセッションやワークを通じて、市民活動団体における資金調達についての理解を深める機会とした。 講師：久保 匠 さん(日本ファンドレイジング協会認定ファンドレイザー)
日時	令和5年3月13日(月)18:30~20:00
対象	札幌市内で市民活動を行っている方
受講料	500円
定員	30人
参加人数	14人

事業名	人材養成事業「非営利団体のため働きかた改革 初歩から丁寧に解説します」
目的・内容	市民活動団体における労働基準法に即したスタッフの適切な運用に関する知識を身につけることを目的に実施した。 講師を招き、市民活動団体の組織運営に着目し、社会保険労務士によるトークセッションを通じて市民活動団体における「働き方」について学ぶ機会とした。 講師：村谷 洋子 さん(社会保険労務士)
日時	令和5年3月24日(金)18:30~20:00
対象	札幌市内で市民活動を行っている方
受講料	500円
定員	30人
参加人数	3人

ウ 交流活動支援に関する業務

事業名	NPO との協働・共創事業 SNS サロン「SNS ってなんだ？スマホ活用術～フェイスブック編～」
目的・内容	市民活動サポートセンター利用者同士の交流により、施設の活用方法をはじめ、市民活動の一助となる情報交流の場作りと利用促進を目的として実施した。 打ち合わせコーナーの一部を開放し、別日開催の「SNS ワークショップ」と連動した、スマートフォンやSNSに関する予習復習の場を設定し、簡易な相談を受けながら情報交換を行った。講師・アシスタントが同席することにより、伴走支援も兼ねた形で対応した。(ワークショップ参加者以外も受け入れる)
日時	①令和4年12月2日(金)14:00～16:00 ②令和4年12月16日(金)14:00～16:00 ③令和5年1月12日(木)14:00～16:00
対象	・市民活動に取り組み、市民サポートセンターを利用している市民 ・スマートフォンを持参できる市民
受講料	300円
定員	なし
参加人数	延べ13人 ①3人 ②5人 ③5人

事業名	NPO との協働・共創事業 SNS ワークショップ「SNS ってなんだ？スマホ活用術～フェイスブック編～」
目的・内容	市民活動サポートセンター利用者同士の交流により、施設の活用方法をはじめ、市民活動の一助となる情報交流の場作りと利用促進を目的として実施した。 スマートフォンの利用方法・SNS 活用方法など、これまでの活用例やモデルケースを具体的に紹介しながら、設定方法やフォロー、投稿までを学び実践を行った。(今回は市民活動に活用しやすいフェイスブックの活用をメインとした)
日時	①令和4年12月8日(木)10:00～12:00 ②令和4年12月22日(木)10:00～12:00 ③令和5年1月19日(木)10:00～12:00
対象	・市民活動に取り組み、市民サポートセンターを利用している市民 ・スマートフォンを持参できる市民
受講料	3,000円(3回分の受講料)
定員	各回20人
参加人数	延べ26人 ①7人 ②9人 ③10人

事業名	中間支援組織との交流・ネットワーク事業
目的・内容	近隣地域で市民活動の中間支援に取り組む組織と交流・ネットワーク化を図り、情報収集、情報交換などを行うことで市民活動の新しい流れや現状を把握するなど、市民活動の活性化を目的として参加した。 ①「市民活動スタッフ養成講座」に参加 ②市民活動推進アドバイザーとして協力(北海道)
日時	①令和4年7月22日(金)～令和4年11月17日(木)間 全6回 ②令和4年4月26日(火)～令和5年3月31日(金)
対象	①市民活動団体、市民活動中間支援センタースタッフ ②市民活動団体や一般市民
参加人数	①延べ90人 ②相談件数13件

事業名	NPO との出会い創出事業 『札幌市市民活動サポートセンター×北海道 NPO 総合戦略共催企画「ユース世代がソーシャルキャリアを考える」』
目的・内容	ユース世代が、北海道/札幌市内で活動するソーシャルセクター人材の話を聞くことで、自分のキャリアについて考え行動するきっかけをつくること、所属を超えた繋がりを構築することで、相互に研鑽し合える関係性を構築するための一助とすることを目的に、ロールモデルによるキャリアトーク、ワークショップ「自分のソーシャルキャリアを考える」、交流会を実施した。 ゲスト ・柴田涼平さん(株式会社とける代表取締役) ・嶋本勇介さん(株式会社あしたの寺子屋 代表取締役) ・久保匠さん(ソーシャルセクターパートナーすくらむ代表) ・深井咲良さん(NPO 法人みなと計画) ・水谷あゆみさん(NPO 法人 ezorock)
日時	令和5年3月10日(金)18:30~21:30
対象	札幌市内で市民活動を行っている方
受講料	無料
定員	50人
参加人数	27人

事業名	NPO との出会い創出事業 市民活動団体支援～しみさぼ” おためし” マルシェ
目的・内容	市民活動団体の成果発表の支援として、出展スペースを作り、多くの方が市民活動団体の取り組みおよび成果について知ることのできる場を創出することを目的とした。 市民活動団体による成果発表を主体として、成果物の展示や物販など、団体の希望する形態で出展をすることで活動のPRを行った。また、販売の売り上げの一部はさぼーとほっと基金に寄付した。
日時	①令和4年7月28日(木)11:00~15:00 ②令和4年7月29日(金)11:00~15:00
対象	・札幌市内、札幌市近郊に居住または通勤・通学する市民 ・市民活動団体に取り組んでいる市民
受講料	無料
定員	なし
参加人数	延べ428人 ①149人 ②279人

事業名	NPO との出会い創出事業 しみさぼマルシェ 2022
目的・内容	市民活動団体支援として成果発表の場を創出し、多くの市民に向けて発表することによる市民活動の認知向上や促進につなげることを目的とした。 市民活動団体による成果発表を主体として、成果物の展示や物販など、団体の希望する形態で出展をすることで活動のPRを行った。また、販売の売り上げの一部はさぼーとほっと基金に寄付した。
日時	①令和4年9月29日(木)11:00~15:00 ②令和4年9月30日(金)11:00~15:00 ③令和4年10月1日(土)10:00~15:00
対象	・札幌市内、札幌市近郊に居住または通勤・通学する市民 ・市民活動団体に取り組んでいる市民
受講料	無料
定員	なし
参加人数	延べ1,267人 ①228人 ②394人 ③645人

事業名	NPO との出会い創出事業 市民活動団体支援～しみさぼ” おためし” マルシェ 2
目的・内容	市民活動団体の成果発表の支援として、出展スペースを作り、多くの方が市民活動団体の取り組みおよび成果について知ることのできる場を創出することを目的とした。 市民活動団体による成果発表を主体として、成果物の展示や物販など、団体の希望する形態で出展をすることで活動の PR を行った。また、販売の売り上げの一部はさぼーとほっと基金に寄付とした。
日時	①令和 4 年 11 月 24 日(木)11:00～16:00 ②令和 4 年 11 月 25 日(金)11:00～16:00
対象	・札幌市内、札幌市近郊に居住または通勤・通学する市民 ・市民活動団体に取り組んでいる市民
受講料	無料
定員	なし
参加人数	延べ 1,513 人 ①961 人 552 人

事業名	NPO との出会い創出事業 市民活動団体支援～しみさぼ” おためし” マルシェ 3
目的・内容	市民活動団体の成果発表の支援として、出展スペースを作り、多くの方が市民活動団体の取り組みおよび成果について知ることのできる場を創出することを目的とした。 市民活動団体による成果発表を主体として、成果物の展示や物販など、団体の希望する形態で出展をすることで活動の PR を行った。また、販売の売り上げの一部はさぼーとほっと基金に寄付とした。
日時	①令和 5 年 1 月 26 日(木)11:00～16:00 ②令和 5 年 1 月 27 日(金)11:00～16:00
対象	・札幌市内、札幌市近郊に居住または通勤・通学する市民 ・市民活動団体に取り組んでいる市民
受講料	無料
定員	なし
参加人数	延べ 392 人 ①207 人 ②185 人

エ 団体活動支援に関する業務

事業名	事務ブースの提供
目的・内容	事務所機能としての事務ブースの貸し出しを行うことによって、市民活動団体の活動を支援することを目的に実施した。 事務ブース(1ブースあたり 4㎡)19 区画
日時	令和 4 年 4 月 1 日(金)～令和 5 年 3 月 31 日(金)
対象	札幌市内で市民活動を行っている又は行おうとし、且つ、サポートセンターに市民活動団体として登録を行っている又は行おうとする団体で、市内に専用の事務所を所有していない団体
利用団体	入居団体数 延べ 16 団体 ブースNo.1 一般社団法人 JOY(R4. 5～R5. 3) ブースNo.2 NPO 法人こども共育サポートセンター(R4. 6～R5. 3) ブースNo.3 MIC フォーラム実行委員会(R4. 4～R4. 11) ブースNo.4 一般社団法人福祉システム北海道(R4. 4～R5. 3) ブースNo.5 市民活動発展連絡プロジェクト ヒヨコ連絡会(R4. 4) 一般社団法人 North-Woman(R4. 7～R5. 3) ブースNo.6 特定非営利活動法人ことばのひろば五億の鈴の音(R4. 4～R5. 3)

ブースNo.7	特定非営利活動法人ライフアップ (R4. 4～R5. 3)
ブースNo.8	特定非営利活動法人チェルノブイリへのかけはし (R4. 4～R5. 1)
ブースNo.9・10	特定非営利活動法人札幌歩こう会 (R4. 4～R4. 7)
ブースNo.11・12	一般社団法人北海道健康医療フロンティア (R4. 4～R5. 1) 公益財団法人日本尊厳死協会北海道支部 (R5. 2～R5. 3)
ブースNo.13・14・15	NPO 法人札幌微助人倶楽部 (R4. 4～R4. 10)
ブースNo.16・17	市民活動発展連絡プロジェクト ヒヨコ連絡会 (R4. 5～R5. 3) ※No. 5 より移動
ブースNo.18	一般社団法人終活マイライフ (R4. 5～R5. 3)
ブースNo.19	特定非営利活動法人未来の職場 (R4. 4～R5. 3)

事業名	ロッカーの提供
目的・内容	登録団体がロッカーを活用して物品保管などを行うことにより、団体の活動が円滑に進められるよう支援することを目的に実施した。 ①大ロッカー [幅 40×奥行 45×高さ 53(cm)利用料 1 ヶ月につき 700 円]48 個 ②小ロッカー [幅 40×奥行 45×高さ 30(cm)利用料 1 ヶ月につき 400 円]60 個
日時	令和 4 年 4 月 1 日(金)～令和 5 年 3 月 31 日(金)
対象	札幌市市民活動サポートセンターに市民活動団体として登録していて、一定期間継続してロッカーの使用を予定している団体
利用団体数	延べ 103 団体 ①48 団体 ②55 団体

事業名	レターケースの提供
目的・内容	登録団体がレターケースを活用して書類の保管や会員相互の連絡を図ることにより、団体の活動が円滑に進められるよう支援することを目的に実施した。 ①市民活動サポートセンター内レターケース 291 個 ②消費者活動登録団体用メールボックス 12 個
日時	令和 4 年 4 月 1 日(金)～令和 5 年 3 月 31 日(金)
対象	札幌市市民活動サポートセンター登録団体
利用団体数	延べ 244 団体 ①239 団体 ②5 団体

事業名	運営協議会
目的・内容	施設運営や事業実施状況に関する協議および検討を外部委員よりいただき、施設運営に反映することを目的に実施した。 ①第 1 回 ・運営および施設利用状況について(令和 3 年度報告) ・令和 4 年度事業計画と次期指定管理について ②第 2 回 ・運営および施設利用状況について(令和 4 年度 1 月期までの報告) ・令和 5 年度事業計画と第 5 期指定管理について
日時	①令和 4 年 8 月 31 日(水)18:00～19:30 ②令和 5 年 2 月 15 日(水)18:00～19:30
対象	札幌市市民活動サポートセンター運営協議会委員 8 人
定員	なし
参加人数	延べ 16 人 ①8 人 ②8 人

(3)札幌市環境プラザ

【自己評価】

体験活動を自粛する動きが徐々に緩和されたことを背景として、施設見学やアドバイザー・リーダー派遣といった事業の利用件数が、コロナ禍前の数値に近づいてきている。

特に冬水田んぼをテーマに挙げた環境スペシャル講座や定例の「あそびバ！エコプラザ」などの体験型事業は市民からの人気も高く、コロナ禍で抑圧された体験活動の再開を望む市民のニーズを捉えた事業であったと言える。

次年度以降もこれまでのノウハウを活かし、オンラインを活用した事業を継続するとともに、普及啓発事業では、環境と市民の関心をつなぎ合わせた直接体験を重視した事業を実施することで、より広く、多くの市民に環境プラザの認知を広めていきたい。

また、SDGsをテーマとした見学ツアーの内容もさらなる充実を図り、市内外の中高生に向けた普及啓発活動を継続していきたい。

【事業概要一覧】

ア 環境情報の収集・提供業務

事業名	特集コーナーの更新
目的・内容	<p>環境に関する情報の提供をとおして、地球および地域の環境問題解決に向けた意識の啓発と行動を喚起した。また市民活動団体などに情報を提供してもらうことにより、専門知識を提供するとともに団体の活動支援とすることを目的に実施した。</p> <p>各テーマに沿った情報をパネルなどにまとめて掲示した。</p> <p>①「っぼい記念日あつめました@環境プラザ」 情報提供：一般市民社団法人 日本記念日協会</p> <p>②「あそびつくせ！さっぽろの自然」 情報提供：札幌市青少年山の家、札幌市滝野自然学園、札幌市定山溪自然の村、札幌市北方自然教育園、自然ウォッチングセンター、札幌市環境教育リーダー、札幌市環境保全アドバイザー</p> <p>③「没然の森」 情報提供：北大森林研究会、NPO 法人コアトル</p> <p>④「下水道パネル展」 情報提供：札幌市下水道河川局</p> <p>⑤「いきものの冬展」 情報提供：滝野すずらん丘陵公園、札幌市定山溪自然の村、一般社団法人 CISE、札幌市環境局</p> <p>⑥「知ってる！？ひかりがい」 情報提供：環境省、藤森和久氏(札幌市青少年科学館天文指導員)</p>
日時	令和4年4月3日(日)～令和5年3月31日(金)
対象	市民

事業名	情報収集・提供業務
目的・内容	<p>市民や事業者が環境保全・創造のための主体者として意識を高めること、環境に関わる活動団体の活動を推進し、情報受発信の源となることを目的に実施した。</p> <p>札幌市をはじめ、北海道や環境省で発行しているチラシ・冊子・リーフレットなどの資料を迅速に入手し、環境プラザにて配布した。また、自治体・市民活動団体などが企画した環境関連イベントについてのチラシ・ポスターを受け入れ次第環境プラザ内に配架した。</p>
日時	令和4年4月1日(金)～令和5年3月31日(金)
対象	市民

事業名	WEB コンテンツ拡充業務
目的・内容	<p>環境プラザを含めた環境に関わる団体の活動の情報や環境問題の普及啓発となる種々の情報をインターネット上で発信することで、一般市民に向けた環境保全・創造のための意識啓発や団体の活動の推進をより届きやすい形で実施することを目的として実施した。</p> <p>Facebook や Instagram を活用した事業広報や事業の様子を動画にまとめ、Youtube チャンネルで配信するなど、環境プラザの周知に関する取り組みを行った。</p>
日時	令和4年4月1日(金)～令和5年3月31日(金)
対象	市民

イ 環境保全活動、交流の支援と推進業務

事業名	札幌市環境教育リーダー派遣制度
目的・内容	<p>小学校の総合学習や学校教育の場、市民の学習の場などに学習支援や解説を行う人材の派遣を行い、市民などの自主的な環境保全活動を支援することを目的に</p> <p>植物、野鳥、昆虫、水生生物などの自然観察会や温暖化、ごみ、エコライフ分野の指導、解説者を派遣した。</p> <p>札幌市環境教育リーダー26人(札幌市より委嘱)</p>
日時	令和4年4月1日(金)～令和5年3月31日(金)
対象	市民
定員	設定なし
参加人数	延べ64件 1,463人

事業名	札幌市講師派遣制度全体会
目的・内容	<p>札幌市環境教育リーダー・環境保全アドバイザー間の情報、意見交換や交流を目的として実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 札幌市環境教育・環境学習基本方針についての説明 令和3年度派遣状況報告 令和4年度派遣状況中間報告 情報交換
日時	令和4年3月9日(木)18:30～20:00
対象	令和4年度札幌市環境保全アドバイザー委嘱者および令和4年度札幌市環境教育リーダー委嘱者
参加人数	14人〔内訳〕環境保全アドバイザー 4人(オンライン2人、会場2人) 環境教育リーダー 10人(オンライン5人、会場5人)

事業名	札幌市環境保全アドバイザー派遣制度
目的・内容	<p>環境保全活動に取り組む市民団体などに環境保全アドバイザーを派遣し、環境保全活動に取り組む市民などの意識を深めながら環境保全活動の促進を図ることを目的として実施した。</p> <p>○実施概要</p> <p>地球環境、自然保護、リサイクル、ゴミ問題などをテーマにした研修会、学習会に講師として派遣した。</p> <p>札幌市環境保全アドバイザー10人(札幌市より委嘱)</p>
日時	令和4年4月1日(金)～令和5年3月31日(金)
対象	市民
定員	設定なし
参加人数	延べ18件 479人

事業名	こどもエコクラブ札幌事務局機能
目的・内容	こどもエコクラブの登録手続きを行い、全国事務局からの情報提供および、活動の支援や登録の促進を図った。 ・全国事務局情報の配信 ・こどもエコクラブ団体登録
日時	令和4年4月1日(金)～令和5年3月31日(金)
対象	市民
登録団体数	16団体

事業名	こどもエコクラブ交流会
目的・内容	市内で活動しているこどもエコクラブのクラブ間の交流を図り、活動の拡充に繋げることを目的として実施した。 申込みのあったクラブを対象に、こどもエコクラブ札幌支部活動発表会、コープさっぽろエコセンターの見学を実施した。
日時	令和4年10月1日(土)14:00～16:00
対象	こどもエコクラブ登録者
参加団体数	3団体16人

事業名	貸室・備品の提供
目的・内容	市民の環境保全活動の促進を目的に環境研修室・ミーティングルームの提供を行った。
日時	令和4年4月1日(金)～令和5年3月31日(金)
対象	市民
利用件数	貸室件数 1,760件 〔内訳〕環境研修室1,285件 ミーティングルーム475件 備品の貸出件数0件

事業名	環境活動団体の支援・協力事業(1) 親子野あそびプログラム「ちびっこ遊び隊！」2022
目的・内容	幼児とその保護者を対象に、幼児の五感を育て心身のバランスの取れた成長を促すとともに、自然への愛着を持ってもらうことを目的に実施した。 0歳～4歳の親子を対象に、札幌市内の身近な公園の自然の中で、簡単にできる野あそびを実際に楽しみながら伝えた。各回で手あそびなどのアイスブレイク、草花あそび・雪あそびなどの季節ごとの野あそび、絵本の読み聞かせとまとめを実施した。 主催:自然ウォッチングセンター
日時	①4月21日(木) ②5月17日(火) ③6月7日(火) ④7月7日(木) ⑤7月12日(火) ⑥8月18日(木) ⑦9月6日(火) ⑧10月20日(木) ⑨11月1日(火) ⑩12月1日(木) ⑪1月24日(火) ⑫2月16日(木) ⑬3月2日(木)
対象	0～4歳児の親子
参加人数	延べ250人 ①14人 ②16人 ③27人 ④30人 ⑤17人 ⑥23人 ⑦11人 ⑧21人 ⑨30人 ⑩22人 ⑪10人 ⑫7人 ⑬13人 ⑭9人

事業名	環境活動団体の支援・協力事業(2) 「2022年度北海道野鳥愛護会・野鳥写真展」
目的・内容	道内で撮影された野鳥写真を展示して皆様楽しんでいただくとともに、北海道の動植物の豊かさを実感し自然環境保全の精神を涵養していただくことを目的に実施した。 北海道野鳥愛護会の会員から募集した野鳥写真を会の紹介とともに展示パネルに掲示した。また、会誌「野鳥だより」の冊子を配布した。 主催：北海道野鳥愛護会
日時	令和4年5月10日(火)～令和4年5月23日(月)
対象	市民

事業名	環境活動団体の支援・協力事業(3) 「食品ロス削減講座」
目的・内容	本来食べられるはずなのに捨てられてしまっている手つかず食品や食べ残しなど、いわゆる食品ロス削減のために、家庭から出る食品ロスに加え、企業やNPO法人の取組にも目を向け、「循環型社会」への意識を高めることを目的に実施した。 ①「“いつも”のついでにローリングストック」 ローリングストックの管理術やレトルト食品のアレンジ術を学んだ。 ②「畑の“ふぞろい”を楽しもう～背景を知ると買い物が変わる～」 畑を見学し規格外の食品が生まれる背景、現状やそれを活かす事業者の取り組みを学んだ。 ③「つくる責任つかう責任そして減らす責任～こんな取組で食品ロス削減」 企業が行う食品ロス削減の取組を紹介した。併せて容器包装改善による食品ロス削減の取組事例を展示した。 主催：公益社団法人札幌消費者協会
日時	①令和4年10月5日(水)13:30～15:30 ②令和4年10月12日(水)13:30～15:30 ③令和4年10月14日(金)13:30～15:30
対象	市民
定員	各回20人
参加人数	延べ58人 ①19人 ②20人 ③19人

事業名	環境活動団体の支援・協力事業(4) 「札幌ワイルドサーモンプロジェクト市民フォーラム 2023 ～アラスカにも、札幌にもサケは生きる～」
目的・内容	札幌市内の川に遡上し、自然産卵した後、ふ化・稚魚となり海に降る野生のサケのことや札幌ワイルドサーモンプロジェクトの活動を広く市民に知ってもらうこと、野生サケの復元に向けた議論を行う事を目的に実施した。 ①基調講演 Pete Rand 氏(Prince William Sound Science Center) 「The biology and status of wild salmon in the North Pacific」 北太平洋地域における野生サケ・マスの生物学と現状 ②SWSP 活動報告 豊平川や琴似発寒川のサケ・サクラマスの遡上状況および創成川、山鼻川で産卵した卵の生存状況について ③学生発表 札幌工業高校、札幌清田高校 ④SWSP 活動に対する寄付や企業の活動協力について ⑤みんなでサケさがそ、フォトコンテストの紹介・表彰 主催:札幌ワイルドサーモンプロジェクト
日時	令和5年1月28日(土)13:00～16:00
対象	市民
定員	60人
参加人数	延べ112人 会場:40人 オンライン:72人

事業名	環境活動団体の支援・協力事業(5) 一般公開シンポジウム「野生生物モニタリングの現在・未来」
目的・内容	自然豊かな北海道で野生生物のモニタリングを実践している研究者にその現状について紹介いただき、今後の生態系観測技術として期待される環境 DNA に焦点を当て、日本の豊かな自然を未来につなぐために私たちに今出来ることについて考えるためのシンポジウムを開催した。 主催:「野生生物モニタリングの現在・未来」シンポジウム実行委員会
日時	令和4年11月20日(日)14:00～17:00
対象	市民
定員	各回40人
参加人数	延べ57人 ①18人 ②24人 ③15人

事業名	環境活動団体の支援・協力事業(6) 令和4年度 連続時事講座 気候変動と私たちの暮らし
目的・内容	SDGsの広義の意味での環境にスポットをあて、気候変動が私たちの暮らしにどのように影響しているのかを考えることを目的に、気候変動の現状やそれに伴う農業や水産物に与える影響、気候変動を抑制する家庭でできる取り組みについて学ぶ機会を提供した。 主催:公益財団法人 札幌消費者協会
日時	①令和4年11月2日(水)10:00～12:00 ②令和4年11月10日(木)10:00～12:00 ③令和4年11月24日(木)10:00～12:00
対象	市民
参加人数	延べ88人 ①42人 ②25人 ③21人

事業名	環境活動団体の支援・協力事業(7) 第2回子どもごみ減量講座 「魔法の布ふろしきで2R～お気に入りの一枚を作って使おう～
目的・内容	小学生を対象とした体験型講座を通して、ごみ減量や2Rについて子どものうちから 興味や関心を高めることを目的に実施した。 ①便利でエコなふろしきの使い方 ②わかるかな？2R クイズ ③ワークショップ「お気に入りのふろしきを作ろう」 ④ふろしきの結び方をマスターしよう！ 主催:公益社団法人札幌消費者協会
日時	令和5年3月5日(日)10:30～12:30
対象	小学生とその保護者
定員	20組
参加人数	20組 39人

事業名	環境活動団体の支援・協力事業(8) 冬休みの自由研究の準備に！ 作って学んで自然エネルギーを身近に感じよう in 札幌
目的・内容	自然エネルギーを身近に感じ、理解につなげることを目的に実施した。 ①自然エネルギー・市民風車についての学習 ②環境プラザスタッフによる環境プラザ施設(メッセージスタジオ・ハウススタジオ・発電体験)を活用した地球温暖化、エネルギーに関する説明および体験、および、エコ間違い探しアクティビティの実施 ③ペットボトルオリジナルミニ風車作り ④振り返り、写真撮影を実施した。 主催:NPO法人北海道グリーンファンド
日時	令和4年12月3日(土)9:30～11:30
対象	小学1～4年生とその保護者
定員	20組 40人
参加人数	17組 36人

事業名	コーディネート業務 「学生団体『北海道 CARP』への活動支援業務」
目的・内容	<p>大学生と連携し、大学生が環境保全の活動をする機会、利用者をつなげる機会を作ることを目的に実施した。大学生とともに事業計画を進め、小学生に向けて環境問題を中心としたSDGsの考え方の普及啓発を行い、環境保全の意識を持つ重要性を伝えることや、SDGsや環境保全の取り組みについて検討議論する場(一緒に考えること)をとおして、小学生と大学生、大人の世代間交流を図ることを目的に、実施した。</p> <p>①「遊んで学ぼう！食品ロス～食べ残しってあり？なし？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイスブレイク ・「食品ロス ZERO マスター」(カードゲーム)の実践 ・2、3回目への導入 <p>②「〇〇で手作り石鹸?!～こんなものも再利用できちゃうぞ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイスブレイク ・廃油で石鹸づくり ・企業へのインタビューの土台づくり <p>③「STOP！食品ロス～現場の声を知ろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇×クイズ ・廃油の活用に取り組む企業へのインタビュー ・石鹸ケースづくり ・まとめ <p>共催:学生団体北海道 Carp</p>
日時	<p>①:令和4年5月14日(土)13:00～14:30</p> <p>②:令和4年6月4日(土)13:00～14:30</p> <p>③:令和4年6月25日(土)13:00～14:30</p>
対象	小学4～6年生
参加人数	延べ11人 ①3人 ②4人 ③4人

事業名	環境中間支援会議北海道との連携事業
目的・内容	<p>ネットワークに加わり市内・道内の環境関連施設との連携を図り、情報共有や連携事業を継続的にを行うことを目的に実施した。</p> <p><環境中間支援会議北海道></p> <p>① 生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書面会議1回 4月28日(木)～5月11日(水)実施 ・事業「いきものつながりオンラインクイズラリー2022」実施 <p>実施期間:7月26日(火)～8月21日(日)</p> <p>② CISE(Community for Intermediation of Science Education)ネットワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン会議2回 6月29日(水)、11月17日(木)実施 ・事業「CISEサイエンス・フェスティバル」1月28日(土)、29日(日) <p>③札幌市の環境関連施設連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の活動は特になし
日時	令和4年4月1日(金)～令和5年3月31日(金)
参加団体	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人北海道市民環境ネットワーク ・札幌市環境局環境都市推進部環境政策課 ・公益財団法人北海道環境財団 ・北海道環境生活部環境保全局環境政策課 ・環境省北海道環境パートナーシップオフィス ・環境省北海道地方環境事務所 環境対策課

ウ 環境教育・学習の推進業務

事業名	小・中・高への学習対応業務 講師派遣・見学の実施
目的・内容	環境教育を広げることがを目的に、小学校の総合学習などで活用できる学習プログラムを提供や施設見学の受け入れ、講師派遣を実施した。
日時	令和4年4月1日(金)～令和5年3月31日(金)
対象	小学校、中学校、高校などの教育機関
参加人数	延べ51件 ①講師派遣28件、②施設見学23件

事業名	施設見学対応業務
目的・内容	展示物の解説およびワークショップにより、環境問題に関心を持ち、自分たちの暮らしを見直すきっかけをつくることを目的に実施した。 環境プラザ内の展示物を使った解説や、アクティビティなどの体験プログラム見直し、データを更新し、伝わりやすい手法について検討を重ねた。
日時	令和4年4月1日(金)～令和5年3月31日(金)
対象	市民(教育機関、児童会館、大学、市民団体など)
参加人数	延べ44件、880人

事業名	環境教育教材の貸出業務
目的・内容	環境教育教材の貸出をとおして、学校教育および市民活動などでの環境保全・環境教育の推進を図ることを目的に実施した。
日時	令和4年4月1日(金)～令和5年3月31日(金)
対象	市民
貸出件数	81件

事業名	指導者向け研修 「職員が体験！環境教育プログラム！」
目的・内容	児童会館を利用する多くの人と関わる児童会館職員を対象とし、環境に関する研修の場を設けることで、環境保全の視点を普段の活動や事業に取り入れる機会や、参加者やスタッフのつながりを作り、今後の環境教育をさらに充実させる機会とすることなどを目的に、環境プラザの見学ツアーの体験会、児童会館での環境プラザの活用方法の紹介を行った。
日時	①令和4年10月25日(火)10:00～12:00 ②令和4年10月26日(水)10:00～12:00
対象	西エリア各会館から1人
定員	なし
参加人数	延べ101人 ①47人 ②54人

エ 普及啓発企画業務

事業名	アウトリーチ事業(1) 「環境プラザがやってきた in 環境広場さっぽろ 2022」
目的・内容	身近にできるエコの取り組みとといったエコについての知識を伝え、日常生活をふりかえる機会とするとともに環境プラザの取り組みを広く周知することを目的に、環境プラザの取り組み紹介やECO まちがいさがしの提供を行った。 主催:札幌市
日時	令和4年7月30日(土)10:00~31日(金)16:00
対象	市民
参加者数	延べ522人 ①239人 ②283人

事業名	アウトリーチ事業(2) 「環境プラザがやってきた in 第16回環境科学展」
目的・内容	日常の中で環境問題を意識するきっかけを提供し、環境プラザの取り組みを広く周知することを目的に環境プラザの取り組みや施設紹介を漫画形式でまとめたパネルを展示し、パンフレットを配架した。 主催:札幌市青少年科学館
日時	令和4年8月1日(月)~令和4年8月21日(日)
対象	市民
参加者数	集計なし

事業名	アウトリーチ事業(3) 「環境プラザがやってきた inCISEサイエンス・フェスティバル」
目的・内容	生き物に興味を持つきっかけを提供し生物多様性の大切さについて伝え、環境プラザの取り組みを広く周知することを目的に、生き物の目に注目して生態を探るアクティビティ「北海道に棲む生き物を知ろう！」実施した他、施設紹介のパンフレットを配布した。 主催:一般社団法人ちせ 共催:CISEネットワーク
日時	①令和5年1月28日(土)12:00~18:00 ②令和5年1月29日(日)10:00~15:00
対象	市民
参加者数	延べ314人 ①159人 ②155人

事業名	普及啓発事業(1) 「環境プラザ主催こどもエコクラブ「さっぽろあそエコ団」」
目的・内容	<p>子どもたちに札幌にある自然の中で体験学習の場や自らが考える機会を提供し、環境保全の意識を持つきっかけとすることや、経験をアウトプットする機会を設け子どもたちの学びを形にすることで、保護者や市民の方々にも環境への興味関心を持ってもらうとともに、こどもエコクラブを周知する機会を目的として実施した。</p> <p>①オリエンテーション動画を作成し、参加者に配信した。 ②琴似発寒川で、川の環境についての解説や生き物の捕獲と観察を行った。 ③「NPO 法人 カラカネイトトンボを守る会」の行事「昆虫採集教室」に参加しトンボの捕獲と観察を行った。 ④活動のまとめ、アクティビティ「葉っぱ図鑑をつくろう！」を実施した。 ⑤円山で、植物や動物を観察し、外来種について学んだ。 講師「坂東英雄さん、石田哲也さん(札幌市環境教育リーダー)」 ⑥活動のまとめと発表会の準備、アクティビティ「サケ迷路」を実施した。 ⑦札幌市豊平川さけ科学館でサケの観察と人工授精を体験した。 ⑧参加者の保護者を対象に、これまでの活動を発表した。 ⑨3、4、5年生のメンバーが「さっぽろこども環境コンテスト(主催:札幌市)」に出場し、活動を発表した。</p>
日時	①令和4年6月25日(土) オリエンテーション動画配信開始 ②7月16日(土)13:00~16:00 ③7月31日(日)9:00~15:00 ④8月20日(土)13:00~16:00 ⑤9月17日(土)13:00~16:00 ⑥10月15日(土)13:00~16:00 ⑦11月19日(土)10:00~12:00 ⑧11月26日(土)13:00~16:00 ⑨12月10日(土)13:30~16:00
対象	①②④⑤⑥⑨小学生 ③⑦⑧小学生とその保護者
定員	20人
参加人数	延べ244人 ①18人 ②17人 ③27人 ④13人 ⑤17人 ⑥113人 ⑦16人 ⑧14人 ⑨9人

事業名	普及啓発事業(2) 「森のようちえん」
目的・内容	<p>幼児期から自然に触れ、自然の面白さや大切さに気づききっかけとすることと、都市型の自然と定山溪の自然豊かなフィールドの双方を活用し、日常でも行楽などの非日常のタイミングでも自然に触れる機会を増やし、さまざまな形で楽しみながら環境への気づき、自然への理解を促す機会とすること、また、今まで培った事業ノウハウを組み合わせ、財団が持つ複数のフィールドやプログラムを活かした事業展開を行うことを目的に実施した。</p> <p>①日帰り編・秋 森探検をしながら植物を使った遊びや昆虫観察を行い、集めた植物を使って工作を行った。</p> <p>②宿泊編・秋 森の中に棲むクマになりきるプログラムや拾った葉っぱで布染め体験を行った。</p> <p>③宿泊編・冬 森の中を散策しながらかくれんぼを行い、雪の上での宝探し、型抜き、かまくら作りを行った。</p> <p>④日帰り編・冬 雪の上に残った動物の足跡探しや雪の坂を使ったそり滑り、雪だるま作りをして遊んだ。</p> <p>共催:札幌市定山溪自然の村</p>
日時	<p>①令和4年10月16日(日)10:00~12:00</p> <p>②令和4年11月6日(日)13:00~7日(月)11:00<宿泊></p> <p>③令和5年1月22日(日)13:00~23日(月)11:00<宿泊></p> <p>④令和5年2月12日(日)10:00~12:00</p>
対象	未就学児とその保護者
定員	<p>①・④:8組(1組5人以内)</p> <p>②・③:5組(1組5人以内)</p>
参加人数	<p>延べ25組88人</p> <p>①7組25人(88%)②5組17人(100%)③5組19人(100%)④8組27人(100%)</p>

事業名	普及啓発事業(3) 「札幌市立真駒内中学校職場体験学習」
目的・内容	<p>職場体験をとおして環境プラザの取り組みや概要、環境問題の現状などを伝えることで、環境保全の意識を持たせることを目的に実施した。</p> <p>施設の見学、環境プラザの取り組み紹介、日常業務の体験などを実施した。</p>
日時	令和4年8月30日(火) 8:45~15:00
対象	札幌市立真駒内中学校2年生(通常学級・特別支援学級)の希望者
定員	なし
参加人数	5人

事業名	普及啓発事業(4) 子ども向け事業「冬のいきものを探せ!~HOPPO フレンズコレクション」
目的・内容	<p>環境に関する意識向上が年齢を問わずに求められるなか、自然にかかわるアクティビティや自然観察をとおして自然に触れる機会を提供することで、楽しみながら環境への気づきや理解を促す機会とこと、北方自然教育園と環境プラザがお互いの事業ノウハウを組み合わせ財団が保有する施設の強みを生かした事業展開を行うことを目的に実施した。</p> <p>北方自然教育園をフィールドに、札幌に棲息する生き物の特徴を知る「いきものを探せ!」やスノーシューを使った自然観察、いきものトレーディングカードづくりを行った。</p>
日時	令和5年2月19日(日)11:00~15:30
対象	小学生とその保護者
定員	24人
参加人数	6人

事業名	普及啓発事業(5) 「楽しくはじめるプラスチックダイエット」
目的・内容	<p>普段の生活を環境問題の視点で見つめなおし、環境負荷の少ない選択肢を取り入れるきっかけを提供することを目的に実施した。</p> <p>①講話</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カナダ・ユーコン原野で感じた「環境を守る」ということ ・プラスチックを中心とした環境問題の現状 ・生活の中で取り組めるプラスチックダイエット <p>②エコな生活を手助けしてくれる製品の紹介、体験会</p> <p>③質疑応答</p> <p>講師:新谷 暢敏さん(ノンプラスチック専門エコストア・プラナシスタ店主)</p>
日時	令和5年3月11日(土)14:00~15:30
対象	市民
定員	30人
参加人数	13人

事業名	普及啓発事業(6) 「夜の光と私たちの暮らし」
目的・内容	<p>光害について普及啓発を行い、市民が自身の生活や周囲の生活環境を環境の視点から振り返るきっかけを提供することを目的に実施した。</p> <p>①講話</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇宙旅行の疑似体験！天体について知ろう ・光害について～天体、生態系、環境への影響 ・私たちにできること「光の上手な使い方」 ・スマホでできる星景写真の撮り方ワンポイント講座 <p>②質疑応答(自由参加)</p> <p>講師:藤森 和久さん(札幌市青少年科学館天文指導員)</p>
日時	令和5年3月12日(日)18:00~20:00
対象	市民
定員	30人
参加人数	15人

事業名	展示コーナー等の活用「あそびバ！エコプラザ」
目的・内容	<p>NPO・企業・学生・市民団体などがプログラムを実施する機会を設けることで、団体の環境活動を支援すること、参加者に環境保全に関する多様なプログラムを提供し、環境問題解決に向けた意識の啓発と行動を喚起することを目的に実施した。</p> <p><出展団体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・札幌市環境プラザ ・(公財)札幌消費者協会 環境研究会 ・特定非営利活動法人 コアトル ・北海道紙芝居研究会 かぜるん ・だがしやプロジェクト ・ビーズアクセサリーきら ・workstation Y' s ・花王グループカスタマーマーケティング株式会社 ・北大森林研究会 ・ネンデイ柴田 ・(株) ジーエス・ユアサバッテリー北海道支店 ・北海道森林管理局 ・ガールスカウト北海道第17団
日時	令和4年4月9日、5月14日、6月11日、7月9日、8月13日、9月10日、10月8日、11月12日、12月10日、令和5年1月14日、2月11日、3月11日 いずれも毎月第二土曜日 11:00～16:00
対象	小学生
定員	設定なし
参加人数	延べ424人

オ その他の業務

事業名	相談業務
目的・内容	<p>環境保全に関する多岐・多種にわたる問題に対し専門の相談員が応えるとともに、講座などの実施をとおして環境保全活動の啓発・促進を図ることを目的に面談および電話、メールによる環境相談を行った。</p> <p>相談員:環境活動コンソーシアムえこらぼ</p>
日時	令和4年4月1日(金)～令和5年3月31日(金) 相談員の相談(祝日を除く毎月第2,4木曜日)13:00～16:00
対象	市民
定員	設定なし
相談件数	56件 ①職員対応41件 ②相談員対応15件

事業名	環境相談スペシャル講座 「うちの廃油がエネルギー！？～未来のエネルギーはトリのから揚げから！？可能性を導く BDF とは～」
目的・内容	<p>家庭や店舗で調理後に発生する“廃油”をリサイクルして生産される「BDF（バイオディーゼル燃料）」の仕組みと札幌市内での実践事例の取り組みを、環境プラザに「廃食油回収 BOX」が導入される機会に合わせて周知し、市民の廃食油リサイクルの意識を醸成することを目的に実施した。</p> <p>①株式会社オイル・リサイクル代表取締役(北海道油脂組合専務理事/全国油脂事業協同組合連合会理事) 前田慎一氏の講話</p> <ul style="list-style-type: none"> ・BDF(バイオディーゼル燃料)とはなにか ・札幌市における BDF 発電取り組みの仕組みについて ・札幌市および全国の BDF 発電の実践事例と課題について ・市民が参加する方法 ・今後の BDF の展開について <p>②質疑や意見・情報交換</p> <p>企画運営:環境コンソーシアムえこらぼ 共催:公益社団法人札幌消費者協会 協力:NPO 法人北海道グリーンファンド</p>
日時	令和5年2月4日(土)13:30~14:30
対象	市民
定員	会場:20人、オンライン20人
参加人数	延べ9人 会場4人、オンライン5人

事業名	寄附受理に関する手続き
目的・内容	物品などの寄付の申し出状況について、札幌市担当部局へ連絡、的確な事務処理を行う。令和3年度の申請はなかった。

カ 札幌市環境プラザ運営協議会運営業務

事業名	札幌市環境プラザ運営協議会
目的・内容	<p>札幌市環境プラザの運営および事業を効果的・効率的に行い、広く市民の意見を反映させることを目的に実施した。</p> <p>①第1回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業報告 ・令和4年度事業計画 <p>②第2回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度事業中間報告 ・令和5年度事業計画 ・意見交換
日時	①令和4年7月21日(木)18:30~20:00 ②令和5年2月17日(金)18:30~20:00
対象	運営協議会委員
参加人数	延べ15人 ①8人 ②7人

(4) 情報センター

【自己評価】

図書貸出や展示に関して、テーマ月間の設定など時流に合わせた図書展示を行い、親しみやすい図書を展示し、市民が図書にかかわる機会を増やした。また、レファレンスでは、子ども向け図書について絵本と児童書に分け学齢期に合わせて並べるなど図書検索のしやすさ、手に取りやすさを工夫し、図書貸出数を増加することができたことも評価したい。

事業については、時勢を反映し、戦争や災害など人間の不測の事態に対して、テーマ設定を行い広く一般市民に関心を持ってもらうことに努め、共催・協力事業として4施設の強みを生かした事業を行うことができた。また、対面式の事業を増やしたことでイベント終了後には参加者間で交流する場面も見られたことから、対面で事業を行う価値を再確認できたことを評価したい。

今年度は、情報センター主催のすべての事業で所蔵している図書の紹介をし、蔵書とかかわりを持たせる事業展開を行った。アンケート結果からは、情報センターという施設の理解が見られ、情報センターの認知度向上を図ることができたと推測できる。

次年度以降も、すべての事業に図書視聴覚資料を関連付けた事業展開を実施し、4分野への意識啓発を図るとともに4分野の情報発信を継続していきたい。

ア 情報収集・提供の取り組み

事業名	図書等貸出・整理・管理業務
目的・内容	市民への蔵書の貸出を行った。また、月1回の図書整理日に蔵書状況の把握や督促、新着資料等の整理を行った。
日時	令和4年4月1日(金)～令和5年3月31日(金)
対象	一般市民
受講料	無料
定員	なし
参加人数	なし

事業名	情報コンシェルジュ業務／情報交流の取組・視聴覚資料活用事業 「令和の令和による令和だからこそ『ダイアログ』」
目的・内容	SDGsへの認知度が一般的に低い現状から専門的なファシリテーション資格を持つ講師を招いて、『ローカルダイアログ』というカードゲームを使ったワークショップを展開し、コロナ禍により失われた「対面で話す機会」と「SDGsを学ぶ機会」を提供して、SDGsの理解・関心を深めると同時に、思いや考えを吐き出す場を作ることを目的に実施した。 講師：高橋 優介さん（ワークショップデザイン describe with 代表）
日時	令和4年8月21日(日)14:00～16:00
対象	一般市民
受講料	1,000円
定員	20人
参加人数	6人

事業名	情報コンシェルジュ業務 「『一万円選書』のいわた書店店主岩田徹さんに聞く～これからの時代を生き抜いていくための本のチカラ～戦争といじめに僕らは本で立ち向かう」
目的・内容	本を幅広い世代の読者届ける新しい形態を確立した講師に、14,000件の選書を通して見えてきた現代の課題をお話いただき「本そのものの良さ」を知ること、情報センターの利用促進を目的に実施した。 講師：岩田徹さん（(有)いわた書店代表取締役）
日時	令和5年3月5日(日)14:00～16:00
対象	一般市民
受講料	500円
定員	20人
参加人数	28人

イ 情報交流の取り組み

事業名	視聴覚資料活用事業／男女共同参画センター共同事業 「エルプラ・シネマ」
目的・内容	情報センターで収集している男女共同参画社会、市民活動、消費生活、環境保全に関する映像資料などの情報発信を行い 4 分野に関する興味関心を高め、利用率向上や蔵書する各分野の資料を活用することを目的に実施した。 【放映作品】 ①6月：男女分野『マダム・イン・ニューヨーク』 (2012年、134分、ガウリ・シンデー監督) ②8月：男女分野『森の中の淑女たち』 (1990年、101分、シンシア・スコット監督) ③、④10月：男女分野『そして父になる』 (2013年、121分、是枝裕和監督) ⑤12月：環境分野『ウルルの森の物語』※環境プラザと連携して実施 (2009年、119分、長沼誠監督) ⑥2月：消費分野『続・深夜食堂』※消費者センターと連携して実施 (2016年、108分、松岡錠司監督)
日時	① 令和4年 6月 21日(火)10:30~12:30、14:00~16:30 ② 令和4年 8月 23日(火)10:00~12:00、14:00~16:00 ③ 令和4年 10月 17日(月)18:00~20:20 ④ 令和4年 10月 18日(火)10:00~12:20、14:00~16:20 ⑤ 令和4年 12月 13日(火)10:00~12:20、14:00~16:20 ⑥ 令和5年 3月 3日(金)14:00~16:15、17:30~19:45
対象	札幌および近郊に居住する一般市民
受講料	無料
定員	各回 20人
参加人数	①延べ：35人 ②延べ：35人 ③延べ：12人 ④延べ：34人 ⑤延べ：29人 ⑥延べ：41人

ウ 情報発信・活用事業の取り組み

事業名	図書紹介事業 「SDGs 啓発展示」
目的・内容	来館者に札幌エルプラザ情報公共4施設の専門4分野（男女参画、市民活動、消費生活、環境保全）および SDGs に対する興味関心を高めるきっかけを提供することを目的に実施した。（展示回数：全 29 回）
日時	令和4年 4月 1日(金)～令和5年 3月 31日(金)
対象	一般市民
受講料	無料
定員	なし
参加人数	展示期間内の貸出冊数 153 冊、貸出回数延べ 171 回

エ 情報発信支援の取り組み

事業名	情報スペースの活用 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、利用中止。
目的・内容	市民活動団体やサークル団体、企業が活動の成果発表などを実施することで活動の推進力をつける足掛かりにすること、イベント参加者に 4 分野や SDGs に関する新たな視点や気づきを得る機会を提供することを目的としたが、中止。
日時	令和4年 4月 1日(金)～令和5年 3月 31日(金)
対象	市民活動サポートセンターの登録団体、男女共同参画センターの有料貸室の登録団体
受講料	無料
定員	なし
参加人数	なし

(5) 共通事業

【自己評価】

コロナ禍前までは、市民や市民活動団体、施設近隣の企業等と一体となって取り組んできた事業であったが、社会情勢を鑑み、令和3年度に引き続き規模を縮小して実施した。これまで関係を築いてきた団体や企業などと、直接的に関わり合いながら事業を進めることはできなかったが、事業内では水やりに参加してくれた方たちとの対話が生まれるなど、人とのつながりを維持できたことは評価できる。

次年度以降は、活動機会の創出および活動の意義を伝える機会をとおして、市民活動へのさらなる理解と参加促進を図る事業展開を検討していきたい。

【事業概要】

事業名	「エルプラ ECO プロジェクト」
目的・内容	エルプラザ公共4施設内における環境保全活動を推進することを目的に、調査、啓発、実践などの取り組みを行いながら、利用者および職員の環境保全に対する意識醸成を図った。 ①節電啓発掲示 ②エコ情報の発信（館内掲示、環境プラザ SNS 他） ③施設内での環境研修 ④ウォーターサーバーの設置（札幌市水道局からの依頼）
日時	令和4年4月1日(金)～令和5年3月31日(金)
対象	施設利用者
定員	設定なし
参加人数	集計なし

事業名	「北8条通アマとホップのフラワーロード」
目的・内容	エルプラザ公共4施設、地域・企業・行政などが協働で地域の企画に参加することで、連携と公共4施設の広報を目的に実施した。 新型コロナウイルス感染症拡大前は北8条通沿いに位置する企業（団体）・北区地域振興課・北区土木部・鉄西まちづくりセンター等との協働で進めてきた植栽は、本年は主催者が行い、維持管理・刈入れを施設職員が担い実施した。 ①植栽後の花壇の維持管理（水やり、雑草除去等） ②刈り入れ作業
日時	令和4年6月3日(金)～10月31日(月)
対象	札幌市民
定員	設定なし
参加人数	集計なし

3 情報センター利用状況・図書等管理状況

【自己評価】

令和4年度は、利用人数が95,484人（前年度37,068人）で約257.6%増加し、図書の貸出数は6,625点（前年度3,105点）で約213.4%増加となった。また、一日あたりの数値についても、利用人数は約282人（前年度171人）、貸出数は約20点（前年度14点）と増加した。

これは、4分野やSDGsの17のゴール、季節や時流に合わせたテーマで図書展示を行い、利用者が実際に本を手取る機会を増やしたこと、子ども向け図書を絵本と児童書に分け学齢期に合わせて並べたこと、話題の本や著名人の本を設置したことなど、利用者の図書への関心を高め、本の探しさや、借りやすさを向上することができた実績だと評価できる。

また、図書の除籍・特別蔵書点検を行い、不明本の数を把握するなど、所蔵データの正確性向上を図るとともに、4分野ごとに番号順に並び替えるなどの作業も定期的に行うことで、利用者が書籍検索をした際に見やすい本棚となるよう工夫した。

今後も利用者にとっての利便性を追求しながら、図書や展示をきっかけとした4分野への興味関心を引き出すため、効果的な環境づくりと情報発信を行っていきたい。

(1) 図書等管理状況

	前年度までの所蔵状況	令和4年度新規所蔵状況	令和4年度廃棄状況(再掲)	令和4年度登録内容更正状況	令和4年度末所蔵状況	令和4年度修繕状況
男女共同参画センター	28,900	337	3,043	0	26,236	0
消費者センター	5,795	105	47	0	5,853	0
市民活動サポートセンター	4,430	216	25	0	4,621	0
環境プラザ	9,008	186	61	0	9,137	0

(2)利用状況

I 来館者および登録者数

(人)

区分	項目	
1	来館者数	95,484
2	新規登録者数	449

II 図書・視聴覚資料等貸出数

区分	項目		
1	図書・視聴覚資料貸出数(冊)		6,625
	男女共同参画センター	3,677	
	消費者センター	1,051	
	市民活動サポートセンター	451	
	環境プラザ	1,446	
合計			6,625
2	AVブース利用数(人)	74	382
3	PC(インターネット)利用数(人)	0	
4	利用者端末(図書検索)利用数(人)	308	

III リクエスト数

(冊)

区分	項目		
1	男女共同参画センター	6	12
2	消費者センター	1	
3	市民活動サポートセンター	4	
4	環境プラザ	1	
合計			12

IV レファレンス等職員対応分

(人)

区分	項目	
1	レファレンス	991
2	一般問合せ等対応	405
合計		1,396

V 視察・見学

(人)

区分	項目	
1	視察・見学者数	1

4 利用者からの意見概要

【自己評価】

利用者からの意見把握については1階エントランスに「ご意見箱」を設置（回答を1階エントランスに掲示）、有料貸室の鍵ボードに「利用票」をはさみ、利用者からご意見・ご要望を記入していただくことで、適宜対応している。

令和4年度は、ご意見箱に10件の投書をいただいた。駐車場や施設に関することなど様々なご意見をいただいたが、昨年度に引き続き、フリーWi-Fi等のネット環境を求めのご意見が多く寄せられた。現時点では貸出用Wi-Fiにて対応しているが、今後は、より時代に沿った導入を検討していく必要があると考えられる。

利用票からいただいた改善を求めのご意見については、指摘箇所の清掃や補修を行うなど都度対応した。

また、警備・案内業務や清掃業務を行う委託業者とも日常的に意見・要望を共有したうえで利用者対応を行うことで、円滑に運営することができた。

今後とも利用者の声を真摯に受け止め、適時対応することで、利用者の満足度向上に努めていく。

(1) ご意見箱から

	回収日	ご意見	コメント
1	4月21日	自転車置き場をもっと広くしてほしい。エルプラザを利用するのに置けない時があったり、詰めすぎて足にケガをしたり。警備員が居なくなっても公共のために少しは広げてほしい。	いつも札幌エルプラザ公共4施設をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。 札幌エルプラザの駐輪場は札幌市や公共施設が管理・運営するものではありませんが、当施設にご来館の方も多く利用されていることと存じますので、いただいたお声を当施設からも駐輪場の管理会社へ共有いたします。 この度は貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございます。 引き続き、お気づきの点などございましたらご意見、ご要望をお寄せください。 どうぞよろしく願いいたします。
2	5月25日	部屋の椅子・机の出し入れをお願いします。	いつも札幌エルプラザ公共4施設をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。 椅子や机などお部屋に備え付けの備品については、ご利用される団体様ごとに使用方法が異なりますので、ご準備と次にご利用される団体様のための現状復帰までを皆様をお願いしております。 今後皆様が片づけやすい方法を考え、ご利用しやすい施設になるよう、引き続きお気づきの点などございましたらご意見、ご要望をお寄せください。 どうぞよろしく願いいたします。
3	7月5日	マンホールカードは総合案内でもらえるとうれしいです。	いつも札幌エルプラザ公共4施設をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。 マンホールカードは、日本のマンホール蓋を皆様に楽しく伝えるとともに、下水道への理解・関心を深めていただくためのコミュニケーションツールとして発行されています。環境プラザで配布されることでご来館いただいた方が、環境問題全般に関心を持っていただくために環境プラザが札幌市下水道河川局より配布施設に指定されて配布しております。 環境プラザでは様々な展示やイベントを行っておりますのでこの機会にぜひ環境プラザに足を運んでいただけますと幸いです。今後もご利用しやすい施設になるよう、引き続きお気づきの点などございましたらご意見、ご要望をお寄せください。 どうぞよろしく願いいたします。

	回収日	ご意見	コメント
4	7月16日	施設全体にWiFiを通してほしい 持参PC、タブレットなど使用時にかなり不便	いつも札幌エルプラザ公共4施設をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。 今回は貴重なご意見いただきましてありがとうございます。 wifi環境につきましては、2F市民活動サポートセンターに市民活動団体のみなさんにご利用いただける無料のwifi環境があるほか、有料貸室ご利用の際は、有料になりますが貸出用ポケットwifiの用意もご ざいます。ご活用いただければ幸いです。 引き続き、お気づきの点などございましたらご意見、ご要望をお寄せ ください。 どうぞよろしくお願いたします。
5	9月8日	1階西側出入り口とエスカレー ター乗り口の間を通過して、下り の階段を利用しています。真ん 中を通るようにしているのです が、出入口の自動ドアかエスカ レーターどちらかのセンサー にひっかかって、どちらかが作 動してしまいます。細かいよう ですが、電気のムダ使いじゃな いかと申し訳ない気持ちになり ます。センサーの調整は可能で しょうか？	いつも施設をご利用いただきありがとうございます。この度は、貴重 なご意見をいただき、誠にありがとうございます。 いただきましたご意見につきましては、エルプラザ共用部のエスカ レーター等の管理や調整を担当する管理組合にお伝えいたします。当 館では、照明の間引き、エコシルフィー（天井ファンによる冷暖房環 境工場のための省エネルギーシステム）の設置、クールビズ・ウォー ムビズなどを実施しており、これからも引き続き節電に努めてまいり ます。 引き続きお気づきの点などございましたらご意見、ご要望をお寄せく ださい。
6	9月24日	情報センターの「原発について 考える」展示が反原発にかた よっている。賛成・反対両方の 意見を踏まえて考えることが出 来るようにすべき。 特に子供向けは大人の思想を押 し付けることの無いよう公平な 視点に配慮すべき。	いつも施設をご利用いただきありがとうございます。この度は、貴重 なご意見をいただき、誠にありがとうございます。 いただいたご意見を踏まえ、今後図書展示を実施する際は、様々な視 点を取り入れた展開を検討してまいります。 引き続きお気づきの点などございましたら、ご意見・ご要望をお寄せ ください。
7	12月18日	老人が多いのに机と椅子が重す ぎ苦痛です。 どうして木の椅子にしないので しょうか？	いつも札幌エルプラザ公共4施設をご利用いただきありがとうございます。 この度は、貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございます。 当施設におきましては幅広い年齢層の方がご利用いただいていること は重々承知しております。現在使用している椅子については収納のし やすさやスペース、疲れにくさを考慮して選定しておりますのでご理 解いただければ幸いです。 今後は、ご意見いただきました木の椅子や机の重さについては選定し ていくうえで参考とさせていただきます。 利用される皆様にご利用しやすい施設になるよう、引き続きお気づ きの点などございましたらご意見、ご要望をお寄せください。 どうぞ、よろしくお願いたします。

	回収日	ご意見	コメント
8	1月6日	<p>情報センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寒いのもう少し暖ぼう温度を上げてほしい ・20:00になってから電気を消してほしい 	<p>いつも札幌エルプラザ公共4施設をご利用いただきありがとうございます。この度は、貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報センターでは冬期は暖房を常にオンにしていますが、建物の出入口が近く外気が入りやすい構造となっております。季節柄、寒い日が続いておりますが、貸出用のブランケットがございますので、必要な際はカウンターまでお申しつけください。 ・情報センターでは閲覧スペースのご利用状況や利用者様からのご要望により、モニターの消灯やBGMの消音等、電気機器の調整をすることがございます。照明については今後も閉館に合わせて消灯することを徹底してまいりますので、利用される皆さまに心地よく過ごしていただけるよう、引き続きお気づきの点などございましたらご意見、ご要望をお寄せください。 <p>どうぞよろしくお願いたします。</p>
9	1月9日	<p>1Fモニター画面の切り替わりが早すぎる時があります。もうちょっと速度を落としてほしいです。(日時や電話番号をメモできなくて2周目突入するので)</p>	<p>いつも札幌エルプラザ公共4施設をご利用いただきありがとうございます。この度は、貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>ご意見いただきましたとおり、サークルやイベントの紹介画面のスライドショーの速度を落として、見やすくいたしましたので、またご覧いただきますようよろしくお願いいたします。</p> <p>また、スライドショーに出ている内容は元となるチラシもございません。イベントチラシは2階、サークル紹介のチラシは1階になりますので、ぜひチラシコーナーもご覧ください。</p> <p>引き続きお気づきの点などございましたらご意見、ご要望をお寄せください。</p> <p>どうぞ、よろしくお願いたします。</p>
10	3月16日	<p>情報センターにWi-fiがあると、調べものをするときに便利だと思いました。</p>	<p>いつも札幌エルプラザ公共4施設、札幌市エルプラザ情報センターをご利用いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>この度は情報センターのWi-fiに関しましてお問い合わせいただき、ありがとうございます。情報センターではWi-fiを備え付けておりますが、窓口でのみ、お伝えしておりました。皆様にご利用しやすい環境にしたいと考え、Wi-fiがある旨の掲示物を作成し、情報センター内に掲示いたします。</p> <p>引き続き、お気づきの点などございましたらご意見、ご要望をお寄せください。どうぞよろしくお願いたします。</p>
11	3月31日	<p>2023.4月からエスカレーター(1F→2F)動くのですか?2011年ころから止まっても不便はなく、元気な時は階段、元気がないときはエレベーターを使っています。</p> <p>泊原発の電気がまた動くのではと心配しています。エスカレーターが動くのを助けているように思えます。節電の方がいいです。</p> <p>どうぞよろしくお願いたします。</p>	<p>いつも当施設をご利用いただきありがとうございます。</p> <p>この度はエスカレーターの稼働につきましてご意見をいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>当施設のエスカレーターは故障の影響もあり長らく停止しておりましたが、体の不自由な方々への配慮や利便性向上に向け、稼働のご要望をいただいております。これまで慎重に検討を重ねてまいりました。</p> <p>この度、エスカレーターは再稼働することといたしました。エルプラザ全体としては、階段利用を推奨し、館内のLED化や、人感センサーの設置等を進めることで、今後も省エネルギー化に努めてまいります。</p> <p>引き続き、お気づきの点などございましたらご意見、ご要望をお寄せください。どうぞよろしくお願いたします。</p>

利用日	時間区分	部屋	団体名	意見	回答	分野
4月4日	午前	和室1	札幌ピラティスサークル	姿見1台不安定で破損しそうと話があった。	改善いたしました。	備品
4月5日	午前	健康スタジオ1	ヤスコ会	健スタ1のスタジオのドアがすでに開いていた。	鍵の受渡し時に受渡し間違いが発生しておりました。大変失礼いたしました。以後、このようなことがないように留意いたします。	部屋
4月9日	午前・午後	和室5	そういくサークル	道具2の注が「ワ」どこかのチームが使用していると思われるありませんでした。私共は使用していません。	お客様の取り違いがあったものと思われま。適切なアナウンスに努めます。	備品
4月13日	午後	洋和裁室	E・ソーイングクラブ	ミシンの調子が悪いので、点検してほしい。	機器の状況を見ながら、修理いたします。	備品
4月13日	夜間	音楽スタジオ1	ハツラツ健美操	部屋に入ったら換気用のスイッチが入っていなかったため、入れておいていただきたい。	今後は換気扇の電源を入れておくようにいたします。	部屋
4月21日	夜間	和室5	和歌会	水道の水がガタガタ落ちてました	蛇口の締め方が緩かったことが原因のようでしたので、蛇口を締めて対応いたしました。	部屋
4月23日	午後	中研修室全面	ふまねっと札幌	マイクの取扱いを教えてください。	操作方法の説明を行いました。	備品
5月1日	午前	中研修室BC	特定非営利活動法人Kacotam	隣の中研修室Aが音楽を流して困りました。	中研修室ABCはパネルで仕切られており音漏れがする為、大きな音での活動を控えていただくか、スタジオをご案内いたします。	その他
5月8日	午前	研修室2	特定非営利活動法人Kacotam	天板がへこんでいる机が2本ありました。一番手前にあります。	交換しました。	備品
5月11日	午前	中研修室全面	札幌日本語クラブSNC	Aの入り口側後列の照明のわくがずれている。落ちることはないと思いますが・・・。	修復しました。	部屋
5月21日	午後	洋和裁室	ミシンでキルト	ペビロックの電源コード、通電しないのがあります。窓口へもっていきます。	コード内の断線が原因と思われたため、予備機器と入れ替えました。	備品
5月24日	午前・午後	洋和裁室	マーメイド洋裁サークル	プラスチックカーテンカン3ヶ所壊れています。急ぎませんが付けて下さい。	交換しました。	備品
5月24日	午前	料理実習室	ハートホームパーティズの会	師範代のコンセントが、こわれていては、困ります。	奥まで挿しこまないと使えない状態だったため、順次修理いたします。	備品
5月25日	午前	洋和裁室	洋裁サークル	アイロン 水もれしてます。1つ棚の上におきます。	入替しました。	備品
6月3日	夜間	音楽スタジオ2	札幌太極拳サークル	CDが開けない	正常稼働することを確認しましたが、音響機器のモードが「外部出力」になっていたため、利用日当日はCDが再生できなかったと思われるます。	備品
6月19日	午後	音楽スタジオ1	嬉響会	譜面台2台、不具合あり (ネジが1つ欠けている、角度調節ができない) 下段によけておいております。	改善しました。	備品
7月8日	午後・夜間	大研修室C	クオリティネオライフ	部屋を使う前にかたづけができていなかった。イスとテーブルが出したままだった。	大研修室については、あらかじめ机をセッティングしている貸室となっております。	備品
7月9日	午前	洋和裁室	おおのニットカットソー	職業用ミシン1台 電球切れているようです。ミドリのテープ貼っておきました。	対応いたしました。	備品
7月11日	全日	和室4	紅城会	換気で空いている窓がいつも閉める事が出来ません。	窓は開めづらい箇所もあるため、開放したままで構いません。職員が対応いたします。	部屋
7月21日	午前	研修室4	(株)アルソア・ドゥ・ルミエール雅	窓の方の棚にバンクずか菓子くず落ちています(ほんの少々ですが・・・)	清掃済みです。	部屋
7月23日	午前・午後	大研修室AB	札幌PCM研究会	マイクをお借りしましたが、キキキ雑音(ハウリング?)がしていたので結局途中で使用を止めました。	正常に稼働することを確認いたしました。使用方法によるものと思いますので、使用方法の周知に努めます。	備品
7月24日	午前	特別会議室	オフィスの花	ブラインドのヒモ1ヶ所が抜けたと鍵返却時に利用者から申し出があった。	対応いたしました。	備品

7月24日	午前・午後	料理実習室	(株)ブレナイ社	計量スプーン2.5mm1本なし	補充しました。	備品
7月26日	午後	特別会議室	英米短編小説を原語で楽しむ会	ろうかにいすをおいていただければ助かります。	廊下に椅子を置くことはできませんが、休憩場所等については今後検討いたします。	備品
8月20日	午後	中研修室C	一般社団法人JOY	ドアストッパーがない。	中研修室はドアストッパーがついていないお部屋となっております。	備品
8月22日	午後	和室5	mimoza	鏡のキャスターをスムーズにしていきたいと思います。	改善いたしました。	備品
8月23日	午前	音楽スタジオ1	恵アート・トレーニングジム	ありがとうございました。 (髪の毛が落ちていました。)	清掃済みです。	部屋
9月5日	午後	和室5	mimoza	古い姿見のキャスターが動きづらく重いです。	改善いたしました。	備品
9月27日	午前	託児室1	マミーズイングリッシュ サークル	箱にぬいぐるみ6体とかいてありますが、はじめから4体でした	ぬいぐるみを補充いたしました。	備品
10月3日	午前・午後	料理実習室	生活クラブ生活協同組合	ハンドミキサー(3番)の泡立て棒の大きさが違います。他の物はあっています。 コーヒースターを1枚割ってしまいました。申し訳ありませんでした。	泡立て棒は正しいものに入替し、コーヒースターは補充いたしました。	備品
10月8日	午前	研修室5	「源氏物語」を読む会	机1台、ガムテープで補修していますが、できれば新しいのに替えてほしいです。	入れ替えいたしました。	備品
10月16日	午前・午後	和室4	尚美流 北側グループ	終了前(3:50-4:00)隣の部屋で掃除機をかけたり、物を動かしたり?とてもうるさかった。部屋の使用中はかけないでほしい!	清掃業者に状況を伝え、以後隣の部屋に響くような音について配慮するようにいたします。	その他
10月15日	夜間	研修室2,3,4	特定非営利活動法人Kacotam	研修室4の壁にハリが刺さっています。抜かずにそのままにしてあります。入って右側の壁です。	対応しました。	部屋
10月18日	午後	和室5	自彊術同好会	お部屋に電気もつけず、男性がひとり、座って、ペットボトル(お茶)とビニール袋を持っていました。ここは使用しなすと言ったら、何も言わずに出ていきました。ちょっとびっくりしました。	巡回を強化いたしました。	その他
10月29日	午前	健康スタジオ1	真駒内グリーン	イスの台車の動きが悪いので、調整をお願いしたいです。	対応いたしました。	備品
10月30日	午後	音楽スタジオ1	嬉響会	譜面台1台不具合あり。1番下の段においてあります。	対応いたしました。	備品
11月6日	午前・午後	和室5	北海道教育大学茶道部	和室の水屋(水道があるへや)にも大きな時計があるとたすかります(道具のかたづけができればいいので)	時計を設置しました。	部屋
11月9日	全日	和室2	すずかけ茶会	お茶道具の返し方がもう少しきちんとして欲しい。3を借りて返そうとしたら置炉が置いてあった。	利用団体に現状復帰について改めて周知するよう努めます。	備品
11月12日	午後	研修室3	J.WORKS	4Fのコピー機に領収書が出るようにしてくれと助かります。	領収書は発行可能な状況ですので、使用方法の周知に努めます。	備品
11月13日	午後	料理実習室	クリーン	たまご型スプーン1個見当たらず(終了後の確認時)	補充しました。	備品
11月13日	午前	健康スタジオ2	フラサークル ケアロビイカラー	共用部分となりの人達がひとり占めして困りました。椅子も全部とられてしまいました。	共用部の椅子については、団体様間で譲り合ってご利用いただけますようお願いいたします。長時間の占有をご遠慮いただけるよう周知に努めます。	その他
11月17日	午前	研修室1	道俳句会豊平支部	机がいつもより4個少なかったです。問題はないのですが。	机を補充いたしました。	備品
11月19日	夜間	研修室2	特定非営利活動法人Kacotam	入って右側の壁にまち針がささってます。そのままにしてありますので確認をお願いします。	対応しました。	その他
11月25日	午後	中研修室B	ニューユライフ	少し狭いです。	利用人数と用途に合ったお部屋をご案内するよう努めます。	部屋
11月30日	午前	和室3	女のスペース・おん	セット1の棚は未使用 (鍵返却時に窓口でお伺いしたところ、セット1の棚は使っていないけどなくなっていたとのこと。 おそらく他の団体が間違っってセット1の棚を使っているのではないかとこのことでした。)	他利用団体さんが誤って使用していました。受付でも分かりやすく案内できるよう努めます。	備品
12月4日	午前・午後	研修室1	草月流グループフリーデル	机1台、正面の天板がはずれかかっています。	改善いたしました。	部屋
12月7日	午後	大研修室C	Tarolymp	部屋でプロジェクターを借りる時に関係機材と一緒に提案していただけると優しいかと考えます。当日にチェックしなくてもいいように普段から準備しておいてください。	分かりやすく案内できるよう努めます。	備品

12月25日	午後・夜間	和室4	北海道教育大学茶道部	炉の道具は3台は常時そろえてあった方がよい。なぜかという道具セットが1・2・3組あるので冬場(11月~4月まで)ぜひ必要なものである。セットがとれていて炉がないとはおかしいのではないか。お茶はどの和室でもできるので。	ご意見として承りました。炉の個数について検討いたします。	備品
1月15日	午後	健康スタジオ2	フラサークル ケアロヒイカラー	音響の機械が変な音をあげる。スピーカーから?	対応いたしました。	部屋
1月17日	午後	音楽スタジオ1	ビーンズサークル	ぞうきん2枚がいいです	ご意見として承りました。	備品
1月23日	午前	音楽スタジオ1	エメラルド	移動式のバーがあるとうれしいです(備品として)	ご意見として承りました。	備品
1月25日	午前	音楽スタジオ2	ハツラツ健美操	ピッチを元に戻しておいてほしい。	利用団体に現状復帰について周知に努めます。	部屋
1月25日	午前	和室4	T.I.E 2023	毎回アンケートに答えておりますので、同じ団体の場合、用紙は不要にてお願いします。	対象日のご利用人数の把握や皆様からのご意見を頂戴するためご協力いただけましたら幸いです。	その他
1月25日	午前	大研修室全面	札幌日本語クラブSNC	白板の付属のペンの出がわるくなっているのがあります。お取替よろしくおねがいします。	交換いたしました。	備品
1月27日	午前	特別会議室	Mona Lisa	水の音が気になります。だんぼうでしょうか?	施設内設備の音と思われます。	部屋
1月30日	午前	健康スタジオ1	エメラルド	人数が多い時の為に移動式バーがあったら良いと希望します。	ご意見として承りました。	備品
2月8日	午前	洋和裁室	洋裁サークル	消毒液のスプレーこわれています	交換しました。	備品
2月15日	午前・午後	研修室1	(公財)野村生涯教育センター 野村生涯教育センター北海道連絡所	三味線の音が聞こえていて気になりました	楽器の演奏・練習については音楽スタジオをご利用いただくよう、今後も利用団体にたいして案内を行います。	その他
2月15日	午前	健康スタジオ1	西区シャイニーフィットネス	イスのキャスターで指をはさむケガがあります。本人の不注意ではありますが、改善が必要かと思ひます。	対応について検討いたします。	備品
2月16日	午後	研修室5	史記を学ぶ会	荷物置き場のドアこわれています。	対応いたしました。	部屋
2月16日	午後	音楽スタジオ1	札幌川柳社	スリッパの用意をして下さい。	ご意見として承りました。	備品
2月19日	午前	健康スタジオ2	フラサークル ケアロヒ	音響でPITCHを変えてそのままにして帰っています。現状復帰して帰ってくれる様案内してほしいです。	ご利用団体に向け現状復帰を改めて周知いたします。	部屋
2月22日	午前	特別会議室	公益社団法人スコレ家庭教育振興協会	水の音がします。なぜか?	施設内設備の音と思われます。	部屋
2月23日	午前・午後	料理実習室	株式会社ブレナイ社	まな板が汚い。電子レンジが動かない(窓側から2列目)	まな板を交換し、電子レンジにつきましては改善いたしました。	備品
3月30日	午前・午後	洋和裁室	こどもふくサークル	何度も使って居るカラアイロン(蒸気が出ないアイロン)が無いのですが使い勝手が良いので有りましたら使いたいです	ご意見として承りました。	備品

5 施設維持管理状況

【自己評価】

施設を維持管理するため、日常、施設休館日等の点検と、職員や警備・案内員による巡回を行うことで、事故や大規模な故障を未然に防止することができた。
新型コロナウイルス感染症による臨時休館もなかったため、施設利用者とのコミュニケーションをとって劣化・破損・故障などを早期に発見できる事例もあり、迅速な補修、代替機材の使用などにつなげることができた。

また、正常に動いている機器なども、早めの保守点検を行うことで、サービス提供に影響が出ないようにすることができた。
現在使用している設備・備品は、機器・部品ともにすでに生産終了しているものが多いため、今後、更に設備・備品等の修繕が増えることが予想される。日常の点検・巡回を強化し、故障等の可能性がある箇所の早期発見に努める。併せて、引き続き、中長期的な修繕・更新計画について協議していく。

(1) 修繕記録

No.	発生日	施工(故障)場所	工事(故障)名、状況	処置内容	業務完了日 (納品日)	金額 (税込)
1	令和4年4月1日	札幌市男女共同参画センター4階料理実習室	業務名:札幌エルプラザ公共4施設料理実習室オープン修繕業務 4階料理実習室ビルトイン型のオープンレンジの電源ボタンが故障した	部品の交換	4月7日	¥15,840
2	令和4年4月8日	札幌市男女共同参画センター3階健康スタジオ1	業務名:札幌エルプラザ公共4施設健康スタジオ1ブラインド修繕業務 3階健康スタジオ1のブラインドが破損した	ブラインドの修理、部品交換、クリーニング	5月2日	¥57,200
3	令和4年4月13日	札幌市男女共同参画センター2階及び4階多目的トイレ	業務名:札幌エルプラザ公共4施設2階及び4階多目的トイレドアストッパー取付業務 2階及び4階の多目的トイレのドアストッパーが破損した	ドアストッパーを修繕して動作の円滑を図る	4月28日	¥99,000
4	令和4年4月25日	札幌市男女共同参画センター4階研修室1、4階エレベーター、情報センター	業務名:札幌エルプラザ公共4施設 照明安定器他交換業務 4階研修室1、エレベーターの安定器及び情報センターで照明に不具合があった	安定器と照明の交換	4月28日	¥55,000
5	令和4年5月16日	札幌エルプラザ公共4施設1階女子トイレ	業務名:札幌エルプラザ公共4施設1階女子トイレ用擬音装置修繕業務 1階女子トイレの擬音装置に不具合が生じた	基盤、ユニットの交換	5月21日	¥22,440
6	令和4年5月16日	札幌市男女共同参画センター3階健康スタジオ1	業務名:札幌エルプラザ公共4施設調光スイッチ交換業務 3階健康スタジオ1のダウンライトに不具合が生じた	調光スイッチの交換	5月26日	¥52,800
7	令和4年6月7日	札幌市男女共同参画センター4階特別会議室	業務名:札幌エルプラザ公共4施設特別会議室ブラインド修繕業務 4階特別会議室のブラインドが破損した	ブラインドの修理、部品交換、クリーニング	7月15日	¥93,500
8	令和4年6月8日	札幌エルプラザ公共4施設 1階総合相談室	業務名:札幌エルプラザ公共4施設1階相談室天井補修業務 1階総合相談室の天井にひび割れがあった	天井のクロスの張替と天井板の補修	6月18日	¥74,800
9	令和4年6月21日	札幌市男女共同参画センター3階音楽スタジオ1	業務名:札幌エルプラザ公共4施設音楽スタジオ1ブラインド修繕業務 3階音楽スタジオ1のブラインドが破損した	ブラインドの修理、部品交換、クリーニング	7月15日	¥45,100
10	令和4年7月16日	札幌市男女共同参画センター4階特別会議室	業務名:札幌エルプラザ公共4施設特別会議室ブラインド操作コード修繕業務 4階特別会議室のブラインド操作コードが破損した	修理、部品交換	8月16日	¥16,940
11	令和4年8月22日	札幌市男女共同参画センター4階中研修室	業務名:札幌エルプラザ公共4施設4階中研修室照明用リモコンリレー交換修繕業務 4階中研修室の照明用リモコンリレーに破損が生じた	リモコンリレーの交換修繕	9月5日	¥24,200
12	令和4年8月23日	札幌エルプラザ公共4施設1階女子トイレ	業務名:札幌エルプラザ公共4施設1階女子トイレ便ふた部品修繕業務 1階女子トイレのウォシュレットのふたの部品が破損した	便ふた部品の交換、修繕	8月31日	¥12,815
13	令和4年9月1日	札幌エルプラザ公共4施設2階男子トイレ	業務名:札幌エルプラザ公共4施設2階男子トイレ便ふた部品修繕業務 2階男子トイレのウォシュレットのふたの部品が破損した	便ふた部品の交換、修繕	9月16日	¥12,815
14	令和4年9月9日	札幌市男女共同参画センター4階料理実習室、男女共同参画研究室1、中研修室A	業務名:札幌エルプラザ公共4施設料理実習室・男女共同参画研究室1・中研修室Aブラインド修繕業務 4階料理実習室、男女共同参画研究室、中研修室Aのブラインドが破損した	ブラインド操作コード、昇降コードの修繕、交換	9月27日	¥87,131
15	令和4年10月3日	札幌エルプラザ公共4施設1階男子トイレ	業務名:札幌エルプラザ公共4施設1階男子トイレ手洗いセンサー修繕業務 1階男子トイレの手洗いセンサーが経年劣化により不具合が生じた	手洗い光電センサーの交換、修繕	10月4日	¥22,000
16	令和4年10月13日	札幌市男女共同参画センター4階中研修室A	業務名:札幌エルプラザ公共4施設中研修室Aブラインド修繕業務 4階中研修室Aのブラインドが破損した	ブラインドの調達、交換、設置	10月28日	¥69,300
17	令和4年10月19日	札幌エルプラザ公共4施設3階身障者用シャワー室シャワーヘッド及び自閉バルブ修繕業務	業務名:札幌エルプラザ公共4施設3階身障者用シャワー室シャワーヘッド及び自閉バルブ修繕業務 身障者用シャワー室のシャワーヘッド及び自閉バルブが破損した	部品の交換、修繕	10月26日	¥33,220
18	令和4年10月20日	札幌市男女共同参画センター3階出演者控室1	業務名:札幌エルプラザ公共4施設出演者控室1中扉シリンダー交換業務 3階出演者控室1の中扉の鍵が破損した	シリンダーの調達、交換及びプラグドマスターキー合わせ	11月15日	¥17,600

No.	発生日	施工(故障)場所	工事(故障)名、状況	処置内容	業務完了日 (納品日)	金額 (税込)
19	令和4年11月1日	札幌市市民活動サポートセンター会議コーナー	業務名:ブラインド修繕業務 札幌市市民活動サポートセンター会議コーナーのブラインドが破損した	ブラインド操作コード、昇降コードの修繕、交換	11月16日	¥50,193
20	令和4年11月2日	札幌市男女共同参画センター3階健康スタジオ1	業務名:札幌エルプラザ公共4施設健康スタジオ1ブラインド修繕業務 3階健康スタジオのブラインドが破損した。	ブラインドの操作コード、昇降コードの交換、修繕	12月2日	¥19,250
21	令和4年11月14日	札幌市環境プラザ展示コーナー	業務名:ブラインド修繕業務 札幌市環境プラザ展示コーナーのブラインドが破損した	ブラインドの操作コード、昇降コードの交換、修繕	11月16日	¥31,020
22	令和4年12月2日	札幌エルプラザ公共4施設1階事務室	業務名:札幌エルプラザ公共4施設1階事務室西側出入口修繕業務 1階事務室西側出入口のネジが破損した	部品の取り換え、修繕	12月20日	¥44,000
23	令和4年12月20日	札幌エルプラザ公共4施設1階女子トイレ	業務名:札幌エルプラザ公共4施設1階女子トイレ手洗いセンサー修繕業務 1階女子トイレの手洗いセンサーが経年劣化により不具合が生じた	手洗い光電センサーの交換、修繕	12月24日	¥22,000
24	令和4年12月23日	札幌市環境プラザ展示コーナー	業務名:札幌エルプラザ公共4施設2F可動式アルミフェンス修繕業務 札幌市環境プラザのアルミフェンスに不具合が生じた	アルミフェンスの修繕、清掃	12月26日	¥88,000
25	令和5年1月11日	札幌市男女共同参画センター3階和室水屋	業務名:札幌エルプラザ公共4施設3階和室竹すのこ修繕業務 3階和室水屋の竹すのこが経年劣化で破損	竹すのこの交換、修繕	1月19日	¥55,000
26	令和5年1月28日	札幌エルプラザ公共4施設1~4階男女トイレ	業務名:令和4年度札幌エルプラザ公共4施設トイレ手洗い水石入れ交換業務 各階のトイレ洗面台下の水石入れが、経年劣化のため破損している	水石入れの交換	2月24日	¥720,000
27	令和5年2月3日	札幌市男女共同参画センター4階研修室1	業務名:札幌エルプラザ公共4施設4階研修室1照明用リモコンリレー交換修繕業務 4階研修室1の照明に係るリモコンリレーが破損した	リモコンリレーの交換修繕	2月20日	¥24,200
28	令和5年3月7日	札幌市男女共同参画センター4階研修室2及び研修室4	業務名:札幌エルプラザ公共4施設研修室2・研修室4ブラインド修繕業務 4階研修室2、4のブラインドが破損した	ブラインド昇降コードの修繕	3月15日	¥20,680
29	令和5年3月1日	札幌市男女共同参画センター4階料理実習室	業務名:札幌エルプラザ公共4施設4階料理実習室オープンレンジ庫内灯修繕業務 4階料理実習室のオープンレンジドア開閉スイッチ及び温調ダイヤルが破損した	ドアクラッチ一式交換	3月7日	¥17,710
30	令和5年3月1日	札幌エルプラザ公共4施設1階エントランスホール	業務名:札幌エルプラザ公共4施設1階南側エントランスインターホン交換修繕業務 南側エントランスのインターホンに不具合が生じた	不調インターホンの修理交換	3月30日	¥67,100
31	令和5年3月17日	札幌エルプラザ公共4施設2、3階廊下	業務名:札幌エルプラザ公共4施設廊下ダウンライト修繕業務 札幌エルプラザ公共4施設各階廊下ダウンライトに不具合が生じた	不調ダウンライトの修理交換	3月26日	¥73,040
32	令和5年3月16日	札幌市市民活動サポートセンター共有スペース	業務名:札幌市市民活動サポートセンターブラインド交換業務 札幌市市民活動サポートセンター内のブラインドの納品及び交換	ブラインドの納品、取付	3月30日	¥1,966,998
合計						¥4,010,892

(2)防災訓練研修実施状況①

令和4年度 札幌エルプラザ公共4施設防災訓練・研修報告書

AED 使用訓練	
日 時	令和4年4月28日(木)13:00～15:00
参加人数	37人
訓練内容	<ul style="list-style-type: none">・1グループ18、19人に分かれ要救助者の発見から意識確認、救急車、AED手配の過程を実演・訓練用人形を使用した心肺蘇生法の訓練・AEDの使用訓練

防災設備確認、使用訓練	
日 時	令和4年4月28日(木)13:00～15:00
参加人数	37人
訓練内容	<ul style="list-style-type: none">・各事業所からの避難経路の確認・防火扉開閉方法の確認・緊急電話の使用方法確認、実践・中央監視室見学、発報の状況や緊急電話受信時の状況を体験

防火管理者による消防訓練	
日 時	令和4年10月24日(月)9:00～10:30
参加人数	公共4施設代表として6人(民間棟を含め20人程度)参加
訓練内容	<ul style="list-style-type: none">・屋上ヘリポートの活用方法・ヘリホバリング時の待機訓練・水消火器を使用した消火訓練

シミュレーション訓練(机上訓練)	
期 間	令和4年11月1日～12月20日まで
参加対象	緊急対策本部要員(部長、課長、係長職)
訓練内容	<ul style="list-style-type: none">・被害予測、受入れ体制、人数の見直し・発生時のワークフローの見直し・関係機関および連絡先の確認・緊急対策本部長への訓練報告書提出

2022年10月6日

入居者各位

札幌エルプラザ管理組合

札幌エルプラザ中央監視室(警備)

TEL : 011-757-7222

FAX : 011-757-7223

火災訓練のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、当ビル管理・運營業務につき格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、毎年10月に行われている「火災訓練」につきまして、下記の通りご案内いたします。

現在も新型コロナウイルスの感染が収束しない状況の中で、例年通り避難訓練が困難な状況となっております。よって、今年度は5階～9階・10階～13階の2部制で訓練を行うことにいたしました。(下記参照)

訓練日は、10月24日(月)で実施しますので、参加者(消火訓練を行うので消火担当者の参加をお勧めします)を別紙「火災訓練参加予定人数届」にご記入いただき、地下1階中央監視室にご提出ください。(FAX可) また、訓練参加人数は各入居者様3名までとさせていただきます。

敬具

記

実施日時 : 2022年10月24日(月) 9:00～

1部…5階～9階を9:00～(5階から声掛けしていきます)

2部…10階～13階を10:00～(10階から声掛けしていきます)

(1部あたり30分～60分程度の訓練を予定)

※雨天強風時は延期します(日時は別途お知らせします)

訓練内容 : 火災訓練「屋上のヘリポートへの避難訓練」

「ヘリホバリング時の待機訓練」、「水消火器を使用した消火訓練」

訓練場所 : 「南側避難階段(13階～屋上)」「屋上ヘリポート」

以上

ヘリのホバリングの説明

H と R の違いは着陸できるかどうか

『H』は Heliport(ヘリポート)の H

ビルや高層マンションに設置されている H マークは「緊急離着陸場」といって、火災等の緊急時には皆様が想像するヘリポートになります。要はヘリコプターが着陸して、救助活動を行ったり、ヘリコプターで救急搬送をすることができるという事です。

『R』は Rescue(レスキュー)の R

こちらは緊急救助用スペースといつて、実際にヘリコプターが着陸することは出来ません。「H」との違いは広さや床面強度、消火設備や燃料の流出防止構造の有無などです。着陸することができないため、救助はホバリング状態で行います。

ダウンウォッシュ

ヘリコプターのローターが発生させる下降気流のこと。自衛隊などのヘリコプターで風速に換算すると 25~30m/s、ドクターヘリでも 10~15m/s といわれ、台風並みの風が発生します。そのため災害現場では二次災害を招く可能性もあるので、その影響に注意しないとならない、

風速

10mは、傘が折れそうでさせない。風に向かって歩きにくい。

15mは、転倒の可能性。小石が飛んでくる。(台風クラス)

25mは、立ってられない。

30mは、屋外にいるのは危険。

学校校庭や市町村のグラウンドなどの着陸時の接地帯は芝地など土埃の比較的小さい場所とは限らず、散水ができない場合、濛々と舞い上がる土埃の中で着陸を行うことは、地上付近において、ヘリコプターが巻き上げた土埃により視界が土色一色となり、方向・高度・姿勢が識別不能となるブラウンアウトの原因ともなり、機長の高度判断を誤る要因でもあり不安全要素となっている。また、寒冷地において圧雪されていない新雪の場外で着陸操作を行う場合、新雪の飛散により視界が白一色となり、方向・高度・姿勢が識別不能となり機長が目測を失うホワイトアウトとなり易く、その結果、機体転覆に至ることがある。機長はダウンウォッシュによる飛散物の巻き上げも含め着陸時に不安全と判断した場合、躊躇なく着陸復行や着陸地点を変更し、代替地を選定しなければならない。

消火器の種類について

消火器は、粉末系消火器、水系消火器、ガス系消火器の3つに大きく分けられます。火災も、木材や紙などが燃える普通火災（以下「A火災」という）、油などが燃える油火災（以下「B火災」という）、電気設備などが燃える電気火災（以下「C火災」という）の3つに分けられるため、発生しやすい火災に応じて消火器を選ぶことが大切です。それぞれの消火器の特徴について確認しておきましょう。

尚、居室内や廊下に設置されている消火器は粉末系消火器になります。普段、目にする消火器も粉末系消火器になります。

粉末系消火器は炎の抑制効果が高い

粉末系消火器の特徴は、炎の抑制効果が高いため素早い消火活動ができることです。A火災、B火災、C火災のどれに対しても効果を発揮してくれる、というメリットもあります。ただし、粉末消火器には浸透性がなく、燃えている物によっては一度消えても再燃する可能性もあるため注意が必要です。放射時間は短めであるため、使い方を把握しておき、炎を的確に狙う必要があります。

水系消火器は浸透性があるため再燃を防止できる

水系消火器の特徴は、浸透性があるため再燃を防止できることです。冷却効果も高く、放射時間も長めであるため、安心して消火活動を行えます。水系消火器は、さらに細かく、強化液消火器、中性強化液消火器、機械泡消火器などに分けられます。強化液消火器や中性強化液消火器は、どのような火災に対しても効果を発揮し、天ぷら油や繊維類による火災にはとくに効果的なため、家庭用として最適といえるでしょう。

ガス系消火器は素早く消火できる

ガス系消火器の特徴は、二酸化炭素による窒息効果を利用して、消火することです。消火薬剤が水や粉末ではなくガスであるため、精密機器や電気設備による火災に対しても使用でき、汚損しないという優位性があります。ただし、木材や紙などが燃えるA火災に対しては不向きであるため注意しましょう。

消火器の使い方

1.消火器を障害物にぶついたりしないよう注意しながら、火災の起きている場所近くの消火に安全な場所まで運びます。

※あまり離れすぎていると、火への放射前に薬剤が尽きてしまいます。概ね7～8m手前を目安とします。

2.黄色の安全ピンを引き抜きます。

3.ホースを外し、ホースの先端を持って火元に向けます。

※ホースの途中を持つと、放射の圧力などからねらいが定まらず、的確に放射できない恐れがあります。

4.レバーを強く握って放射します。

※消火器が重い場合、消火器を置いたままレバーを握って放射する方法もあります。

放射時間は10～15秒程度です。

5.火の根元をねらい、手前からほうきで掃くように薬剤を放射します。

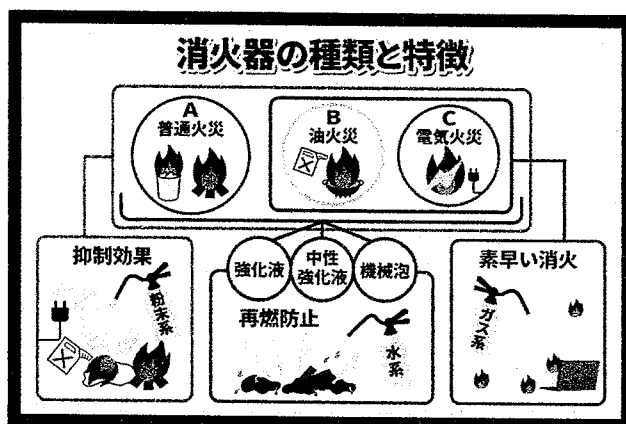
※自分の身を守りつつ効果的に放射するために、風上から放射します。室内で放射する場合は、出入り口を背にして逃げ道を確保します。

消火器には寿命はありますか？

消火器の寿命は設置場所などによって異なります。一般的に普及しているABC粉末消火器や強化液消火器の寿命は、10年となります。また、住宅用消火器の場合は5年となります。消火器本体が腐食している場合や、中の消火剤が湿気で固まっている場合などは使えないため注意が必要です。

消火器の薬剤は交換できますか？

業務用消火器（ガス系等を除く）の場合は、薬剤の交換が出来る構造になっていますが、住宅用消火器の場合は交換出来ません。



6 環境配慮への取り組み

【自己評価】

昨年度に引き続き、1階エントランス(玄関口)や3階ホールに設置しているエコシルフィー(空調システム)などを活用することで、エネルギー使用量の削減に努めるとともに、利用者に向けて、継続的に節水・節電の啓発掲示を行うことにより、利用者の方にも省エネに係る取組みの協力を得ることができている。
 今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、施設内での換気を励行(貸室内の窓・扉を開けての換気、外調機使用)し、終日空調や外調機を稼働させなければならないことに加え、電力消費量の多いホールが新型コロナウイルスのワクチン接種会場として常時稼働していたため、エネルギー消費の総量は昨年度比5%の増加となったが、通年開館している中で昨年度比5%の使用量増加に留められたことは、利用団体の方々にも省エネに協力いただいた成果であると評価できる。
 今後も、エネルギーの節減に配慮した施設運営および利用者への啓発を行うとともに、省エネに係る取組み(トイレの人感センサーなど)の効果検証を実施し、さらに省エネルギー化を推進していきたい。

施設名	施設住所	延床面積 (m ²)	省エネ 対象	月	エネルギー使用量及びエネルギー経費						その他の環境指標				使用エネル ギー合計 (MJ)	エネルギー使用量 原油換算 (L)…A			エネルギー経費(円)			エネルギー使用に密接な値…B				エネルギー消費原単位 A/B(kL/〇)		増減の主 な理由 (原油換算エネルギー使用量で 10%以上または250kL以上の増減 があった場合は、必ず理由及び対 策計画を記載してください。)	
					温水 (MJ)	温水 (円)	冷水 (MJ)	冷水 (円)	昼間買電 (kWh)	昼間買電 (円)	水道水 使用量 (m ³)	地下水 使用量 (m ³)	資源物 量(kg)	一般廃 棄物量 (kg)		合計	令和3年 度 実績	前年比	合計	令和3年 度 実績	前年比	施設 用途	名称 (単位)	令和3 年度	令和4 年度	令和3年 度	令和4年 度		増減率
札幌エルプラザ 公共施設	北区北8条西3丁目	9,930	○	4月	348,810	2,261,337	52,000	2,428,108	64,155	1,676,981	217				1,184,727	30,566	28,557	107%	6,366,426	6,133,474	104%	文化施設	延床面積 (m ²)	9,930	9,930	31.58573	35.30265	112%	×
				5月	86,720	1,194,054	62,400	2,496,507	55,980	1,506,123	100				760,924	19,632	17,115	115%	5,196,684	4,915,335	106%								
				6月	86,840	1,194,543	79,100	2,606,341	61,466	1,620,781	103				838,494	21,633	16,627	130%	5,421,665	4,949,281	110%								
				7月	52,640	1,055,274	263,000	3,815,834	65,357	2,015,817	114				1,080,880	27,887	28,650	97%	6,886,925	6,646,396	104%								
				8月	50,360	1,045,989	312,200	4,139,417	66,550	2,142,395	94				1,156,585	29,840	28,247	106%	7,327,801	6,798,762	108%								
				9月	56,700	1,071,807	194,300	3,364,000	65,157	2,235,133	104				990,975	25,567	16,523	155%	6,670,940	5,119,003	130%								
				10月	91,320	1,212,786	86,300	2,653,695	57,591	2,105,951	100				815,745	21,046	21,565	98%	5,972,432	5,446,722	110%								
				11月	244,590	1,836,933	36,300	2,324,850	63,592	2,342,953	158				1,016,023	26,213	27,961	94%	6,504,736	6,034,305	108%								
				12月	547,260	3,069,465	26,400	2,259,739	56,301	2,676,916	265				1,341,499	34,611	31,002	112%	8,006,120	6,443,962	124%								
				1月	674,600	3,588,020	25,900	2,256,451	60,945	2,877,974	239				1,560,302	40,256	40,711	99%	8,722,445	7,481,878	117%								
				2月	684,930	3,630,085	27,800	2,268,947	61,276	2,712,989	300				1,580,235	40,770	38,326	106%	8,612,021	7,226,776	119%								
				3月	457,970	2,705,858	34,600	2,313,670	59,291	2,614,282	188				1,261,026	32,534	37,730	86%	7,633,810	7,136,217	107%								
				計	3,382,740	23,866,151	1,200,300	32,927,558	737,661	26,528,295	1,982				13,587,415	350,555	333,013	105%	83,322,005	74,332,111	112%								

7 自主事業報告

【自己評価】

社会状況により、オンライン会議の利用が増加したことから、ワイヤレスインターネット接続サービス(Wi-Fi)や機器接続ケーブルの需要が高まり、令和3年度と比較して増収となった。

新規事業として、集合型の事業が困難な社会情勢に対応した個室ブース貸出事業を開始したものの、来館者が少ない状況が続き、利用数自体は想定よりも少ない結果となった。

受託事業を実施することで指定管理事業の範囲にとどまらない多様な関係機関や、これまでセンターと関わりが薄かった市民の方と繋がる機会となり、社会の動きや課題をよりスピード感を持ってキャッチすることができた。また、得られた繋がりや課題感を取り入れて指定管理事業を実施することで、より効果的な事業運営に繋がったと言える。

今後も、社会情勢および利用者ニーズに合わせた施設の利便性向上を目指すとともに、様々な課題を持った対象者が課題解決へ向かうための人とのつながりをサポートしていくことをとおして、さらなる利用者の獲得へ向けた働きかけを検討していきたい。

(1) 自主事業の名称および内容

- ①自動販売機設置事業(1~4階に自動販売機9台設置)
- ②公衆電話設置事業(1階に公衆電話1台設置)
- ③一般の施設利用者用コピー機設置事業(4階にコピー機1台設置)
- ④中コインロッカー設置事業(1階・4階 合計6台設置)
- ⑤大コインロッカー設置事業(1階に1台設置)
- ⑥特大ロッカー設置事業(4階に3台設置)
- ⑦ホワイトボード貸出事業
追加貸出用のホワイトボードを導入・貸出
- ⑧男女共同参画ワークショップ「気づき」のための実践ノート販売
男女共同参画ワークショップに関する冊子の販売
- ⑨ワイヤレスインターネット接続サービス事業
活動支援施設および有料貸室におけるインターネット環境の整備
- ⑩機器接続ケーブル等の貸出事業
活動支援施設および有料貸室で備品と接続するためのケーブル・変換機等の貸出
- ⑪個室ブース貸出事業
オンライン会議環境に適した個室ブースの提供
- ⑫困難を抱える女性に対する支援事業
孤独・孤立状態で社会との繋がりが弱い女性に対する支援事業
- ⑬女性向けコワーキングスペース運營業務
女性が活躍できる環境づくりの一環として、コワーキングスペース運営
- ⑭オンラインフォーラム運營業務
札幌市内の経営者や人事担当者向けと市民向けを組み合わせたオンライン事業
- ⑮女性の多様な働き方支援相談窓口運營業務ここシェルジュ SAPPORO における総合案内
多様な働き方を支援する窓口事業
- ⑯性的マイノリティ電話相談業務
多様な性に対する相談窓口業務
- ⑰困難を抱える若年女性支援業務
若年女性の自立の推進に資する公的機関と民間団体の連携事業
- ⑱北海道女性起業家支援ネットワーク事業「地域における女性の伴走支援」
女性の起業家を支援するネットワーク構築事業

- ⑱札幌市外の外部講座およびワークショップの講師派遣事業
札幌市外に向けた札幌市の取り組みの啓発
- ⑳特定非営利活動促進法所轄庁事務補助業務
- ㉑『市民まちづくり活動の「情報コーナー」の事業協力』業務
- ㉒展示コーナー管理業務
札幌市消費者センターの展示コーナー(土日祝)の管理

(2)承認期間

自:令和 4年 4月 1日

至:令和 5年 3月 31日

(3)自主事業の収支

Ⅱ-1収支

決算報告参照

令和4(2022)年度 札幌エルプラザ公共4施設収支報告書

法人・団体名： 公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会

4施設総括分
(千円)

科 目	R4(2022)計画		R4(2022)決算		
	指定管理業務	自主事業	指定管理業務	自主事業	
収 益	指定管理業務収益				
	指定管理費	249,350		260,319	
	利用料金収益	67,852		66,652	
	その他収益	34,596		3,995	
	自主事業収益		5,651		50,102
	収益小計	351,798	5,651	330,966	50,102
	収益合計	357,449		381,068	
費 用	事業費	346,841	700	333,053	43,366
	(うち人件費)	150,965	0	136,300	13,877
	管理費	9,953	0	10,097	0
	(うち人件費)	0	0	0	0
	費用小計	356,794	700	343,150	43,366
費用合計	357,494		386,516		
利 益 等	収支		▲ 45		▲ 5,448
	利益還元		0		0
	法人税等		0		0
	当期純利益		▲ 45		▲ 5,448

令和4(2022)年度 札幌エルプラザ公共4施設収支報告書

法人・団体名：公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会

4施設科目別

(千円)

科目	男女共同参画センター			消費者センター			市民活動サポートセンター			環境プラザ			4施設共通			指定管理業務計	自主事業計
	指定管理業務	自主事業	小計	指定管理業務	自主事業	小計	指定管理業務	自主事業	小計	指定管理業務	自主事業	小計	指定管理業務	自主事業	小計		
収益	指定管理収益	0		0	0		0		0	0		0	260,319		260,319	260,319	0
	利用料金収益	61,705		61,705	0		2,425		2,425	2,522		2,522	0		0	66,652	0
	その他収益	937	44,157	45,094	0	0	1,372	2,249	3,621	87	0	87	1,599	3,696	5,295	3,995	50,102
	収益合計	62,642	44,157	106,799	0	0	3,797	2,249	6,046	2,609	0	2,609	261,918	3,696	265,614	330,966	50,102
費用	人件費	0	11,852	11,852	0	0	0	2,025	2,025	0	0	0	136,300	0	136,300	136,300	13,877
	旅費・交通費	294	269	563	0	0	39	0	39	48	0	48	267	0	267	648	269
	光熱水費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	85,320	462	85,782	85,320	462
	通信運搬費	635	900	1,535	0	0	260	0	260	123	0	123	677	97	774	1,695	997
	租税公課	1	27	28	0	0	0	0	0	0	0	0	24,786	0	24,786	24,787	27
	広告宣伝費	54	637	691	0	0	0	0	0	0	0	0	1,377	0	1,377	1,431	637
	保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	15	0	15	67	0	67	82	0
	賃借料	154	69	223	0	0	916	0	916	24	0	24	1,691	249	1,940	2,785	318
	修繕費	608	0	608	0	0	2,017	0	2,017	119	0	119	1,267	0	1,267	4,011	0
	消耗品費	1,295	745	2,040	0	0	1,417	0	1,417	190	0	190	5,449	0	5,449	8,351	745
	備品費	443	98	541	0	0	0	0	0	44	0	44	2,419	0	2,419	2,906	98
	印刷製本費	670	376	1,046	0	0	711	0	711	25	0	25	701	0	701	2,107	376
	諸謝金	2,582	8,491	11,073	0	0	1,979	0	1,979	1,600	0	1,600	90	0	90	6,251	8,491
	委託費	938	15,623	16,561	0	0	0	0	0	143	0	143	41,703	739	42,442	42,784	16,362
	支払手数料	9	0	9	0	0	2	0	2	1	0	1	0	0	0	12	0
	行政財産目的外使用料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	287	287	0	287
	その他(減価償却)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,376	0	2,376	2,376	0
	その他(役務費他)	3,491	420	3,911	0	0	402	0	402	241	0	241	5,181	0	5,181	9,315	420
その他(支払寄付金)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,892	0	1,892	1,892	0	
法人事業費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10,097	0	10,097	10,097	0	
費用合計	11,174	39,507	50,681	0	0	0	7,743	2,025	9,768	2,573	0	2,573	321,660	1,834	323,494	343,150	43,366
利益等	収支	51,468	4,650	56,118	0	0	▲ 3,946	224	▲ 3,722	36	0	36	▲ 59,742	1,862	▲ 57,880	▲ 12,184	6,736
	利益還元		0	0		0		0	0		0		0	0	0		0
	法人税等																0
当期純利益																	▲ 5,448

※網掛けは計算式の入っているセルを表します。

令和4(2022)年度 札幌エルプラザ公共4施設収支報告書

法人・団体名：公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会
4施設分
(千円)

科目	R4(2022)計画		男女共同参画センター		消費者センター		市民活動サポートセンター		環境プラザ		4施設共通		R4(2022)決算	
	指定管理事業	自主事業	指定管理事業	自主事業	指定管理事業	自主事業	指定管理事業	自主事業	指定管理事業	自主事業	指定管理事業	自主事業	指定管理事業	自主事業
収 益	指定管理収益	249,350		0		0		0		0		260,319		260,319
	利用料金収益	67,852		61,705		0		2,425		2,522		0		66,652
	その他収益	34,596		937		0		1,372		87		1,599		3,995
	自主事業収益		5,651		44,157		0		2,249		0		3,696	50,102
	収益小計	351,798	5,651	62,642	44,157	0	0	3,797	2,249	2,609	0	261,918	3,696	330,966
	収益合計	357,449		106,799		0		6,046		2,609		265,614		381,068
費 用	事業費	346,841	700	11,174	39,507	0	0	7,743	2,025	2,573	0	311,563	1,834	333,053
	(うち人件費)	150,965	0	0	11,852	0	0	0	2,025	0	0	136,300	0	136,300
	管理費(※)	9,953	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10,097	0	10,097
	(うち人件費)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	費用小計	356,794	700	11,174	39,507	0	0	7,743	2,025	2,573	0	321,660	1,834	343,150
	費用合計	357,494		11,174		0		7,743		2,573		321,660		386,516
利 益 等	収支		▲ 45		56,118		0		▲ 3,722		36		▲ 57,880	▲ 5,448
	利益還元		0		0		0		0		0		0	0
	法人税等		0		0		0		0		0		0	0
	当期純利益		▲ 45		56,118		0		▲ 3,722		36		▲ 57,880	▲ 5,448

Ⅲ 令和4年度目標達成度・次年度以降の改善策

施設名	目 標	令和4年度 達成値	改善策
男女共同 参画 センター	男女共同参画の啓発の取組： 40回	72回 (180.0%)	<p>今年度は、オンライン事業の開催に加えて、集合型事業も再開させることができた。加えて、事業の実施内容および対象に合わせて開催方法を選択することで、事業展開にも広がりを持たせることができた。</p> <p>また、オンライン開催事業では、札幌市外からの参加が多く、札幌市民がより多様なつながりを構築できる機会となった他、集合型事業を実施することで、参加者同士の直接的な意見交換の機会が増え、より有意義な事業展開にできたことは評価できる。</p> <p>一方で、事業をとおした参加者の行動変容については課題が多かったため、市民同士の継続的なつながりの場を創出することや、行動変容を促す仕組みづくりが行えるよう、コミュニティ形成のための職員のファシリテーション力強化およびオンラインツールの有効活用を進めていきたい。</p>
市民活動 サポート センター	市民活動啓発事業の実施：9回 相談件数：600件	9回 (100%) 612回 (102.0%)	<p>減少傾向にあった利用者数が、年度途中から増加傾向に転じ始めた実感があった。</p> <p>課題としていた若年世代向け事業として、他機関との共催で講演会を展開し、当センター単独ではアプローチの難しかった利用者層とのつながりを新たに作る事ができた。こうした新規利用者層が当センターを認知し、新たな利用者となったことで、次年度以降はさらなる啓発の広がりに期待が持てると思う。</p> <p>一方で、市民活動のスタートおよびリスタートに合わせた事業の企画・実施は課題として挙げられるため、サロン事業やアンケート等から利用者のニーズを掴み、課題に対応した事業展開を進めることで利用促進に努めたい。</p>
環 境 プラザ	環境活動の機会提供：年間50回	56回 (112.0%)	<p>講師派遣や見学の件数も回復してきており、機会提供についても目標を達成することができた。コロナ禍を経て、社会に定着したオンライン事業についても、オンラインだからこそ参加できる新規利用者層を取り込むことができる手段として機能しており、そのメリットは大きいと考える。</p> <p>次年度においては、コロナ禍前と同等の状況になることが予想される中、新たなプログラム開発の必要性が課題として挙げられるため、時勢に合わせた情報収集にも注力し、プログラムの開発を進めことで、さらなる機会提供を目指したい。</p>
情報 センター	SDGs（男女、市民、環境、消費）の意識啓発につながる取組：12回	29回 (241.7%)	<p>「今日は何の日？」や「〇〇月間」という時勢に合わせたテーマ展示の中で、年間をとおしてSDGsの関連紹介を行い、SDGsに関する意識啓発を継続的に行うことができたことから、目標を大幅に上回る結果となった。</p> <p>また絵本コーナーに「SDGsコーナー」を設置し、SDGsに関連した本を、他の本とは分けて展示することにより、子どもたちを含めた全世代にSDGsに興味関心をもってもらい機会を創出することができた。</p> <p>テーマ展示の定着から市民の意識啓発につながる機会が増加した一方で、情報センター事業への参加数が伸び悩んでいること、情報センターを媒介としてエルプラザ各施設の利用につながりにくいという課題が挙げられる。</p> <p>次年度は、今年度に引き続き、すべての実施事業に図書紹介や情報センターの紹介を入れるなど、情報センターの認知度向上を図ることで、事業参加者数の増加および4分野における情報収集・情報発信の場としての意義をより高めていきたい。</p>

令和4年度
事業報告書

令和4年4月1日～令和5年3月31日



森のようちえん
(滝野自然学園)



公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会



SYAA

公益財団法人 さっぽろ青少年女性活動協会

目次

I. 令和4年度 総括	1
II. 経営理念	2
III. 事業報告	
1. 事業実施状況	
2. 施設管理運営	
3. 事業実施報告概要（事業区分）	3
4. 部門別（各施設）重点目標及び数値目標の達成状況	5
5. 各課（各施設）事業実施報告	
(1) こども事業課・こども育成課（指定管理事業：児童会館 109 館） （受託事業：ミニ児童会館 90 館）	16
(2) 千歳事業所（受託事業：千歳市児童館・学童クラブ 10 館・18 箇所）	18
(3) 千歳事業所（指定管理事業：千歳市青少年会館）	18
(4) こども劇場課（指定管理事業：やまびこ座・こぐま座）	19
(5) 若者支援事業課（指定管理事業：若者支援施設 5 館）	21
(6) 企画事業課（地域活動等事業：野外活動系事業） （自主事業：滝野自然学園）	23
(7) 企画事業課（指定管理事業：北方自然教育園）	24
(8) 野外活動課（指定管理事業：定山溪自然の村）	25
(9) 野外活動課（指定管理事業：青少年山の家）	26
(10) 市民参画課（指定管理事業：札幌エルプラザ公共 4 施設）	28
(11) 企画事業課（地域活動等事業：自主事業・受託事業）	30
6. 重要な契約に関する事項	31
7. 基金事業	
IV. 事務報告	34
1. 設立年月日	
2. 定款に定める目的	
3. 定款に定める事業内容	
4. 事務所の状況	
5. 役員等に関する事項	
(1) 理事 (2) 監事 (3) 評議員	
6. 職員に関する事項（事務局組織図）	36
(1) 主要な職員 (2) 職員数	
7. 会計に関する事項	37

I. 令和4年度 総括

令和4年度は、前年度から引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大と収束が日本国内で繰り返されるなか、当財団が大雪像制作等に関わった「第73回さっぽろ雪まつり」がコロナ禍において3年振りにオンラインではなく大通公園にて開催される等、社会全体が感染拡大防止と経済活動の両立を図る「ウィズコロナ」という新たな段階へ徐々に移行した一年であった。当財団においては、コロナ禍における制限の中でも多様な工夫を凝らし各種事業を実施してきたが、制限緩和に伴い中止していたプログラムも順次再開された。また、こども劇場課における中島公園各所に舞台を設けた観客分散型の公演事業や千歳事業所における支笏湖をフィールドにした自然の中でのカヌー体験事業などアイデアを活かした新規事業も数多く展開された事業年度となり、その中で職員一同があらためて直接体験の価値・大切さを再認識することができた。

そのような中で、令和4年度は札幌市の指定管理業務5年間の最終年度でもあり、これまでの取組みへの効果検証を踏まえ、昨今の社会課題の解決に向け、これまで培ってきた事業ノウハウや当財団の強みである部門連携を活かした事業提案を行い、応募した全ての施設において指定管理者として選定を頂いた。併せて、令和5年度が受託最終年度となる千歳市児童館・学童クラブ事業においても、引き続き地域からの信頼を積み上げ、当財団が継続して運営できるよう、次期受託に向け取り組んでいかなければならない。

また、子どもや若者の居場所づくり事業「いとこんち」の取組みが、内閣府「子供と家族・若者応援団表彰」で、内閣府特命担当大臣表彰を受賞した。地域の様々な社会資源を活用した重層的な子ども・若者支援の取組みが評価されたものと受け止め、社会課題や地域課題の解決に向けて、今後さらなる社会資源の活用、地域との積極的な対話・連携を進めていく決意である。

日本社会において、労働力不足が社会問題として深刻化するなか、当財団の事業規模は年々拡大しており、人材の確保と育成が当財団における喫緊の課題である。令和5年度に新設した人事部を中心として、経営戦略と人材戦略の連動を図る他、多様な職員が主体的かつ意欲的に業務に取り組める環境づくりに努め、更なる市民サービス向上に繋げることを目指していく。



II. 経営理念

「人とのつながりによる魅力あふれる未来社会の創造」

III. 事業報告

1. 事業実施状況

令和4年度 事業基本方針	
1	社会課題解決に対応した事業内容の継続展開
2	事業環境の変化への速やかな対応
3	未来ビジョンに基づく事業の展開
4	デジタル投資による業務変革の推進
5	他部門・他団体との業務連携等の推進

2. 施設管理運営

(1) 自主事業	1 施設
・ 滝野自然学園	
(2) 指定管理事業	117 館・4 施設
・ 若者支援施設	5 館
・ 児童会館	109 館
・ 青少年山の家	1 施設
・ 定山溪自然の村	1 施設
・ 北方自然教育園	1 施設
・ 札幌エルプラザ公共	4 施設
・ こどもの劇場やまびこ座	1 館
・ こども人形劇場こぐま座	1 館
・ 千歳市青少年会館	1 館
(3) 受託事業	100 館・18 箇所
・ ミニ児童会館	90 館
・ 千歳市児童館・学童クラブ	10 館・18 箇所



3. 事業実施報告概要（事業区分別）

【定款第4条】 (1)青少年の健全育成と社会参加に関する事業 (2)社会教育の推進に関する事業

公1 青少年の健全育成と社会参加、体験活動等に関する事業

子ども育成事業

(1)青少年活動支援事業

- ・放課後児童クラブ事業 ・学習活動事業 ・各種講座、講習会
- ・劇団育成支援事業 ・インターンシップ、各種実習の受け入れ

(2)体験機会創出事業

- ・社会奉仕活動事業 ・各団体との共同開催事業
- ・子どもの体験活動機会を創出する事業

(3)施設管理運営事業

- ・児童会館の管理業務、貸室等 ・こども劇場の管理業務、貸室等
- ・千歳市青少年会館の管理業務、貸室等

若者自立支援事業

(1)体験機会創出事業

- ・自立支援プログラム、就労支援トレーニングプログラム
- ・交流促進事業 ・ボランティア参加事業 等

(2)受託事業

- ・若者サポートステーション事業（厚生労働省受託事業）等

(3)調査研究事業

- ・社会的自立に関する調査・研究事業

(4)施設管理運営事業

- ・若者支援総合センター、若者活動センターの管理業務、貸室等

自然体験活動事業

(1)滝野自然学園事業

- ・体験機会創出事業 ・職員派遣事業 ・情報発信事業
- ・団体支援事業 ・施設管理運営事業

(2)北方自然教育園事業

- ・体験機会創出事業 ・施設管理運営事業

(3)定山溪自然の村事業

- ・体験機会創出事業 ・施設管理運営事業

(4)青少年山の家事業

- ・体験機会創出事業 ・施設管理運営事業

【定款第4条】 (3) 市民活動の振興に関する事業

公2 男女共同参画をはじめとする市民活動の振興等に関する事業

市民活動振興事業

- | | | |
|------------|------------------|-------------|
| (1) 活動支援事業 | ・ 男女共同参画啓発事業 | ・ 市民活動関連事業 |
| (2) 職員派遣事業 | ・ NPO活動支援事業 | ・ 相談 ・ 支援事業 |
| (3) 情報発信事業 | ・ 大学、専門学校他への職員派遣 | |
| | ・ 各種情報誌の発行事業 | |

【定款第4条】 (4) その他法人の目的を達成するために必要な事業

収1 イベント・物品貸与等事業

- ・ 民間企業等から受託したイベント企画運営等事業
- ・ 物品貸与等事業

他1 札幌エルプラザ等施設管理運営、 公益目的外での施設貸与事業

- ・ 札幌エルプラザ公共4施設、定山溪自然の村、青少年山の家管理運営
- ・ こども劇場、若者支援施設における公益目的外での施設貸与事業

4. 部門別（各施設）重点目標及び数値目標の達成状況



こども事業課・こども育成課

札幌市児童会館・ミニ児童会館

公1 青少年の健全育成と社会参加、体験活動等に関する事業

		内容	達成状況	
重点目標		【地域活動等事業】 ① 札幌まなびのサポート事業「まなべえ」をとおして、学習習慣の習得、基礎的な学力の向上と中高校生の居場所としての児童会館の在り方を確立していく。 ② 子どものくらし支援コーディネート事業をとおして、困難を抱えている子どもや世帯を早期に発見し必要な支援に繋げる。	① 質の高い学習プログラム提供を目的に今年度から学習塾との連携とまなべえ専属の職員の採用を始めた。また、職員と参加者の信頼関係の構築を図り、まなべえ以外の日でも児童会館が居場所となるよう努めた。 ② 児童相談所や区役所等の公的機関に加え、学習支援やこども食堂といった地域活動と対象者を繋げるため同行訪問を行った。さらに保護者との面談に加え、支援者とケース会議の実施や周辺者への助言を行った。	
		【施設運営等事業】 こども事業課 ① 各企業・団体とのネットワークを拡大し、日常的な運用を推進する。 ② 事業収支の適正化を図る。	① 当法人職員としての専門性獲得、各種事業展開に生かすネットワーク構築を目的として福祉分野をはじめとする企業・団体と関係を深めた。 ② 新型コロナウイルス感染症を主とする感染症予防対策及び施設・設備等の維持管理、デジタル環境を含む環境整備に重点を置いた投資を進めた。	
		【施設運営等事業】 こども育成課 ① あそびや体験活動を通じた子どもの日常生活支援と発達支援を行う。 ② 子どもと子育て家庭が抱える課題に対する予防と早期発見・対応力の強化に努める。 ③ 子どもをまんなかに据えた、子ども視点の児童会館運営を行う。 ④ デジタル社会における児童会館に求められるニーズの把握と活用を検討する。 ⑤ 子ども行政の動向把握と次期指定管理業務へ向けた取り組みを行う。 ⑥ 未来を担う子どもたちのために、職員同士が育ち合う環境を整え、人間性豊かな指導者の育成を目指す。	① 地域施設との関わりも徐々に再開し、各館工夫を凝らし本来の児童会館運営を行った。 ② 全館職員対象の虐待防止研修を実施し、通報・相談や保護者との信頼関係構築について具体的な対応を学び、対応力向上に努めた。 ③ 日常活動の中では子どもたちの主体性を尊重し、また、子ども運営委員会では子どもたちが実現したいことをサポートし計1,084回の事業を実施した。さらに、子どもたちが安心安全な環境で過ごせるために、子どもの対応をする職員の姿勢を明文化した「子どものセーフガーディング」の策定を行った。 ④ デジタル戦略推進室との連携により新たな見守りシステムとデジタル連絡帳を導入し利用者の利便性向上と業務の省力化を行った。 ⑤ 次期指定管理の提案に向けてこども家庭庁の動きやこども基本法の理解等、子ども行政の動向把握に努めた。 ⑥ こども育成課アカデミーや社会課題に関する勉強会、オンライン情報交流会を実施し、職員同士が学ぶ機会を多く設けた。	
	数値目標	共通目標	① 利用者総数（こども育成課）3,000,000人 ② 事業プログラム参加者総数 【こども事業課】3,000人 【こども育成課】550,000人 ③ 利用者アンケートにおける満足度 【こども事業課】4.5(5段階評価) 【こども育成課】80.0%	① 3,427,869人(114.3%) ② 【こども事業課】 5,114人(170.5%) 【こども育成課】 642,659人(116.8%) ③ 【こども事業課】 4.9(5段階評価) 【こども育成課】 87.9%
		部門目標	【こども事業課】 ① 各種企業・団体等新規関連ネットワーク団体数 15団体 【こども育成課】 ① 地域と連携した事業の実施 200回(全館) ② クラブ・サークル成果発表の機会 400回 ③ 子どもたちによる読み聞かせの実施 6,000回 ④ 子ども運営委員会の企画する事業実施 400回 ⑤ 自然体験活動の実施 1,000回	① 15団体(100.0%) ① 1,118回(559.0%) ② 1,142回(285.5%) ③ 9,628回(160.5%) ④ 1,084回(271.0%) ⑤ 2,804回(280.4%)

公1 青少年の健全育成と社会参加、体験活動等に関する事業

		内容	達成状況
重点目標		【地域活動等事業】 ① 千歳市及び周辺市町村の教育機関、企業等関係組織への広報活動。	① 千歳市内の学校長会ならびに教頭会において財団について説明する機会をいただいた他、株式会社もりもとやキリンビール株式会社等の地場企業と連携した事業を実施し、一定の関係構築を図ることができた。
		【施設運営等事業】 ① 子ども・若者に寄り添う姿勢の継続と若者支援の第一歩。 ② 地域と交わる施設運営。 ③ 千歳事業所機能の深化と広報機能の強化。	① 子どもたちとの日常的な関わりの中で、一つ一つの出来事に対して丁寧かつ親身に寄り添いながら問題解決に尽力した。また、施設を卒業した若者が自身の抱える悩みについて相談に来ることがあり、職員や施設が拠り所となる関わりを作っている。 ② 乳幼児親子から中学生までのすべての利用者とコミュニケーションを図り、必要に応じて千歳市子ども福祉部や児童相談所等の関係機関と連携して支援を実施した。 ③ 他課連携事業や地場企業連携事業を実施するにあたり、千歳市内の企業や行政機関に千歳事業所や財団について説明する機会が増え、認知度向上や協力団体の獲得に繋げることができた。
	共通目標	① 利用者総数 200,000人 ② 事業プログラム参加者総数 7,000人 ③ 利用者アンケートにおける満足度 90%	① 194,270人 (97.1%) ② 8,385人 (119.8%) ③ 92.0%
数値目標	部門目標	① 連携事業に向けた千歳市周辺企業等への訪問 10団体 ① 児童館運営協議会の設置 8館	① 18団体 (180.0%) ① 8館 (100.0%)



公1 青少年の健全育成と社会参加、体験活動等に関する事業

		内容	達成状況
重点目標		【地域活動等事業】 ① 積極的な広報活動の実施。	① 施設利用団体をはじめ、周辺企業や住民に対し管理者が変更となる周知をする際に、財団のパンフレットを配布する等の広報活動を行い、当財団の認知度向上と関係構築に努めた。
		【施設運営等事業】 ① 適切な業務履行と施設認知度の向上。 ② 利用者ニーズの把握とそれらを捉えた施設運営の実施。 ③ 青少年の健全育成の推進。	① 管理業務初年度となることから、これまでの運営記録に目を通し施設の状態や利用団体の状況把握に努め、切れ目のない適切な業務開始となるよう取り組んだ。また、児童館・学童クラブの利用者に対して青少年会館の利用を促す等、認知度向上を図った。 ② 施設利用者アンケートの結果を受け、待合スペースとなるロビーを設置し、利用者のニーズに合わせた環境整備に努めた。 ③ 大学サークルや専門学校生の利用回数増加を目的とし、体育用品の貸出や予約状況の積極開示を行う等、青少年世代の利用促進に努めた。
数値目標	共通目標	① 利用者総数 11,500 人 ② 事業プログラム参加者総数 50 人 ③ 利用者アンケートにおける満足度 90%	① 13,509 人 (117.5%) ② 未実施 ③ 83.9%
	部門目標	① 若者支援における協力関係の構築を目的とした関係機関等への訪問 10 件	① 5 件 (50.0%)



公1 青少年の健全育成と社会参加、体験活動等に関する事業

取1 イベント・物品貸与等事業

他1 目的外での施設貸与等事業

		内容	達成状況
重点目標		【地域活動等事業】 ① 夢と笑顔と人が集いあう劇場づくり。	① コロナ禍でも子どもたちが安心・安全に文化芸術や観劇を体験できよう新たな劇場スタイルを実践した。「三密」を回避するために中島公園に野外ステージを設け屋外で観劇を楽しめる事業の企画や、児童会館や札幌市内の特別支援学校へ人形劇団やパフォーマーが出向き、より多くの子どもたちに伝統文化を体験してもらう機会を創出した。また、公演においては、チケットのWeb 事前予約を可能とし、観劇希望者の利便性の向上に努めた。
		【施設運営等事業】 ① 子どもたちへ芸術の鑑賞及び体験機会の拡充。 ② 豊かな子ども文化の街・さっぽろをデザインする。 ③ 文化芸術の持つ社会的包摂機能の推進。	① 「応援☆人形劇おでかけ公演&舞台体験ワークショップ」では、札幌市内の児童会館 23 館に人形劇団やパフォーマーを派遣し、生の舞台を子どもたちに観てもらい、伝統芸能を体験する機会を提供した。 ② こぐま座のある中島公園のフィールドを活かした公演事業の実施等により、これまで劇場に足を運ぶことがなかった市民に興味関心を持ってもらう機会を創出することができた。 ③ 昨年度に引き続き障がいのある子どもたちと創る人形劇「北のおぼけ箱 1・2」を実施した。また、文化庁より「障害者等による文化芸術活動推進事業」を受託し、近隣小学校の特別支援学級の子どもたちと人形劇創作活動に取り組んだ。
	共通目標	① 利用者総数（年間利用者数） やまびこ座 55,000 人 こぐま座 15,000 人 ② 事業プログラム参加者総数 24,000 人 ③ 参加者アンケートにおける満足度 85%	① やまびこ座 43,090 人 (78.3%) こぐま座 24,851 人 (165.7%) ② 20,631 人 (86.0%) ③ 97.0%
数値目標	部門目標 ① 新規人形劇団の誕生及び育成 3 劇団 ② 年間上演日数及び公演数 上演 240 日 公演 400 回 ③ 中島児童会館・人形劇場こぐま座資料室『MA・SO・BO』年間利用者人数 10,000 人	① 5 劇団 (166.7%) ② 上演 267 日 (111.3%) 公演 397 回 (99.3%) ③ 12,084 人 (120.8%)	



公1 青少年の健全育成と社会参加、体験活動等に関する事業

収1 イベント・物品貸与等事業

他1 目的外での施設貸与等事業

		内容	達成状況
重点目標		<p>【地域活動等事業】</p> <p>① 地域若者サポートステーション事業常設サテライトの運営を行い、職業的自立に向けたキャリアコンサルティングや就労支援プログラムを実施する。</p> <p>② 白石区複合庁舎まちづくりイベント広場等管理運営事業を行い、賑わいを創出する。</p> <p>【施設運営等事業】</p> <p>① 若者の居場所機能拡充及びユースワークの理念の共有について、独自に設定した居場所づくりの評価指標を基に段階的に構築する。</p> <p>② 居場所で出会った「子ども・若者当事者」のアドボカシーを推進する。</p> <p>③ さっぽろの若者支援のトップリーダーとして事業を推進し、「発信力」と「影響力」を高める。</p> <p>④ デジタルリソース・データを最大限に活用した効率的・効果的な運営を行う。</p>	<p>① 指定管理施設を母体としながら、サポステ事業受託によって若者の職業的自立という視点での支援を強化した。更に「サポステ事業」をきっかけに施設や当財団の認知度も向上し相乗効果が出ている。</p> <p>② 広場の管理運営業務の他、Youth+主催による若者のイラスト等の作品を展示する「Youth+合同展覧会」や市民と若者の交流を目的とした「ハロウィンイベント」を実施し、若者が地域と繋がる機会を創出した。</p> <p>① 各 Youth+において施設外の居場所を確保し、評価指標を基に月単位での振り返りを実施することで、現状の把握や課題の解決に向けて取り組んだ。</p> <p>② 「子ども・若者当事者」の声を大人や社会に届けるアドボカシーの推進に重点を置き、ヤングケアラー交流サロン事業をはじめ、規模を問わず多くの事業展開を積み重ねた。</p> <p>③ 平塚科研研究会やユースワーク協議会等、他都市の若者支援団体との連携を図り、ユースワーカーとしての力量を高めた。さらに昨年度から準備してきた書籍「ユースワークとしての若者支援―場をつくる、場を描く―」を発行した。</p> <p>④ 利用者証のデジタル化や貸室利用申し込みをシステム化し、利用者の利便性向上と職員の省力化を図った。また、事業の実施方法として対面とオンラインを併用し若者が参加しやすい方法を選択できる環境整備を行った。</p>
	共通目標	<p>① 利用者総数 230,000 人</p> <p>② 事業プログラム参加者総数 40,000 人</p> <p>③ 参加者アンケートにおける満足度 98%</p>	<p>① 218,232 人 (94.9%)</p> <p>② 41,251 人 (103.1%)</p> <p>③ 98.0%</p>
数値目標	部門目標	<p>① 利用証の発行を受けた若者数 11,000 人</p> <p>② 若者等登録者の延べ利用者数 180,000 人</p> <p>③ 新規に相談を受けた自立支援登録者数 400 人</p> <p>④ 進路決定及び適切な支援機関につながった困難を有する若者数 345 人</p> <p>⑤ 交流促進プログラムに参加した若者の延べ人数 6,500 人</p> <p>⑥ 社会活動及び育成プログラムに参加した若者の延べ人数 3,000 人</p>	<p>① 11,873 人 (107.9%)</p> <p>② 162,871 人 (90.5%)</p> <p>③ 392 人 (98.0%)</p> <p>④ 312 人 (90.4%)</p> <p>⑤ 5,804 人 (89.3%)</p> <p>⑥ 1,872 人 (62.4%)</p>



公1 青少年の健全育成と社会参加、体験活動等に関する事業

		内容	達成状況	
重点目標		<p>【地域活動等事業】</p> <p>① 収支の適正化を図るとともに、補助金等の獲得や外部事業の受託を促進する。</p> <p>② 魅力ある施設周辺フィールドを活かした自然体験プログラムの提案等、PR活動を進め、財団内外の新規・リピートの利用促進を図る。</p> <p>③ 関連NPO団体との連携体制を強化し、効率的な施設運営、事業展開を目指す。</p> <p>④ 施設の歴史や野外事業の効果を振り返り、組織に有益な知識や事例の積み上げを行う。</p>	<p>① 「クボタ e プロジェクト」の他、数年ぶりとなる「幼保小連携なかよしキャンプ」事業を外部から受託した。</p> <p>② 財団内部向けには、プログラム体験会を実施し、児童会館の新規・リピート利用の促進を図った。また、外部向けには、施設の裏山や近くのアシリベツ川等の自然環境や体験プログラムの情報発信を行った。</p> <p>③ 運営補助業務を委託しているネイチャープログラムデザインと月1回運営会議を実施した他、「ファミリーデイキャンプ」や「森のがっこう」等の実施時には、委託団体とともにプログラム策定の段階から連携を図り、各団体の強みを活かした事業展開を図った。</p> <p>④ コロナ禍で制限が多い中でも、宿泊事業を実施し、財団の根幹である「グループワーク」の知識や技術を継承する機会となった。</p>	
	数値目標	共通目標	<p>① 利用者総数 2,650人</p> <p>② 事業プログラム参加者総数 500人</p> <p>③ 参加者アンケートにおける満足度 95%</p>	<p>① 3,919人 (147.9%)</p> <p>② 834人 (166.8%)</p> <p>③ 98.0%</p>
		部門目標	<p>① 財団内利用件数 25件</p>	<p>① 38件 (152.0%)</p>





		内容	達成状況	
重点目標		<p>【地域活動等事業】</p> <p>① 市内の自然環境や動植物についてのセミナーを実施し、自然環境の保全や共生について考える機会を提供する。</p> <p>② 地域住民との関係性を深めるための地域活動へ参加する。</p> <p>【施設運営等事業】</p> <p>① 小中学校の体験学習への安定的な機会提供と学習機会の強化を行う。</p> <p>② 生物教材配布の生物飼育方法の見直しと幼保小中学校への安定的な供給を行う。</p> <p>③ SNS、HP、オンライン会議等を活用し、小中学校に対する事前・事後学習の支援を行う。</p> <p>④ 野外施設部内の連携強化及び他セクションの強みを活かした事業連携の強化を図る。</p> <p>⑤ 特定非営利活動法人ネイチャープログラムデザインとの連携を進める。</p>	<p>① 川の生き物をテーマに講師を招き、実際に生き物を見たり、触れながらその生態や自然環境保全について学ぶセミナーを実施した。</p> <p>② 白川地区の地域活動として、共同で使用する水源地の草刈りや泥すくい等の整備を行い、円滑な関係構築に努めた。</p> <p>① 限られた時間の中でも有益な体験学習となるよう事業説明の際はパネルを活用する等、事業プログラムの見直しを行った。</p> <p>② 用意する生物や苗の準備を計画的に行い、温度管理を徹底したことにより、希望する全ての教育機関に安定した供給を行うことができた。</p> <p>③ HPに水田作業の動画を掲載した他、小学校教員に向け、体験農場の内容や活用方法、生物教材配布後の生物育成方法を伝える内容の動画を、所管局である教育委員会と共同で作成した。</p> <p>④ 北方自然教育園が保有する自然豊かな環境と、環境プラザの自然に関わる展示物や豊富な環境プログラムといったそれぞれの強みを活かした事業プログラムを組み立て、参加者にとって双方の施設の良さを知ってもらえる事業を実施した。</p> <p>⑤ 農作業の知識の伝承を中心にそれぞれの持つ技術や知識を共有することができた。</p>	
	数値目標	共通目標	<p>① 利用者総数 7,500人</p> <p>② 事業プログラム参加者総数 650人</p> <p>③ 参加者アンケートにおける満足度 87%</p>	<p>① 8,275人 (110.3%)</p> <p>② 594人 (91.4%)</p> <p>③ 90.0%</p>
		部門目標	<p>① 小中学校を対象とした農業体験実施校数 40校(2,000人) (延べ数)</p> <p>② 学習館入館の料金収入維持 100,000円</p>	<p>① 64校(2,550人) (160.0%) ※達成率については目標校数/40校より算出</p> <p>② 117,300円 (117.3%)</p>



公 1 青少年の健全育成と社会参加、体験活動等に関する事業

他 1 目的外での施設貸与等事業

		内容	達成状況	
重点目標		<p>【地域活動等事業】</p> <p>① 札幌市内の児童に対する自然体験活動プログラムの提供を行う。</p> <p>【施設運営等事業】</p> <p>① 自然体験活動に対して特別な支援を必要とする児童、団体等を対象としたスペシャルニーズキャンプを実践する。</p> <p>② 利用促進を目的とした事業プログラムの開発と提供を行う。</p> <p>③ SNS や HP を活用した利用促進事業を実施する。</p> <p>④ 他団体や企業との連携を強化し、利用促進に繋がる教育的効果の高い事業を多様な手法を用いて実施する。</p> <p>⑤ 野外施設部内の連携強化及び他セクションの強みを活かした事業連携の強化を図る。</p>	<p>① 小学校 2 校の受け入れや、札幌市児童会館を対象とした自然体験事業「ようこそ児童会館」を実施した他、千歳市児童館の受け入れを新たに行い、定山溪遊々の森をフィールドとした自然体験プログラムの提供を行った。</p> <p>① 昨年度に引き続き特別支援学級の受け入れを行った。日帰り活動から宿泊活動へステップアップした学校もあるなか、利用者ニーズに寄り添ったプログラムを展開した。</p> <p>② 新規利用者の獲得を目指し、星空やネイチャーフォトに精通しているプロカメラマンを講師に招き、昼は裏山の中での写真撮影、夜は星空撮影のレクチャーをいただいた。また、スノーハイク体験会等、新たなキャンプ活動の提供を行った他、コロナ禍で中止していた「森の観察会」「森の工作会」を再開するために提供方法の再考やフィールド整備を行い参加者から好評を得た。</p> <p>③ Instagram・Facebook 等の SNS では事業情報や施設からのお知らせを発信し、YouTube では事業当日の様子を配信し参加できなかった方にも楽しんでもらう取組みを進めた。</p> <p>④ アウトドア企業や地元企業と連携し「定山溪ウィンター・キャンプ・フェスティバル」を実施した他、札幌市青少年科学館、札幌市円山動物園とも事業連携を図った。</p> <p>⑤ 「森のようちえん」（市民参画課環境プラザ）「定山溪小ミニ児童会館クラブ活動」（こども育成課）等の連携事業を実施した。</p>	
	数値目標	共通目標	<p>① 利用者総数 16,700 人</p> <p>② 事業プログラム参加者総数 4,500 人</p> <p>③ 利用者アンケートにおける満足度 98%</p>	<p>① 13,846 人 (82.9%)</p> <p>② 4,204 人 (93.4%)</p> <p>③ 99.0%</p>
		部門目標	<p>① 冬季野外活動の提案（下期利用率）35%</p> <p>② セルフモニタリング調査（実施件数）400 件</p> <p>③ 実践型森林環境教育の推進（参加人数）1,200 人</p> <p>④ 貸室業務 16,750 千円</p>	<p>① 30.5%</p> <p>② 400 件 (100.0%)</p> <p>③ 1,259 人 (104.9%)</p> <p>④ 12,636 千円 (75.4%)</p>



公1 青少年の健全育成と社会参加、体験活動等に関する事業

他1 目的外での施設貸与等事業

		内容	達成状況
重点目標		<p>【地域活動等事業】</p> <p>① さらに戦力向上へ向け、教育を柱に戦略的にプログラム開発を続け、同時に効果検証方法の見直しと表現力の獲得を目指す。</p> <p>【施設運営等事業】</p> <p>① 新スタンダード形式の継続促進。プログラム転換と施設整備を進め、利用価値を再構成するとともに、情勢に合わせて利用促進を図る。</p> <p>② 他部門、他団体、地域との関係性の成長。長期的視点のもと他部門、他団体、利用者との協働機会を探り、共に変化を乗り越え未来を作るために関係性を強化する。</p> <p>③ 業務効率化の推進。利用サービスの質の向上へ向けて、再委託内容の見直しやデジタル投資により利用受付の簡便化とセキュリティ強化、効率化を推進する。</p>	<p>① 駒岡小学校では学校林を題材とした環境共生プログラムを継続的な関わりの中で深めており、令和4年度は教科学習との連動を図る形で森林循環や動物生態系をテーマにしたプログラムを学校側と協働して取り組んだ。</p> <p>① 利用環境整備を進め通常の野外炊事プログラムを再開させた。また、コロナ禍において体験機会を失った世代を対象とした親子宿泊事業の他、宿泊学習に欠席した児童や、出席しても感染症対策が原因で満足な活動ができなかった児童を対象とした宿泊事業を実施した。</p> <p>② 夏休み期間にこども事業課・こども育成課と連携し児童会館の児童を対象とした体験会を実施した。また、冬季の利用閑散期には千歳市児童館へヒグマ・エゾシカトランクキット出張事業を行った。</p> <p>③ 利用状況管理システムにおいて、利用者の提出データをシステムに直接取り込む機能を追加したことにより業務の効率化に繋がった。</p>
	数値目標	<p>共通目標</p> <p>① 利用者総数 48,000人</p> <p>② 事業プログラム参加者総数 7,200人</p> <p>③ 利用者アンケートにおける満足度 97%</p> <p>部門目標</p> <p>① 利用のしやすさに対する満足度 93%</p> <p>② 実利用人数 28,000人</p> <p>③ 閑散期の一般利用団体数 20団体</p>	<p>① 53,107人 (110.6%)</p> <p>② 15,392人 (213.8%)</p> <p>③ 99.0%</p> <p>① 93.0%</p> <p>② 34,444人 (123.0%)</p> <p>③ 21団体 (105.0%)</p>



		内容	達成状況
重点目標		<p>【地域活動等事業】 次の時代を見据え受託事業等に取り組む、ノウハウの蓄積や国や関係機関との連携を意識した事業展開を図る。</p> <p>【施設運営等事業】</p> <p>●男女共同参画センター事業</p> <p>① ジェンダー平等達成に向けた取り組みを行う。 ② 子ども・若者のエンパワメント事業を実施する。 ③ ワーク・ライフ支援を行う。</p> <p>●市民活動サポートセンター事業</p> <p>① 次世代活動者の掘り起こしと支援を行う。 (人材養成、コーディネート) ② 市民活動団体との協働拡充を図る。</p> <p>●環境プラザ事業</p> <p>① さまざまな団体との関わりを継続し多面的に連携する。 ② 情報収集・発信を充実させる。</p> <p>●情報センター事業</p> <p>① 人と人、人と情報をつなぐ取り組みを実施し、コミュニティを形成する。</p>	<p>子ども未来局からの受託事業「困難を抱えた若年女性支援業務」では、10件の居場所の提供、6件の自立支援を行う等、延べ1,846人の若年女性に対応した。男女共同参画室からの受託事業「困難を抱える女性のための支援業務」では、クラウディ・キッチンに延べ1,184人の女性が参加した。</p> <p>●男女共同参画センター事業</p> <p>出張講座を25箇所で開催することで、1,557人の方にジェンダーに関わる学びの機会を提供した。</p> <p>●市民活動サポートセンター事業</p> <p>若年世代の中心として活動を行っている方にゲスト等で協力いただき同世代を対象とした講演会を実施した。結果、それぞれのゲストと繋がりのある参加者も集まり、センター単独ではアプローチの難しかった層との繋がりを新たに作る事ができた。こうした層がセンターを認知し、新たな利用者層となったことは大きな成果であった。</p> <p>●環境プラザ事業</p> <p>新たにInstagramを開設し、より広範な層への発信を進めた。従来使用していたFacebookとは利用層が異なるため、初めて環境プラザや事業を知ったという声を事業アンケートで多くいただいた。定期的実施したテーマに沿った展示では環境団体、学生団体等に協力いただく機会が多く、こうした協力をきっかけに他事業においても連携することができ、継続的な関係構築を図ることができた。</p> <p>●情報センター事業</p> <p>視聴覚資料を活用する「エルプラ・シネマ」を全5回実施し延べ176人に参加いただき、4分野のテーマについて映画を見て考える機会を提供できた。</p>
	共通目標	① 利用者総数 456,000人	① 435,432人 (95.5%)
		② 事業プログラム参加者総数 37,500人	② 11,653人 (31.1%)
	数値目標	③ 参加者アンケートにおける満足度 施設満足度 86% 接遇満足度 86%	③ 施設満足度 95.0% 接遇満足度 97.1%
① 男女共同参画センター 男女共同参画の啓発の取り組み 40回		① 72回 (180.0%)	
② 市民活動サポートセンター 市民活動啓発事業の実施/相談 9回/600回		② 9回 (100.0%) /612回 (102.0%)	
③ 環境プラザ事業 環境活動の機会提供 50回		③ 56回 (112.0%)	
	④ 情報センター事業 SDGsに係る啓発活動につながる取り組み 12回	④ 29回 (241.7%)	



公1 青少年の健全育成と社会参加、体験活動等に関する事業

収1 イベント・物品貸与等事業

		内容	達成状況
重点目標		<p>【地域活動等事業】</p> <p>① 収支の適正化を図るとともに、補助金等の獲得や外部事業の受託を促進する。</p> <p>② 「体験活動」と「非接触型プログラム」のバランスをとり、事業提案と実施を進める。</p> <p>③ 「あそぼ」等の広報活動の継続と効果的な活用を図る。</p> <p>④ 労働安全衛生法第59条第3項に基づく「特別教育等」の実施を体系化し、財団内で継続的に実施できる方法を確立する。</p>	<p>① 札幌テレビ放送株式会社からの受託事業「第73回さっぽろ雪まつり4丁目STV広場サテライト会場スノーパーク等制作業務」や、株式会社ジェイコム札幌より受託した「第73回さっぽろ雪まつり大通会場1丁目における雪のステージ等制作業務」等の雪像制作事業を新規で獲得した。</p> <p>② 新型コロナウイルス感染症対策等を徹底したうえで、委託者の意向に沿った事業プログラムを練り、直接体験を中心にした事業を実施した。</p> <p>③ 財団広報誌「あそぼ」の発行を含めた広報活動については財団広報プロジェクトとともに効果を最大限発揮できるよう検討を重ねながら、押し進めた。</p> <p>④ 「刈払機」の安全衛生教育については継続的に取り組むことができた他、「小型重機」については初の取り組みとして実施することができ、職員の事故抑止と健康障害の防止に努めた。</p>
	共通目標	<p>① 事業プログラム参加者総数 3,648人</p> <p>② 利用者アンケートにおける満足度 93%</p>	<p>① 78名 (2.1%)</p> <p>② 100%</p>
数値目標	部門目標	<p>① イベント収益総額 6,800万円</p> <p>② 他課連携事業回数 3回</p> <p>③ 財団内「特別教育等」実施回数 4回</p>	<p>① 6,483万円 (95.3%)</p> <p>② 8回 (266.7%)</p> <p>③ 3回 (75.0%)</p>



5. 各課（各施設）事業実施報告

(1) こども事業課・こども育成課【指定管理事業：児童会館 109 館】

【受託事業：ミニ児童会館 90 館】

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
体験機会創出事業	<p>「東雁来児童会館ちよびボラ隊」 昨年度から継続して実施している子どもたちによる地域のためのボランティア活動。町内会の方も交え、ごみ拾いを中心に毎月活動し、地域向けの活動報告通信も発行した。7 月には札幌ドームで開催された「さっぽろ環境広場 2022」に参加し、ボランティア活動の様子をスライドショーを交えて発表し、活動のステップアップを図ることができた。</p>	日時：5 月～3 月 計 12 回実施 会場：東雁来児童会館敷地内外周辺 ※7 月 30 日札幌ドーム 参加総数：60 人
	<p>「Fun ! Fan ! KIYOTA」 清田区総合庁舎周辺における恒常的な賑わいや交流創出を目的とした地域主催事業に参加をした。第 1 弾では、札幌国際大学の学生が考えたまち歩きをテーマとしたクイズラリーに挑戦をしたり、地域の方から「あしりべつ」について豆知識を教えていただきながら交流を図ることができた。第 2 弾では、清田区役所前の広場でスノーキャンドルづくりに参加し、地域のさまざまな団体と交流ができた。</p>	日時：10 月 15 日 2 月 4 日 会場：清田区役所周辺 参加人数： 10 月実施分 80 人 2 月実施分 40 人
	<p>「西岡高台児童会館開館 30 周年記念事業 ～笑顔の花をさかせよう！～」 開館 30 周年を記念したお祭りにて、子ども運営委員会の児童が中心となってゲームコーナーを運営した。特に小学 3 年生以下の子どもにとってはコロナ禍で初めてのお祭りとなり、景品をもらうことや、わなげや射的といった普段とは違う遊びを提供することでテーマにある、笑顔あふれる事業となった。</p>	日時：12 月 10 日 会場：西岡高台児童会館 参加人数：90 人
青少年活動支援事業	<p>「札幌まなびのサポート事業『まなべえ』」 生活保護受給世帯及び就学援助利用世帯の中学生を対象に「学習支援」を基盤とし、参加者の心の成長を育み一人一人の未来を広げ、繋げることを目的に実施した。令和 4 年度はまなべえ専属職員の採用を始め、複数会場を担当することで横断的な運営に努めた。</p>	期間：通年 回数：各会場週 1 回 会場：市内 40 会場 登録中学生：494 人
	<p>「子どものくらし支援コーディネート事業」 子どもの居場所を巡回する中で保護者や周辺者から相談を受け、必要に応じて各種関係機関と連携のうえ、ケースに対応した。保護者との面談や支援機関への同行支援に加え、支援者とのケース会議実施や周辺者への助言を行うことで、子ども・世帯に必要な制度・資源に繋げる等、重層的な連携体制の構築に資することができた。</p>	期間：通年 新規相談受理件数：188 件 継続支援ケース：584 件
	<p>「ヤングケアラー交流サロン運営業務」 令和 4 年 10 月から札幌市より受託し若者支援事業課との連携事業として実施した。ヤングケアラーの子どもたちが気軽に悩みを打ち明けられ、本人同士が交流・情報交換し、精神的安定を得て支え合いの場となる居場所機能、そして必要な支援に繋げるための相談支援機能を持つ場づくりをした。継続的に足を運んでくれる参加者も多く、個別に進路相談対応する機会もあり、一人一人に寄り添った事業を実施できた。</p>	日時：10 月 8 日～ 3 月 27 日 計 7 回実施 会場： みんなの休憩処ひととま 参加人数：35 人(延べ)

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
社会参加・ 貢献啓発事業	「映画『ゆめパのじかん』上映会&西野博之さんアフタートーク『子どものじかん』ってなんだろう？」 川崎市子どもの権利に関する条例をもとに設置された「川崎市子ども夢パーク」における子どもたちの育ちを撮影したドキュメンタリー映画『ゆめパのじかん』の上映会を、子育て中や子どもの育ちに関わる方を対象に実施した。実際に運営に携わる西野博之氏のアフタートークでは、子どもの権利や居場所づくりに必要なこととお話いただき、大人の役割について参加者と考える機会となった。	日時：2月23日 会場： ACU-A 大研修室 参加人数：137人

令和4年度 札幌市児童会館・札幌市ミニ児童会館

(利用状況)

(人)

区分	開館日数 及び回数 (延べ数)	人 数	利 用 人 数 の 内 数						
			幼児	低学年	高学年	中学生	高校生	一般	
利用者区分									
児童会館	31,981	2,023,246	107,291	1,397,007	298,203	62,196	25,597	132,952	
ミニ児童会館	26,395	1,281,430	1,546	1,075,298	197,465	312	168	6,641	
占用利用	9,849	123,193	5,147	20,839	24,021	23,070	2,760	47,356	
総 利 用		3,427,869	113,984	2,493,144	519,689	85,578	28,525	186,949	
前年度比		2,726,976 (125.7%)	59,112 (192.8%)	2,124,090 (117.4%)	389,782 (133.3%)	46,497 (184.1%)	14,560 (195.9%)	92,935 (201.2%)	

(児童クラブ在籍数)

(人)

区分	令和4年度4月末日現在の在籍数							延べ 入会	延べ 退会	令和5年3月末日現在の在籍数						
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計			1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
在籍人数	6,531	6,166	4,781	2,911	1,431	616	22,436	26,345	3,724	7,092	6,372	4,874	2,952	1,453	609	23,352

4月末日現在の在籍数の比較(前年度 20,965人・前年比 107.0%)

(障がい児受け入れ数)

(人)

区分									内 訳	
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	クラブ	直接来館	
普通学級	154	149	161	93	76	32	665	659	6	
特別支援学級	114	138	108	78	51	34	523	507	16	
特別支援学校	2	2	2	2	0	1	9	9	0	
計	270	289	271	173	127	67	1,197	1,175	22	

(前年度 1,065人・前年比 112.4%)

(2) 千歳事業所【受託事業：千歳市児童館 10 館・学童クラブ 18 箇所】

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
体験機会創出事業	<p>「みんなでカヌー体験 in 支笏湖」</p> <p>子どもたちの豊かな成長の機会の創出と、千歳市における財団の認知度向上を目的に実施した。これまでに培った水上での安全管理や技術指導を企画事業課と連携することで補完し、参加者からは「また参加したい」との声が多く上がり、財団の強みを活かした事業展開を図ることができた。</p>	<p>日時：8月1日、2日</p> <p>会場：支笏湖モラップキャンプ場</p> <p>参加人数：78人（延べ）</p>
	<p>「第1回いずみさわ音楽祭」</p> <p>いずみさわ児童館の和太鼓クラブといずみさわ地域にある向陽台中学校の合唱部との合同で音楽祭を実施した。開催のきっかけは中学校の合唱部からの発表の場がないという相談からであった。和太鼓クラブとしても練習の成果を見せる機会となることから思いが合致し開催に至った。力強い和太鼓と合唱がコラボレーションし、日頃児童館には足を運ばない地域の方々や発表する児童の友人・保護者が集う大盛況のイベントとなった。</p>	<p>日時：12月26日</p> <p>会場：いずみさわ児童館</p> <p>参加人数：77人</p>
	<p>「お正月お楽しみ会」</p> <p>みどり台児童館、きらきら学童クラブ、ぴかぴか学童クラブの合同でお正月行事を実施し、各館に来館する児童が一緒になって遊ぶ機会を設けた。かるた等をとおして日本ならではの正月の伝統や習わしを体感した。</p>	<p>日時：1月13日</p> <p>会場：みどり台児童館</p> <p>参加人数：97人</p>

児童館・学童クラブ 利用者総数

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学童クラブ	9,889	9,291	11,003	9,574	8,927	9,092	9,033	7,826	8,183	7,893	7,802	9,098	107,611
児童館	7,062	6,450	7,854	7,898	7,047	6,433	7,276	6,383	7,177	6,837	6,733	9,509	86,659
総計	16,951	15,741	18,857	17,472	15,974	15,525	16,309	14,209	15,360	14,730	14,535	18,607	194,270

(学童クラブ 前年度利用人数 91,386人 前年比 117.8%)
 (児童館 前年度利用人数 50,210人 前年比 172.6%)
 (総計 前年度利用人数 141,596人 前年比 137.2%)

(3) 千歳事業所【指定管理事業：千歳市青少年会館】

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
体験機会創出事業	<p>利用者アンケートの実施</p> <p>利用者ニーズの把握ならびにより良い施設運営を目的とし、利用者アンケート調査を実施した。いただいた意見は今後の施設運営に反映することにする。</p>	<p>日時：3月20日～3月31日</p> <p>会場：青少年会館</p> <p>参加人数：59人</p>

青少年会館

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
施設利用者	764	1,061	1,279	954	664	1,285	1,209	1,386	1,092	944	1,427	1,444	13,509



(4) こども劇場課【指定管理事業：やまびこ座・こぐま座】

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
人材育成事業	<p>こぐま座サイトスペシフィック・パフォーマンス 『ピクニックシアター「コロポックル・シンパヤ」』</p> <p>中島公園という自然豊かなフィールドを生かすことで、札幌の人形劇文化の可能性を広げる目的で実施した。アイヌやオホーツク等の歴史や文化をテーマに、ヨーロッパで実践されている「サイトスペシフィック・パフォーマンス」という観客が移動しながら舞台を楽しむ観客参加型の形式を用いて人形劇ツアーを企画した。ワークショップをとおして子どもたちや市民が人形劇を体験できる機会を作り出すことができた。</p>	<p>日時：6月25日、26日 会場：こぐま座・中島公園 参加人数：884人</p>
	<p>こども育成課・こども劇場課連携 世界人形劇の日 「札幌市児童会館人形劇フェスティバル」</p> <p>国際人形劇連盟が2003年に制定した3月21日の「世界人形劇の日」に合わせて、札幌市内の児童会館人形劇クラブの子どもたちが一堂に会す事業を実施した。児童会館7館の人形劇クラブとこども育成課職員で結成した人形劇団が連続公演をし、公演後にはレクリエーション等で参加者間の交流を深めた。当日会場に足を運べない方のために初の試みとしてYouTubeでライブ配信を行い、1,000回を超える再生数を得ることができた。</p>	<p>日時：3月21日 会場：やまびこ座 参加人数：335人</p>
公演事業	<p>「座・競演～次世代へ継ぐ伝統人形芝居～福島公演～」</p> <p>やまびこ座で開講している中高生向けの人形浄瑠璃講習会「ぎ・にんぎょうるりユースクラス」のメンバーを派遣して実施した。同じ伝統芸能に取り組む同世代の若者が一堂に会することで、互いに刺激し合い共感する場となった。このような交流の場を設けたことで、次世代の文化活動の活性化とそれを担う人材の育成に繋げることができた。また、10～20代の若手の活躍を伝えられたことは、伝統芸能の明るい未来を感じさせ、理解者や支援者を増やすことにも繋がる大変意義のあるものになった。</p>	<p>日時：3月26日 会場：福島市子どもの夢を育む施設こむこむ 参加人数：210人</p>



■ こどもの劇場「やまびこ座」

【利用状況】

区 分	件 数 (件)	人数 (人)
ホール	649	21,316
会議室	362	2,460
研修室	480	5,705
美術工作室	534	4,910
ロビー・展示室・図書コーナー	-	5,897
研修・見学	-	94
その他 (アウトリーチ事業、屋外事業等)	-	2,708
総 利 用 数	2,025	43,090

利用件数 前年度： 1,317件 前年比： 153.8%
 利用人数 前年度： 26,174人 前年比： 164.6%

※ホール利用内訳

観劇者数	無料 (人)	1,530
	招待 (人)	923
	有料 (人)	10,502
	合計 (人) (a)	12,955
出演者の数 (含むリハーサル) (人) (b)		8,361
出演者観劇者総数 (人) (a + b)		21,316
上演回数 (回)		204
上演日数 (日)		144
仕込み・リハーサル・研修日数 (日)		131
上演1回あたりの観客数 (人)		66

屋外公演 (ホール利用内訳に含まれない事業)

○あおぞらキッズシアター上演回数：7回、5日

○ほしぞらキッズシアター上演回数：2回、2日

上演回数=204回 (ホール195回+屋外9回)

上演日数=144日 (ホール137日+屋外7日)

■ こども人形劇場「こぐま座」

【利用状況】

観劇者数	無料 (人)	2,322
	招待 (人)	390
	有料 (人)	6,279
	合計 (人) (a)	8,991
出演者の数 (含むリハーサル) (人) (b)		2,196
出演者観劇者総数 (人) (a + b)		11,187
研修・見学 (c)		13,664
利用者総数 (a+b+c)		24,851
上演回数 (回)		193
上演日数 (日)		123
仕込み・リハーサル・研修日数 (日)		127
上演1回あたりの観客数 (人)		46.6

利用人数 前年度： 12,927人 前年比： 192.2%

(5) 若者支援事業課【指定管理事業：若者支援施設 5 館】

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
交流促進事業	<p>「居場所拡充事業 北光いとこんち」</p> <p>さまざまな理由から Youth+の施設へ来館することが難しい若者を対象に、地域の中で安心できる居場所作りを目的とした拠点型居場所事業を展開した。当初は月 2 回程度の実施予定であったが、安定した居場所の確保を目的に毎週水曜日を基本とした開催に変更し 38 回実施した。若者からの希望で近隣の公園への散策や季節のイベント等、体験機会の創出や、食の提供を通じた家庭的雰囲気居場所作りを行った。</p>	<p>日時：5 月 1 日～3 月 28 日 計 38 回実施</p> <p>会場：ぎやらりーぼぷらの家</p> <p>参加人数：69 人（延べ）</p>
	<p>「プログラムイベント型 Youth+クエスト」</p> <p>参加者が勇者として体験型ゲームに挑戦する中で、参加者同士の交流を図ることを目的に実施した。若者のアイデアをもとに企画し、実際に若者がユースワーカーと一緒にゲーム内容を考え、また、勇者をイメージした衣装グッズの制作等、当日の運営まで携わった。コロナ禍で失われていた交流イベントの機会となり参加者からは喜びの声があがった。</p>	<p>日時：2 月 11 日</p> <p>会場：Youth+センター</p> <p>参加人数：33 人</p>
社会参加促進事業	<p>「ユースワーカー養成講座」</p> <p>全 3 回の講義とグループワークをとおして「ユースワーク」や「ユースワーカー」について学んだ後、各 Youth+施設で体験実習の機会を提供した。グループワークでは、一人一人の持つユースワークのイメージを言葉で表現し、活発な意見交換が行われ、大学生同士が交流を図ることができた。体験実習後には居場所の必要性やユースワーカーの役割について改めて理解を深めた。</p>	<p>日時：11 月 26 日～ 12 月 18 日</p> <p>講義会場：Youth+センター</p> <p>体験実習会場：各施設</p> <p>参加人数：7 人（延べ）</p>



札幌市若者支援施設利用者数

(単位：人)

内 訳	センター	アカシア	ポプラ	豊平	宮の沢	合計
自立支援事業	17,191	0	0	0	0	17,191
若者	11,601	0	0	0	0	11,601
一般	5,590	0	0	0	0	5,590
交流促進事業	6,415	3,034	1,951	3,972	1,603	16,975
若者	6,261	2,983	1,941	3,937	1,603	16,725
一般	154	51	10	35	0	250
社会参加促進事業	1,234	1,118	3,181	697	766	6,996
若者	1,180	995	805	662	766	4,408
一般	54	123	2,376	35	0	2,588
ロビー利用	7,715	4,272	2,778	5,174	7,140	27,079
若者	7,652	4,081	2,740	5,029	7,052	26,554
一般	63	191	38	145	88	525
貸室利用	26,707	35,996	7,270	34,077	45,852	149,902
若者	20,172	29,999	4,325	25,259	23,828	103,583
一般	6,535	5,997	2,945	8,818	22,024	46,319
合計	59,262	44,420	15,180	44,009	55,361	218,232
若者	46,866	38,058	9,811	34,887	33,249	162,871
一般	12,396	6,362	5,369	9,122	22,112	55,361

【令和3年度】

※自立支援事業	…若者	9,893人 (R4対比	117.3%)	一般	4,696人 (R4対比	119.0%)
※交流促進事業	…若者	9,493人 (R4対比	176.2%)	一般	213人 (R4対比	117.4%)
※社会参加促進事業	…若者	3,344人 (R4対比	131.8%)	一般	2,664人 (R4対比	97.1%)
※ロビー利用	…若者	10,938人 (R4対比	242.8%)	一般	349人 (R4対比	150.4%)
※貸室利用	…若者	50,617人 (R4対比	204.6%)	一般	13,599人 (R4対比	340.6%)
※総利用者数	…若者	84,285人 (R4対比	193.2%)	一般	21,521人 (R4対比	257.2%)



(6) 企画事業課【地域活動等事業：野外活動系事業、自主事業：滝野自然学園】

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
職員派遣事業	「幼保小連携なかよしキャンプ事業運營業務」 野外における異年齢集団でのグループ活動を通じ、「自主性」「期待感」「協調性」「責任感」を育むことを目的とした札幌市教育委員会からの受託事業。「公園での外遊び」をテーマに実施し、子どもたちが外で遊ぶ習慣づくりに繋げることができた。	日時：10月8日、9日 会場：川下公園 参加人数：38人(延べ)
体験機会創出事業	「サマーチャレンジ！日帰りカヌー体験」 こども育成課、こども事業課との連携事業として、コロナ禍では初となる児童会館向けカヌープログラムを実施した。モラップキャンプ場という非日常空間の中でカヌーという特別な遊びを体験し、子どもたちは「楽しさ」だけではなく「気づき」や「学び」を多く経験することができた。	日時：7月26日～29日 会場：支笏湖モラップキャンプ場 参加人数：121人(延べ)
	「冬のチャレンジキッズキャンプ」 豊かな感性を育み生きる力を育てることを目的に実施した。「仲間づくり」や「自然との直接的な関わりの中での挑戦」をテーマに、小学校低学年を対象に実施した。コロナ禍以降、初めてとなる1泊2日の宿泊プログラムとして、秘密基地づくりやキャンプファイヤー等を行い、集団生活における仲間の大切さや思い出を分かち合う喜びを伝えることができた。	日時：3月11日、12日 会場：滝野自然学園 参加人数：23人

滝野自然学園 利用集計 (延べ)

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	0	115	224	694	812	419	590	105	14	546	330	70	3,919
団体数	0	8	9	13	19	10	12	4	1	12	9	2	99

前年度比 延べ人数：144.8% (前年度人数 2,707人)

団体数：126.9% (前年度団体数 78団体)



(7) 企画事業課【指定管理事業：北方自然教育園】

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
体験機会創出事業	<p>「出前精米事業」 体験農場で水田を行った小学校に訪問し、収穫した稲の脱穀や精米の工程を体験型で学べる出張授業を実施した。パネルやクイズ等を活用し、子どもたちは自分たちが育てた米が口に入るまでの過程を楽しんで学んだ。</p>	<p>日時：11月17日～ 12月14日 会場：市内小学校 参加人数：10校509人</p>
施設運営事業	<p>「北方スノーシュー 野鳥観察&自然散策」 今年度より職員がガイドとして参加者に解説するプログラムを一部取り入れたところ、参加者からは大変好評であり、微増ではあるが昨年度に比べ参加者の増加に繋げることができた。</p>	<p>日時：1月14日～ 3月19日 会場：北方自然教育園 参加人数：6組14人</p>
	<p>「冬のいきものを探せ！HOPPO フレンズコレクション」 環境プラザとの連携事業として実施。動物の生態をテーマとしたレクリエーションゲームの他、スノーシューを履いて自然観察を行い、その中で出会った生き物等の絵を描きカードにするトレーディングカード作りを行った。</p>	<p>日時：2月19日 会場：北方自然教育園 参加人数：3組6人</p>
	<p>「北海道の川の世界～おうちの観察ポイントを学ぼう！～」 小学生を含む親子を対象に、北海道の自然環境の中で生息する川の生き物について学ぶ機会を提供した。実際に水槽の中の生き物を見たり触れたりしながら、その生態や飼い方等について学んだ。</p>	<p>日時：3月4日 会場：北方自然教育園 参加人数：6組15人</p>



(8) 野外活動課【指定管理事業：定山溪自然の村】

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
体験機会創出事業	<p>「スペシャルニーズキャンプ」</p> <p>スペシャルニーズを有する特別支援学校や団体、家族、グループの自然体験学習を支援することを目的に実施した。宿泊活動とおした調理活動や入浴、就寝準備等の生活体験へのサポートをはじめ、利用団体のニーズに合わせたプログラムを展開した。</p>	<p>日時：7月1日、7月6～7日、7月12～13日、11月30日</p> <p>実施回数：2回（日帰り） 2回（1泊2日）</p> <p>会場：定山溪自然の村</p> <p>参加人数：62人（延べ）</p>
	<p>「定山溪ウィンター・キャンプ・フェスティバル」</p> <p>冬季の活動を主とした利用者の活動情報の共有や施設から体験活動の発信及び機会の提供を行い、定山溪自然の村の魅力や野外活動の楽しさを伝え、自然や野外活動に親しむきっかけを提供した。円山動物園との連携事業では、象の食べ残した木と象についての動画コンテンツを提供いただき、「HOT ひといき焚き火で知るゾウ!」と題して利用者及び YouTube にてプログラムを実施した。</p>	<p>日時：2月5日～3月12日</p> <p>会場：定山溪自然の村及びオンライン</p> <p>ホームページ特設会場閲覧数：1,729人</p> <p>体験プログラム利用者：155人（延べ）</p>
	<p>「Nature Village ニューキャンプスタイル事業」</p> <p>定山溪自然の村のフィールドを活かした新たな野外活動や自然体験活動として専門的な知識を持つゲストを招き、「定山溪の歴史スノーシューツアー」や「定山溪 Photo キャンプ」を実施した。また、職員による新たなキャンプの過ごし方や楽しみ方の提案を行った。</p>	<p>日時：2月26日～3月11日</p> <p>会場：定山溪自然の村</p> <p>参加人数：74人（延べ）</p>

札幌市定山溪自然の村利用状況

<利用件数> (件)

区分	令和4年度	令和3年度	前年度比
コテージ	1,625	1,288	126.2%
テントハウス	1,259	1,159	108.6%
テントサイト	2,412	2,348	102.7%
合計	5,296	4,795	110.4%

<利用人数> (人)

区分	令和4年度	令和3年度	前年度比
コテージ	5,677	4,481	126.7%
テントハウス	4,292	3,793	113.2%
テントサイト	3,607	3,640	99.1%
見学者	107	142	75.4%
合計	13,683	12,056	113.5%

(9) 野外活動課【指定管理事業：青少年山の家】

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
青少年キャンプ事業	<p>「冬季札幌市林間学校（協力）」 教育的な視点を重視したプログラムを集団で検証・実践するため、小学生を対象として楽しく心に残る非日常体験を支援し、自然体験活動の普及啓発を図ることを目的に実施した。児童の発達段階と山の家の周辺環境に合わせてプログラムを展開し、子どもたちは野外炊事やスノーシュー探検、スノークラフトを体験した。札幌市の教員で構成される野外活動教育研究会との協働により、双方の強みを活かした事業連携ができた結果、参加者からは「また参加したい」という声が多数寄せられた。</p> <p>「Re：滝野宿泊学習」 新型コロナウイルス感染症拡大により、学校宿泊学習を体験できなかったり、体調不良に伴う欠席、満足な活動ができなかったりした子どもが相当数発生した状況を鑑み、「今度こそ、もう一度、滝野へ」をコンセプトに宿泊事業を実施した。参加者が主体性を持ち、興味関心に合わせたプログラムデザインを自分たちで行うことをテーマに展開し、野外炊事やスノーシュー、歩くスキーを経験した。非日常的なアクティビティをとおして冬の自然を満喫してもらうことができ、9割以上の高い満足度を得ることができた。</p>	<p>日時：12月26日、 1月7日、8日 会場：青少年山の家 参加人数：166人(延べ)</p> <p>事前来館日：2月23日 事業実施日：3月4日～5日 会場：青少年山の家 参加人数：61人</p>
生涯学習事業	<p>「地域交流事業」 国営滝野すずらん丘陵公園イベント「たきの森フェス」に参画し、来園者を対象に薪割りやヒグマトランクキット、簡易工作といった自然遊びのブースを展開した。低年齢層の児童を中心とした家族参加者が多く訪れ、各年代の参加者に対して自然体験活動の機会を提供することができただけでなく、すずらん丘陵公園との関係構築にも重要な機会となった。</p>	<p>日時：2月26日 会場：滝野すずらん丘陵公園 参加人数：537人</p>



令和4年度 札幌市青少年山の家利用状況報告書

項目		合計		
		団体数	実利用者数	延利用者数
学校	幼稚園等 (4歳以上)	11	272	435
	小学校	322	23,613	38,345
	中学校	34	1,705	2,014
	高校	12	311	596
	盲聾養護学校	0	0	0
	専門学校	0	0	0
	大学	1	45	45
	その他の学校	4	96	107
青少年団体	少年団体	43	2,145	3,703
	青年団体	12	577	956
指導者団体	学校教育関係	1	2	2
	社会教育関係	4	45	55
親子		9	81	151
官公庁		14	369	369
その他		48	1,472	2,535
主催事業		79	3,723	3,859
計		594	34,456	53,172

団体数 (前年度 393 件 前年度比 151.1%)
 実利用者数 (前年度 23,099 人 前年度比 149.2%)
 延べ利用者数 (前年度 37,231 人 前年度比 142.8%)

(10) 市民参画課【指定管理事業：札幌エルプラザ公共 4 施設】

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
【男女共同参画センター】 ワーク・ライフ支援事業	<p>「女性リーダー養成研修」 現場で実際に力を発揮する女性リーダーの育成と企業側のコミットメントを促すことを目的に全 5 回の連続研修として実施した。3 年ぶりの対面実施となり、受講生や講師が一堂に会することで、活発な意見交換や交流を図ることができた。また、女性リーダーとしての知識やスキルの獲得だけではなく、業種を超えたネットワークの構築にも寄与することができた。</p>	<p>日時：10 月 21 日～ 2 月 20 日 計 5 回実施 会場： 札幌エルプラザ公共 4 施設 参加人数：140 人（延べ）</p>
【男女共同参画センター】 相談事業	<p>「若年層のための相談事業」 昨年度までの SNS を活用した相談業務をとおして居場所支援の必要性が明らかになったことから、今年度は対面で相談や話ができる場として「Girl's Talk Room」を開催した。気軽に話ができるよう明るい雰囲気の中で実施をしたことで、悩みを相談するというハードルを下げ、雑談の中から友人関係や家庭環境の困り事を聞くことができた。参加した若年女性にとって、普段なかなか話すことのできていなかったモヤモヤを話せる場を提供できた他、対話を通じた気づきの場を提供できた。</p>	<p>日時：10 月 29 日～ 3 月 24 日 計 11 回実施 会場：Youth+、 札幌エルプラザ公共 4 施設 参加人数：18 人</p>
【市民活動サポートセンター】 NPO との出会い創出事業	<p>札幌市市民活動サポートセンター× 北海道 NPO 総合戦略共催企画 「ユース世代がソーシャルキャリアを考える」 社会貢献や市民活動等に関心を持つ若年層世代がロールモデル人材や同世代の仲間と対話し、相互に研鑽し合える関係性を構築することを目的に実施した。ロールモデルによるキャリアトークや、「自分のソーシャルキャリアを考える」と題したワークショップ、交流会の実施によりセンター単独ではアプローチの難しかった層との繋がりを新たに作る事ができた。</p>	<p>日時：3 月 10 日 会場：札幌市市民活動 サポートセンター 参加人数：27 人</p>
【環境プラザ】 普及啓発事業	<p>「楽しくはじめるプラスチックダイエット」 生活を環境問題の視点で見つめ直し、環境負荷の少ない選択肢を取り入れるきっかけを提供することを目的に、プラスチックを中心とした環境問題の現状や、生活の中で取り組むことができるプラスチックダイエットに関する講演会を実施した。プラスチックに依存しない生活を提案する市内の雑貨店オーナーを講師に招いたことで、参加者からは馴染み難いテーマの事業へ抵抗感なく参加できたという声が寄せられた。環境負荷の少ない選択肢が参加者の生活に取り入れられることが期待できる事業となった。</p>	<p>日時：3 月 11 日 会場： 札幌エルプラザ公共 4 施設 参加人数：13 人</p>
【情報センター】 情報コンシェルジュ事業	<p>「情報コンシェルジュ事業」 情報センターの利活用に繋げることを目的に実施。インターネットの普及により読書離れや書店の閉店が相次ぐなか、「一万円選書」を手段として本を幅広い世代の読者に届ける新しい形態を確立した講師の方を迎えた。14,000 件の選書をとおして見えてくる現代の課題をお話いただき、応募者にはネットではない、本そのものの良さを知っていただく機会を提供できた。</p>	<p>日時：3 月 5 日 会場：札幌エルプラザ 情報センター 参加人数：28 人</p>

	男女共同参画センター	消費者センター※	市民活動サポートセンター	環境プラザ	公共4施設計	情報センター	令和4年度総利用者数
施設利用	202,376	19,008	31,975	16,659	270,018	-	270,018
相談事業	152	9,653	612	56	10,473	-	10,473
観察・見学	13	0	86	417	516	-	516
展示コーナー	-	-	-	21,587	21,587	-	21,587
総合学習	-	-	-	591	591	-	591
施設外事業	1,698	-	145	34,920	36,763	-	36,763
計	204,239	28,661	32,818	74,230	339,948	95,484	435,432

※消費者センター施設利用、相談事業件数に関しては消費者協会分を含む

【令和3年度】

- ※施設利用 …184,638人 (前年度比 146.2%)
- ※相談事業 … 10,147人 (前年度比 103.2%)
- ※観察・見学 … 190人 (前年度比 271.6%)
- ※展示コーナー … 9,171人 (前年度比 235.4%)
- ※総合学習 … 47人 (前年度比1,257.4%)
- ※施設外学習 … 15,697人 (前年度比 234.2%)
- ※総利用者 …256,958人 (前年度比 169.5%)



(11) 企画事業課【地域活動等事業：自主事業・受託事業】

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
企画提案事業	<p>「市制 100 周年記念さっぽろ水道フェスタ 2022」 企画運営等業務</p> <p>一般財団法人さっぽろ水道サービス協会からの受託事業として、夏休み期間の約 2 週間、館内デジタルアトラクションの設置及び運営と縁日コーナーの企画運営を行った。自分で描いた魚の絵をスキャナーで読み込み、プロジェクターで投影し、「水の中」で泳がせるデジタルコンテンツの物品調達や、プラバン工作、スマートボール等を楽しめるコーナーを運営した。</p>	<p>日時：8 月 6 日～8 月 19 日 (8 月 8 日、8 月 15 日除く) 会場：札幌市水道記念館 参加人数：5,638 人</p>
受託事業	<p>水道記念館「ウォッピー工作会」運営業務</p> <p>一般財団法人さっぽろ水道サービス協会主催事業の全体進行及び材料調達に係る業務を受託した。水道事業の周知普及を目的とした本事業では札幌市水道局の公式キャラクター「ウォッピー」をモチーフとした 5 種類の工作を行った。</p>	<p>日時：10 月・11 月 計 10 回実施 会場：札幌市水道記念館 参加人数：388 人(延べ)</p>
	<p>『令和 4 年度「児童会館を活用した東区多世代交流事業」 企画・運営等業務』</p> <p>東区地域振興課より受託し東区児童会館との連携事業として実施した。北光児童会館を会場に「ホッケーキープ」という札幌大谷大学と杉原建設株式会社が共同制作した、東区を学ぶことのできるカードゲームの大会を開催した。さらに、よしもと芸人によるお笑いステージを実施、東区についての学びと地域住民の世代を超えた交流の場を提供した。</p>	<p>日時：11 月 12 日 会場：北光児童会館 参加人数：38 人</p>
	<p>「第 73 回さっぽろ雪まつり 4 丁目 STV 広場サテライト会場スノーパーク等制作業務」</p> <p>札幌テレビ放送株式会社より依頼を受け雪像の制作を行った。また、会場では、今季さっぽろ雪まつりでは実施が見送られていた「飲食ブース」やファミリーで楽しめる「体験型」コンテンツを実施することができた。これまでの雪像制作のノウハウや実績を活かした体験型会場とすることができた。</p>	<p>日時：2 月 5 日～11 日 制作期間：1 月 21 日～ 2 月 5 日 会場： 三井アウトレットパーク 屋外駐車場</p>
<p>「ハツキタ防災ダイキャンプ」企画運営業務</p> <p>発寒北まちづくりセンターから依頼を受け実施した。滝野自然学園を会場に薪割り体験や火おこし体験の他に、ビニール袋に米と水を入れ、縛って鍋に入れて米を炊く防災炊事を行った。さらに滝野自然学園の豊かな自然環境を体感していただくために、裏山でチューブすべり体験を実施した。</p>	<p>日時：2 月 25 日 会場：滝野自然学園 参加人数：19 人</p>	

6. 重要な契約に関する事業

(1) 地域活動等事業

(千円)

契約の概要(業務名)	相手方	契約金額
札幌まなびのサポート事業	札幌市長	54,998
地域若者サポートステーション事業	北海道労働局総務部長	49,014
子どものくらし支援コーディネート事業	札幌市長	27,060
ヤングケアラー交流サロン運営業務	札幌市長	998

(2) 指定管理事業

(千円)

契約の概要(業務名)	相手方	契約金額
札幌市児童会館及び札幌市こども人形劇場管理業務	札幌市長	3,945,918
札幌エルプラザ公共4施設管理業務	札幌市長	260,319
札幌市若者支援施設管理業務	札幌市長	174,815
札幌市青少年山の家管理業務	札幌市教育委員会教育長	132,303
札幌市定山溪自然の村管理業務	札幌市教育委員会教育長	76,415
札幌市こどもの劇場やまびこ座管理業務	札幌市長	47,510
札幌市栄西小はんのき児童会館管理業務	札幌市長	31,645
札幌市羊丘児童会館管理業務	札幌市長	31,645
札幌市北方自然教育園管理業務	札幌市教育委員会教育長	30,438
札幌市発寒南さくら児童会館管理業務	札幌市長	25,540
千歳市青少年会館管理業務	千歳市長	4,689

(3) 受託事業

(千円)

契約の概要(業務名)	相手方	契約金額
札幌市ミニ児童会館管理運営業務	札幌市長	2,206,509
千歳市児童館・学童クラブ運営業務	千歳市長	393,648

7. 基金事業

(1) こども基金「さっぽろスマイルキッズ」助成事業 協力者一覧

寄付金総額 434,535 円 全 26 件

【団体】 8 件 (円)

寄付者氏名	寄付額
やまびこ座 読み語りの会	10,000
北郷親栄第6町内会	5,000
北白石連合町内会	5,000
北郷親栄第7町内会	5,000
北白石地区民生委員児童委員協議会	5,000
匿名希望	15,500
合計	45,500

【法人】 4 件 (円)

寄付者氏名	寄付額
道民防災コンサルタント株式会社	50,000
北海道コカ・コーラボトリング株式会社	15,735
大和証券株式会社 札幌支店	100,000
株式会社 館野オフィスサービス	50,000
合計	215,735

【個人】 14 件 (円)

寄付者氏名	寄付額
個人寄付者	173,300
合計	173,300

<滝野自然学園活用型事業>

(円)

事業名	実施団体	助成金額
2022 滝野さとやま探検隊 =さとやまは、楽しくておいしい=	特定非営利活動法人 ネイチャープログラムデザイン	189,096

<学生チャレンジ事業>

(円)

事業名	実施団体	助成金額
サタデースクール	サタデースクール	31,319

<一般活動事業>

(円)

事業名	実施団体	助成金額
～ちいさなひとのためのオペラ～スイミー	accie (アッチェ)	200,000
クリスマスのふしぎなはこ	スタジオティンクナ	200,000
妊娠期からの切れ目ない幸せな子育てのための アタッチメント講座	NPO 北海道ネウボラ	166,118



「クリスマスのふしぎなはこ」



「サタデースクール」



「～ちいさなひとのためのオペラ～スイミー」

(3) こども若者応援基金「さっぽろユースチャレンジ」事業 協力者一覧

寄付金総額 2,218,000 円 全 47 件

【法人】 4 件 (円)

【個人】 43 件 (円)

寄付者氏名	寄付額
大和証券株式会社 札幌支店	100,000
北海道行政書士会 札幌支部	50,000
保育園ペンタゴン	6,000
法人寄付者	1,500,000
合計	1,656,000

寄付者氏名	寄付額
個人寄付者	562,000
合計	562,000

子ども・若者の居場所「いとこんち」事業の様子

札幌市立中島中学校区内にある民泊施設を活用し、おおむね 13 歳から 19 歳の子ども・若者を対象に、週 3 日程度、勉強や食事、料理、入浴等の日常生活を送り、社会的自立を目指す家庭生活体験の場を提供した。



●利用実績 ※サテライト実績含む

開所日数	本人	家族	支援者	来室者計
287 日	延べ 676 人	延べ 126 人	延べ 322 人	延べ 1,124 人

●相談利用登録者数

小学生未満	小学生	中学生	15～19 歳	20 代	登録者計
14 人	7 人	9 人	44 人	41 人	115 人

●実施したイベント

野球観戦、コンサート鑑賞、田植え・稲刈り、誕生会、
バーベキュー・花火大会観覧、地域向け事業報告会、クリスマスパーティー、卒業パーティー 他

IV. 事務報告

1. 設立年月日 : 昭和 55 年 4 月 1 日

2. 定款に定める目的

この法人は、人とのつながりを通じて青少年の健全育成と青少年女性の社会参加を促進し、魅力あふれる地域社会創造のための主体的な活動を支援することにより、地域社会の発展及び向上を図り、もって豊かな生活の実現に寄与することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容

- (1) 青少年の健全育成と社会参加に関する事業
- (2) 社会教育の推進に関する事業
- (3) 市民活動の振興に関する事業
- (4) その他法人の目的を達成するために必要な事業

4. 事務所の状況

主たる事務所 : 札幌市西区宮の沢 1 条 1 丁目 1 番 10 号

従たる事務所 : 札幌市中央区南 4 条西 6 丁目 8 番 3 号晴ればれビル 10 階

5. 役員等に関する事項

(1) 理事

理事長	野崎清史	(公財)さっぽろ青少年女性活動協会 理事長
専務理事	森有史	(公財)さっぽろ青少年女性活動協会 専務理事
理事	相馬宏哉	NPO法人ネイチャープログラムデザイン 理事長
理事	菊地秀一	(一社)札幌市私立保育連盟 会長
理事	藪淳一	(一社)札幌市私立幼稚園連合会 会長
理事	生出裕一	(公財)さっぽろ青少年女性活動協会 事務局長

(2) 監事

監事	西田史明	札幌商工会議所 理事・事務局長
監事	梅津太	税理士

[令和 5 年 3 月 31 日現在 計 8 人]

令和4年度における理事会は、次のとおり4回開催した。

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
令和4年 6月8日	【第37回理事会】 1「令和3年度事業報告及び附属明細書の承認」の件 2「令和3年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認」の件 3「定時評議員会の日時並びに目的である事項」の件	1 可決 2 可決 3 可決
令和4年 6月23日	【第38回理事会】 1「理事長、専務理事の選定」の件 2「役員報酬月額決定」の件 3「令和4年度予算の変更」の件	1 可決 2 可決 3 可決
令和4年 11月4日	【第39回理事会】 1「職務執行状況報告」の件 2「その他報告」の件	1 報告 2 報告
令和5年 3月8日	【第40回理事会】 1「職務執行状況報告」の件 2「令和4年度予算の変更」の件 3「特定費用準備資金の設定」の件 4「令和5年度事業計画書及び収支予算書等の承認」の件 5「役員賠償責任保険の契約更新」の件	1 報告 2 報告 3 可決 4 可決 5 可決

(3) 評議員

評議員	梶井祥子	札幌大谷大学 教授
評議員	菊池恒	札幌市商店街振興組合連合会 理事相談役
評議員	柴田千尋	(公財)北海道青少年育成協会 専務理事兼事務局長
評議員	西田充潔	北星学園大学 教授
評議員	秦直樹	社会福祉法人常德会 理事長
評議員	林美枝子	日本医療大学 教授
評議員	村形亜佐美	札幌市PTA協議会 副会長
評議員	箭原恭子	(公社)札幌市母子寡婦福祉連合会 理事長

[令和5年3月31日現在 計8人]

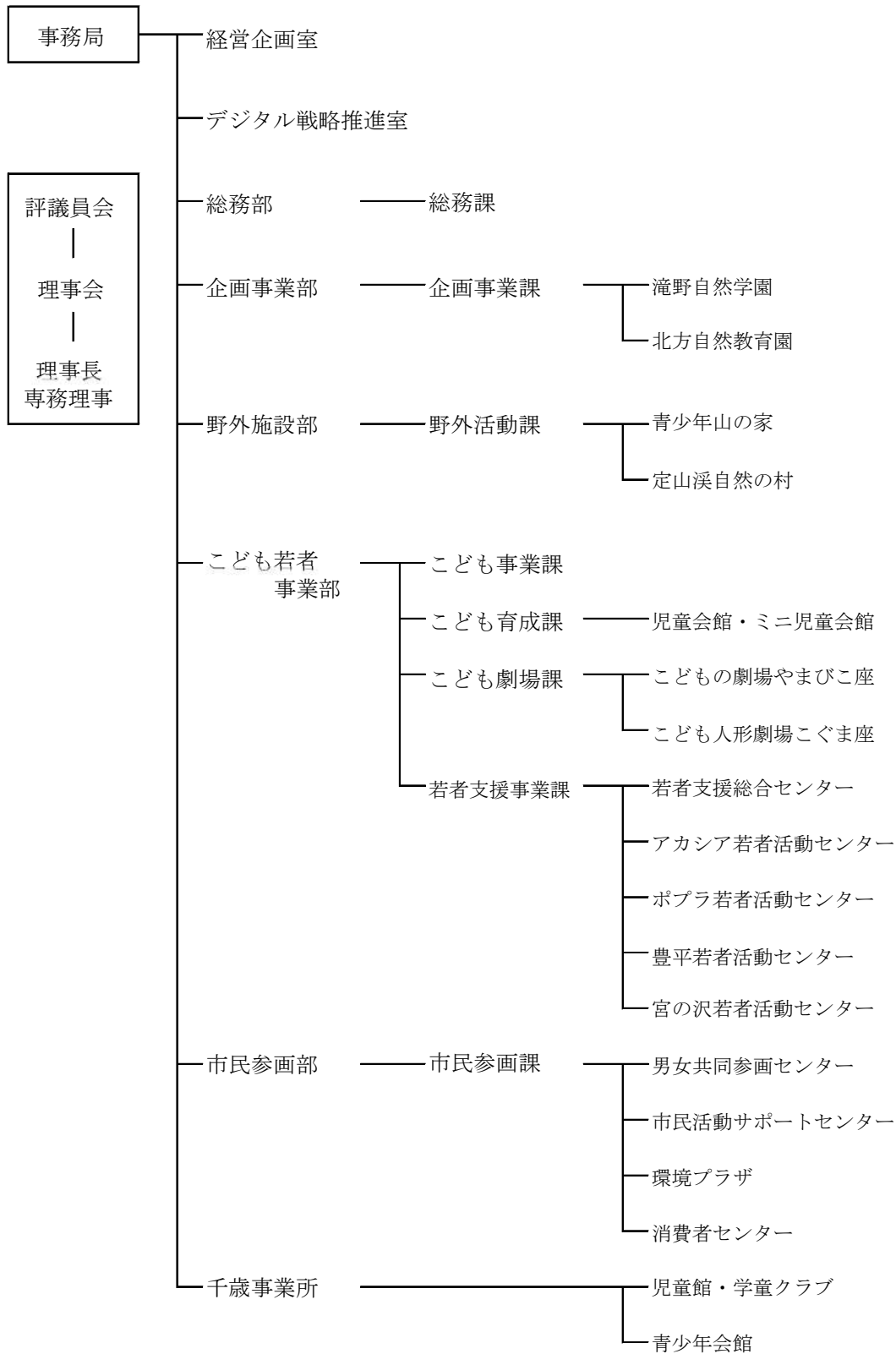
令和4年度における評議員会は、次のとおり1回開催した。

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
令和4年 6月23日	【第11回評議員会】 1「令和3年度事業報告及び附属明細書」の件 2「令和3年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録等の承認」の件 3「理事の選任」の件 4「評議員の選任」の件	1 報告 2 可決 3 可決 4 可決

6. 職員に関する事項（令和4年度末現在）

令和5年3月31日現在における事務局組織は次のとおりである。

公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会 機構図



(1) 主要な職員

役職名	氏名	採用年月日	担当職務
事務局長	生出 裕一	平成元年 6 月 19 日	財団運営業務の総括
経営企画室長	佐々木 勝敏	平成 12 年 4 月 1 日	経営企画室業務の総括
総務部長	岡本 峰子	昭和 61 年 4 月 1 日	総務部業務の総括
野外施設部長	石井 一彦	昭和 63 年 4 月 1 日	企画事業部・野外施設部業務の総括
こども若者事業部長	五十嵐 健二	平成元年 4 月 1 日	こども若者事業部業務の総括
こども若者支援担当部長	松田 考	平成 13 年 1 月 1 日	こども若者支援事業業務の総括
こども育成担当部長	会田 彰仁	平成 4 年 2 月 1 日	こども育成部門業務の総括
こども育成担当部長	矢吹 英孝	平成 3 年 4 月 1 日	こども育成部門業務の総括
市民参画部長	下川原 清貴	昭和 63 年 12 月 14 日	市民参画部業務の総括
経営企画室課長	土井 聖子	平成 12 年 4 月 1 日	経営企画室業務の総括
総務課長	加藤 孝	平成 12 年 4 月 1 日	総務・財務・経理等の総括
人事担当課長	佐々木 初美	平成 15 年 4 月 1 日	人事・労務等の総括
企画事業課長	小林 剛至	平成 12 年 8 月 1 日	企画事業課業務の総括
野外活動課長	大場 睦彦	昭和 62 年 4 月 1 日	青少年山の家の総括
定山溪自然の村担当課長	志賀 和行	昭和 63 年 2 月 1 日	定山溪自然の村の総括
こども事業課長	森口 雅和	平成 11 年 10 月 1 日	こども事業課業務の総括
管理担当課長	野坂 真英	平成 11 年 1 月 1 日	児童会館管理に関する総括
こども育成課長	山田 憲克	平成 10 年 4 月 1 日	育成課調整に関する総括
児童会館担当課長	高橋 雅裕	平成 8 年 5 月 1 日	児童会館（厚別・清田・白石担当）
児童会館担当課長	蓮井 潤子	平成 4 年 4 月 1 日	児童会館（中央・南・手稲担当）
児童会館担当課長	長谷川 美千代	平成 11 年 6 月 1 日	児童会館（東・豊平担当）
児童会館担当課長	山田 弓人	平成 8 年 12 月 1 日	児童会館（北・西担当）
こども劇場課長	山田 啓貴	平成 11 年 4 月 1 日	こども劇場課業務の総括
若者支援事業課長	大水 千広	平成 12 年 4 月 1 日	こども若者支援事業業務の総括
市民参画課長	高坂 美江	平成 12 年 4 月 1 日	エルプラザ公共 4 施設業務の総括
市民活動担当課長	芥藤 美季	平成 5 年 6 月 1 日	市民活動に関する調整
千歳事業所課長	古野 由美子	平成 11 年 6 月 1 日	千歳事業所の総括

(2) 職員数

(令和 5 年 3 月 31 日現在)

事務局長職	1 人	主任パートスタッフ	252 人
総合職	560 人	サポートスタッフ	41 人
児童指導員	203 人	再任用職員	27 人
専門指導員	35 人	臨時職員	74 人
職場限定職員	16 人	パートタイム職員	1,083 人
合計		2,292 人	
内常勤職員数	1,108 人	内非常勤職員数	1,184 人

7. 会計に関する事項

公認会計士の関与の有無

監査契約締結（「独立監査人の監査報告書」：令和 5 年 5 月 25 日）



公益財団法人 さっぽろ青少年女性活動協会

貸借対照表

2023年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	884,870,736	872,459,237	12,411,499
未収入金	360,052,744	265,623,478	94,429,266
前払金	4,993,288	5,677,503	△ 684,215
流動資産合計	1,249,916,768	1,143,760,218	106,156,550
2 固定資産			
(1)基本財産			
普通預金	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(2)特定資産			
退職給付引当資産	698,972,136	693,756,519	5,215,617
OA整備事業積立資産	37,951,424	37,951,424	0
経営安定化積立資産	136,651,875	136,651,875	0
こども基金積立資産	54,920,073	59,388,796	△ 4,468,723
こども若者応援基金積立資産	62,439,948	60,821,491	1,618,457
建物修繕等積立資産	6,642,863	6,642,863	0
市民活動基金積立資産	10,000,000	10,000,000	0
児童会館等事業積立資産	50,000,000	0	50,000,000
システム保守費用積立資産	68,000,000	0	68,000,000
特定資産合計	1,125,578,319	1,005,212,968	120,365,351
(3)その他固定資産			
建物	46,513,582	45,274,045	1,239,537
車両運搬具	1,607,319	2,572,551	△ 965,232
什器備品	12,772,479	13,434,829	△ 662,350
土地	51,862,148	51,862,148	0
電話加入権	161,788	161,788	0
ソフトウェア	55,943,130	54,189,144	1,753,986
敷金	1,919,118	1,782,618	136,500
リサイクル預託金	59,850	59,850	0
その他固定資産合計	170,839,414	169,336,973	1,502,441
固定資産合計	1,306,417,733	1,184,549,941	121,867,792
資産合計	2,556,334,501	2,328,310,159	228,024,342
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	214,244,899	179,120,425	35,124,474
未払費用	446,008,136	433,800,093	12,208,043
未払法人税等	3,262,700	10,898,000	△ 7,635,300
未払消費税等	95,225,300	84,543,300	10,682,000
前受金	16,123,640	12,307,670	3,815,970
預り金	5,472,999	8,482,239	△ 3,009,240
流動負債合計	780,337,674	729,151,727	51,185,947
2 固定負債			
退職給付引当金	698,972,136	693,756,519	5,215,617
固定負債合計	698,972,136	693,756,519	5,215,617
負債合計	1,479,309,810	1,422,908,246	56,401,564
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
地方公共団体出捐金	10,000,000	10,000,000	0
こども若者応援基金寄付金	52,439,948	50,822,491	1,617,457
指定正味財産合計	62,439,948	60,822,491	1,617,457
(うち基本財産への充当額)	(10,000,000)	(10,000,000)	0
(うち特定財産への充当額)	(52,439,948)	(50,821,491)	1,618,457
2 一般正味財産	1,014,584,743	844,579,422	170,005,321
(うち特定資産への充当額)	(374,166,235)	(260,634,958)	113,531,277
正味財産合計	1,077,024,691	905,401,913	171,622,778
負債及び正味財産合計	2,556,334,501	2,328,310,159	228,024,342

正味財産増減計算書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
①基本財産運用益	(0)	(0)	(0)
基本財産受取利息	0	0	0
②特定資産運用益	(25,687)	(25,600)	(87)
特定資産受取利息	25,687	25,600	87
③事業収益	(7,646,028,349)	(7,189,824,886)	(456,203,463)
地域活動等事業収益	206,169,431	168,403,456	37,765,975
受託事業収益	177,184,240	146,472,471	30,711,769
企画事業収益	26,585,841	20,122,685	6,463,156
参加料・受講料収益	2,399,350	1,808,300	591,050
施設運営等事業収益	7,439,858,918	7,021,421,430	418,437,488
指定管理事業収益	4,761,237,730	4,538,186,400	223,051,330
受託事業収益	2,600,156,458	2,426,360,078	173,796,380
企画事業収益	56,729,440	45,247,192	11,482,248
参加料・受講料収益	15,509,950	7,243,740	8,266,210
入場料収益	2,237,900	1,282,500	955,400
物品販売収益	3,987,440	3,101,520	885,920
④受取補助金等	(29,615,180)	(27,654,464)	(1,960,716)
受取助成金	29,615,180	27,654,464	1,960,716
⑤利用料金	(185,356,542)	(126,088,731)	(59,267,811)
施設利用料金	185,039,302	126,088,731	58,950,571
物品利用料金	317,240	0	317,240
⑥受取寄付金	(1,035,078)	(751,838)	(283,240)
受取寄付金	434,535	392,662	41,873
受取寄付金振替額	600,543	359,176	241,367
⑦受取手数料	(6,556,636)	(4,041,868)	(2,514,768)
受取手数料	6,556,636	4,041,868	2,514,768
⑧雑収益	(3,353,292)	(2,420,214)	(933,078)
受取利息	21	9	12
雑収益	3,353,271	2,420,205	933,066
経常収益計(A)	7,871,970,764	7,350,807,601	521,163,163
(2)経常費用			
①事業費	(7,651,399,449)	(7,161,919,891)	(489,479,558)
役員報酬	3,432,132	3,436,405	△ 4,273
給料手当	3,536,248,436	3,440,650,297	95,598,139
臨時雇賃金	975,043,785	936,825,445	38,218,340
退職給付費用	48,321,518	47,052,552	1,268,966
福利厚生費	618,075,445	603,932,541	14,142,904
旅費交通費	23,577,966	10,482,994	13,094,972
通信運搬費	57,028,336	47,128,832	9,899,504
減価償却費	28,661,788	25,424,363	3,237,425
消耗品費	418,280,322	398,384,623	19,895,699
修繕費	59,513,008	51,322,546	8,190,462
印刷製本費	14,274,139	12,101,477	2,172,662
燃料費	69,706,650	65,077,432	4,629,218
光熱水費	220,634,407	187,908,062	32,726,345
賃借料	61,486,237	45,934,349	15,551,888
入場料	266,050	195,000	71,050
保険料	7,269,243	6,856,493	412,750
諸謝金	91,531,342	69,099,269	22,432,073
租税公課	496,426,920	480,866,219	15,560,701
支払負担金	6,409,685	5,243,550	1,166,135
支払寄付金	5,097,400	16,451,490	△ 11,354,090
支払助成金	786,533	0	786,533
委託費	444,792,173	349,443,967	95,348,206
交際費	43,524	25,440	18,084

科目	当年度	前年度	増 減
役務費	191,578,480	178,059,140	13,519,340
支払手数料	2,134,037	3,641,640	△ 1,507,603
備品費	229,202,369	143,469,232	85,733,137
広告宣伝費	40,199,206	31,661,381	8,537,825
会議費	703,408	676,721	26,687
雑費	674,910	568,431	106,479
②管理費	(54,322,306)	(42,128,540)	(12,193,766)
役員報酬	9,962,868	10,019,845	△ 56,977
給料手当	13,360,130	10,360,903	2,999,227
退職給付費用	237,999	217,998	20,001
福利厚生費	4,979,913	4,187,216	792,697
旅費交通費	239,921	192,106	47,815
通信運搬費	2,817,306	1,516,320	1,300,986
減価償却費	1,948,702	1,804,137	144,565
消耗品費	870,823	737,380	133,443
修繕費	59,378	58,691	687
印刷製本費	47,897	38,198	9,699
燃料費	125,505	18,119	107,386
光熱水費	259,532	181,950	77,582
賃借料	4,469,634	2,922,155	1,547,479
保険料	547,239	449,501	97,738
諸謝金	2,554,783	2,487,786	66,997
租税公課	113,780	394,331	△ 280,551
支払負担金	336,049	436,628	△ 100,579
委託費	874,959	874,959	0
交際費	11,226	6,560	4,666
役務費	7,406,253	2,442,661	4,963,592
支払手数料	488,044	365,450	122,594
備品費	2,492,864	2,349,124	143,740
会議費	57,525	13,911	43,614
雑費	59,976	52,611	7,365
経常費用計(B)	7,705,721,755	7,204,048,431	501,673,324
当期経常増減額(C)=(A-B)	166,249,009	146,759,170	19,489,839
2.経常外増減の部			
(1)経常外収益			
固定資産受贈益	0	5,289,237	△ 5,289,237
受取補償金	10,015,733	67,909,658	△ 57,893,925
経常外収益計(D)	10,015,733	73,198,895	△ 63,183,162
(2)経常外費用			
固定資産除却損	2,996,721	338,258	2,658,463
経常外費用計(E)	2,996,721	338,258	2,658,463
当期経常外増減額(F)=(D-E)	7,019,012	72,860,637	△ 65,841,625
税引前当期一般正味財産増減額	173,268,021	219,619,807	△ 46,351,786
法人税、住民税及び事業税	3,262,700	10,898,000	△ 7,635,300
当期一般正味財産増減額(G)	170,005,321	208,721,807	△ 38,716,486
一般正味財産期首残高	844,579,422	635,857,615	208,721,807
一般正味財産期末残高(H)	1,014,584,743	844,579,422	170,005,321
II 指定正味財産増減の部			
①特定資産受取利息	(687)	(600)	(87)
②受取寄付金	(2,218,000)	(2,068,850)	(149,150)
③一般正味財産への振替額	(△ 601,230)	(△ 359,776)	(△ 241,454)
当期指定正味財産増減額(I)	1,617,457	1,709,674	△ 92,217
指定正味財産期首残高	60,822,491	59,112,817	1,709,674
指定正味財産期末残高(J)	62,439,948	60,822,491	1,617,457
III 正味財産期末残高(K)=(H+J)	1,077,024,691	905,401,913	171,622,778

財 産 目 録

2023年 3月 31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金預金			
現金	手元保管	運転資金として	1,127,229
預金	普通預金		
	北海道銀行宮の沢支店	運転資金として	879,185,552
	北洋銀行宮の沢支店	運転資金として	1,888,405
振替口座	ゆうちょ銀行宮の沢支店	団体保険料預り金	2,669,550
未収入金	札幌市	業務受託料、受取利用料金 他	232,424,323
	厚生労働省	地域若者サポートステーション受託料	49,014,073
	千歳市	業務受託料 他	36,993,350
	独立行政法人日本芸術文化振興会	地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業	18,728,000
	さっぽろ雪まつり実行委員会 他	さっぽろ雪まつり大雪像制作統括業務 他	22,892,998
前払金	全国公益法人協会	役員賠償責任保険保険料	297,630
	㈱札幌振興公社 他	公用車駐車場料金	43,700
	日本郵便株式会社	各種契約用収入印紙	1,046,800
	(有)M's faith 他	賃借倉庫火災保険、賠償責任保険	47,880
	(有)M's faith	こどもの劇場行事参加者傷害保険	40,000
	(有)M's faith	若者支援施設施設行事参加者傷害保険	153,360
	(有)M's faith	自動車保険料	634,240
	(有)M's faith	青少年山の家生産物賠償責任保険	73,580
	共栄火災海上保険㈱	定山溪自然の村行事参加者傷害保険、国内旅行保険	111,400
	共栄火災海上保険㈱	北方自然教育園施設入場者普通傷害保険	76,500
	㈱安田合同保険事務所	児童会館・こども人形劇施設入場者保険・レクリエーション保険参加者傷害保険 他	1,371,430
	㈱安田合同保険事務所	千歳市児童館・学童クラブ・青少年会館施設入場者傷害保険、レクリエーション参加者傷害保険	370,478
	金田 勲	こども育成課・こども事業課倉庫賃借料	150,000
	(有)インフィニティー 他	南4条オフィス家賃	432,036
	㈱ケイセイ	千歳事業所家賃、駐車場賃借代	115,500
		労働保険料	28,754
流動資産合計			1,249,916,768
(固定資産)			
基本財産	預金	普通預金	10,000,000
		北海道銀行宮の沢支店	
特定資産	退職給付引当資産	普通預金	598,972,136
		北海道銀行宮の沢支店	
		北海道債	
		大和証券(平成30年度第7回)	50,000,000
		大和証券(平成30年度第19回)	50,000,000
	OA整備事業積立資産	普通預金	37,951,424
		北海道銀行宮の沢支店	
	経営安定化積立資産	普通預金	136,651,875
		北海道銀行宮の沢支店	
	こども基金積立資産	普通預金	54,920,073
		北海道銀行宮の沢支店	
	こども若者応援基金積立資産	普通預金	62,439,948
		北海道銀行宮の沢支店	
	市民活動基金積立資産	普通預金	10,000,000
		北海道銀行宮の沢支店	
	建物修繕等積立資産	普通預金	6,642,863
		北海道銀行宮の沢支店	
	児童会館等事業積立資産	普通預金	50,000,000
		北海道銀行宮の沢支店	
	システム保守費用積立資産	普通預金	68,000,000
		北海道銀行宮の沢支店	

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額	
その他固定 資産	建物 1086.91㎡ 札幌市南区滝野106番地 他	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している。	25,034,204	
	149.42㎡ 札幌市北区新琴似8条1丁目1番34号 ニュー鳳ビル2F 内部造作他	共用財産であり、公益目的事業、収益事業等、管理業務に係る資産である。 公益目的保有財産72.9%、収益事業等会計6.6%、管理運営20.5%	17,753,521	
	6876.41㎡ 札幌市南区滝野247番地青少年山の家 物品庫棚	収益事業等に係る資産である。	126,850	
	83.68㎡ 札幌市中央区南4条西6丁目8番3	法人運営に充当する管理運営業務に係る資産である。	3,599,007	
車両運搬具	5台 札幌市西区宮の沢、滝野自然学園他	公益目的保有財産であり、公益目的事業に供している。	1,607,319	
什器備品	パワーユニット ガラガーMBS1000i	公益目的保有財産であり、公益目的事業に供している。	88,674	
	エアコン CS-XS281D2	公益目的保有財産であり、公益目的事業に供している。	447,320	
	石油暖房機 FF-5000BF	公益目的保有財産であり、公益目的事業に供している。	368,267	
	その他事業道具	公益目的保有財産であり、公益目的事業に供している。	1,735,275	
	金庫	管理運営の用に供している	29,091	
	マキタ ロボットクリーナーRC300DZ	収益事業の用に供している	207,209	
	ポータブルワイヤレスアンプ MIPRO MA-505PAD	収益事業の用に供している	212,667	
	動画編集用パソコン G-Tune HM-A-AL	収益事業の用に供している	189,750	
	ミーティングブース テレキューブ 他	収益事業の用に供している	4,523,993	
	Arcena デスクシステム	共用財産であり、公益目的事業、収益事業等、管理業務に係る資産である。 公益目的保有財産72.9%、収益事業等会計6.6%、管理運営20.5%	584,843	
	ビジネスホン主装置	共用財産であり、公益目的事業、収益事業等、管理業務に係る資産である。 公益目的保有財産72.9%、収益事業等会計6.6%、管理運営20.5%	347,259	
	その他設備道具一式	共用財産であり、公益目的事業、収益事業等、管理業務に係る資産である。 公益目的保有財産72.9%、収益事業等会計6.6%、管理運営20.5%	4,038,131	
	土地	36233㎡ 札幌市南区滝野106番地他	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している。	14,413,002
		465.50㎡ 札幌市北区新琴似9条1丁目3番2	自己所有の土地であり、管理運営の用に供している。	35,400,000
		450.36㎡ 札幌市中央区南4条西6丁目8番3	自己所有の土地であり、管理運営の用に供している。	2,049,146
電話加入権	011-671-4104 他	管理運営の用に供している	161,788	
ソフトウェア	見守りシステム	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している。	11,855,067	
	児童会館利用人数集計システム見守りシステム連携改修業務	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している。	2,156,844	
	札幌市美しが丘児童会館 図書システム導入	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している。	184,965	
	各種集計システム 他	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している。	15,211,153	
	定山溪自然の村インターネット予約システム	収益事業等の用に供している	1,155,000	
	定山溪自然の村予約サイト構築	収益事業等の用に供している	90,000	
	伺い管理システム機能修正及び追加業務	共用財産であり、公益目的事業、収益事業等、管理業務に係る資産である。 公益目的保有財産72.9%、収益事業等会計6.6%、管理運営20.5%	950,400	
脆弱性対策プログラム改修	共用財産であり、公益目的事業、収益事業等、管理業務に係る資産である。 公益目的保有財産72.9%、収益事業等会計6.6%、管理運営20.5%	1,081,667		

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
		時間外勤務時間集計システム全課展開向け仕様変更 他	共用財産であり、公益目的事業、収益事業等、管理業務に係る資産である。	8,031,834
	敷金	札幌市若者支援施設 新システム改修業務 他 (株)ベストスタイル 他	公益目的保有財産72.9%、収益事業等会計6.6%、管理運営20.5% 公益目的事業及び収益事業等に係る共有財産	15,226,200
	リサイクル預託金	札幌協同振興(株) 他 札幌トヨペット(株) 他	共用財産であり、公益目的事業、収益事業等、管理業務に係る事務所賃貸に伴う敷金 公益目的事業に係る共有財産 自動車リサイクル料	1,577,118 342,000 59,850
固定資産合計				1,306,417,733
資産合計				2,556,334,501
(流動負債)				
	未払金	職員に係るもの アイビー・システム(株) 札幌エルプラザ管理組合 富士フイルムビジネスイノベーションJP(株) 北海道電力(株) (株)Harapeco (株)杉山燃料センター 他	退職金 公益目的事業、収益事業等、管理業務に供するシステム改修等に係る未払い分 公益目的事業及び収益事業等の電気料金の未払い分 公益目的事業、収益事業等、管理業務に供するシステム改修等に係る未払い分 公益目的事業及び収益事業等の電気料金の未払い分 青少年山の家における給食委託業務に係る未払い分 公益目的事業に供する燃料購入に係る未払い分 他	40,293,900 55,798,688 7,862,806 7,350,939 6,299,903 5,188,930 91,449,733
	未払費用	職員に係るもの	公益目的事業、収益事業等及び管理業務に従事する職員の3月分給与及び賞与の支払いに備えたもの	446,008,136
	未払消費税等	札幌西税務署	当期確定消費税	95,225,300
	未払法人税等	札幌西税務署 札幌西税務署 札幌道税事務所 札幌市中央市税事務所 他	当期確定法人税、地方法人税 当期確定法人事業税・特別法人事業税 当期確定法人道民税 当期確定法人市民税	1,831,400 672,500 36,600 722,200
	前受金	児童会館利用者 エルプラザ利用者 若者支援施設利用者	令和5年度前受利用分 令和5年度前受利用分 令和5年度前受利用分	1,781,450 10,847,890 3,494,300
	預り金	職員に係るもの (有)安田合同保険事務所 その他預り金	社会保険料、雇用保険、道市民税 児童クラブ保険料 天引手数料 他	2,640,044 2,669,550 163,405
流動負債合計				780,337,674
	(固定負債)	退職給付引当金	職員に対する退職金の支払いに備えたものであり、公益目的事業、収益事業等、管理業務にまたがる共用負債である	698,972,136
固定負債合計				698,972,136
負債合計				1,479,309,810
正味財産				1,077,024,691